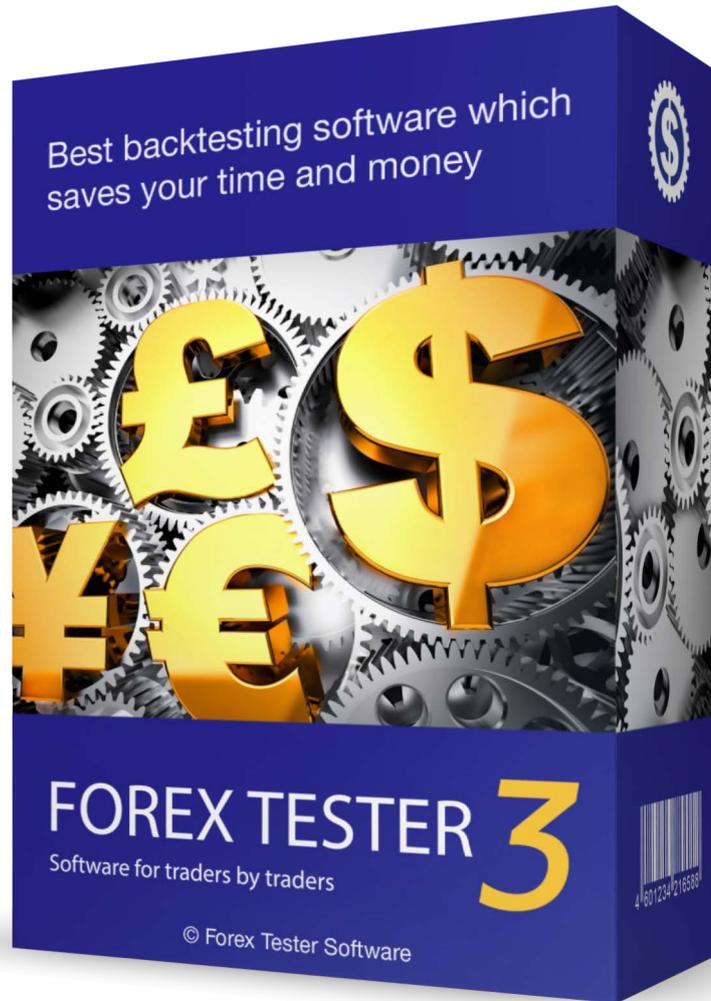




FOREX TESTER 3

ユーザーガイド



クイックスタート	3
今すぐ始める	3
テストिंगのプロセス	5
データをダウンロードします.....	7
プロジェクトを作成する.....	8
保留となっているオーダーを開く.....	11
マーケットオーダーを開く.....	15
保留オーダーを閉める.....	17
マーケットオーダーを閉める.....	18
指標を追加する.....	19
テスト分析.....	20
バー指標を追跡する.....	21
エキスパートアドバイザー使用方法.....	22
Forex Tester3のダウンロードとインストール方	27
表示	33
データセンター	50
データのダウンロード/インポート	56
新規プロジェクトの作成	66
テストの開始	71
注文の入れ方	73
注文の変更	77
表示中のテクニカル指標	80
罫線描画ツールの使用方法	86
テンプレートの使用方法	90
プロジェクト	97
エキスパートアドバイザー	100
統計情報	105

クイックスタート

今すぐ始める

ダウンロードページからプログラムをダウンロードする

<http://www.forextester.jp/download>

プログラムのご紹介 | 機能 | ご使用方法 | 過去データ | フォーラム | アフィリエイト | お問い合わせ | **ダウンロード** | **購入する**

日本語 ▾

FOREX TESTER 3

トレーダーによる、トレーダーのためのソフトウェア

No1のFXバックテストソリューション

Forex TesterはFXマーケットの通貨ペアの動きをシミュレートするソフトウェアです。

- 利益の出るトレードを学べる
- 裁量トレードの戦略やトレードプランの開発、テスト、改善
- 自動売買システムの開発



フリートライアルを開始

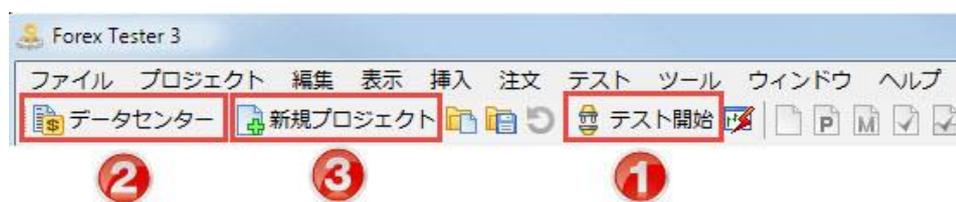
クレジットカード不要

機能	デモバージョン	フルバージョン
データ期間	より少ない 1 month of historical data	無制限 (15年の無料データ + すべてのカスタムデータ)
テスト期間	より少ない 1 hour of interrupted testing	テスト時間は無制限
プロジェクトの保存	利用不可	プロジェクトの複数保存と使用
テンプレートの保存	利用不可	テンプレートの複数保存と使用
他の機能	利用可	利用可

ダウンロードバージョンは金と銀を含む16通貨のペアのヒストリカルデータの1か月分が含まれます



Forex Tester3を使うにはまず3つのことを行ってください。



1. デフォルトデータでテストを開始します。
2. 任意の期間でテストする為のデータをダウンロードします。
3. 特別な設定でプロジェクトを作成します。そしてステップ1を繰り返します。

テストングのプロセス

1. ”テスト開始” ボタンをクリックしテストを開始します。



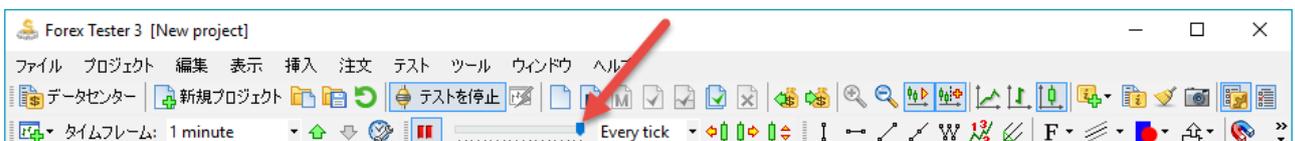
2. テストを止めるには”中止” ボタンを押す。テストを再開するためには、ボタンを再度押す。



3. テストのスピードを遅くするためにはスライダーを左へ動かす事でテストスピードを変更できます。



4. キーボードの”スペース” キーを押すかツールバーをクリックするごとにバーは前に進みます。



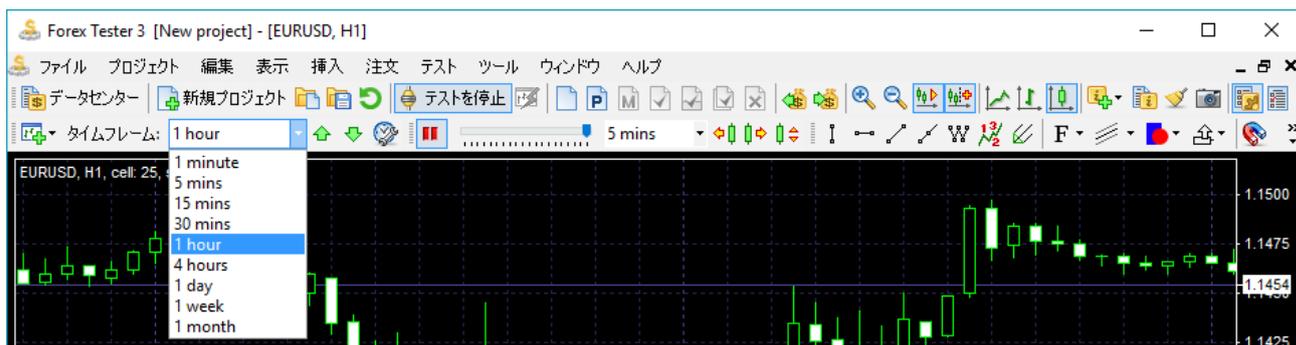
4. キーボードの”スペース” キーを押すかツールバーをクリックするごとにバーは前に進みます。



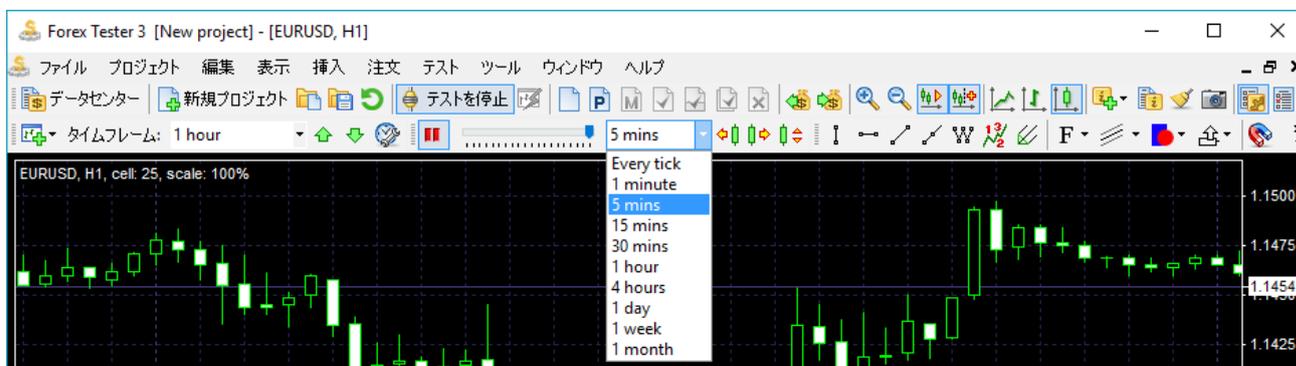
5. キーボードの”バックスペース”キーを押すかツールバーのボタンをクリックする度にバーは前に戻ります。



6. ドロップダウンメニューを使えば、期間を変更できます。



7. ティックパッケージのサイズは、対応するドロップダウンメニューをクリックすることで変更できます。



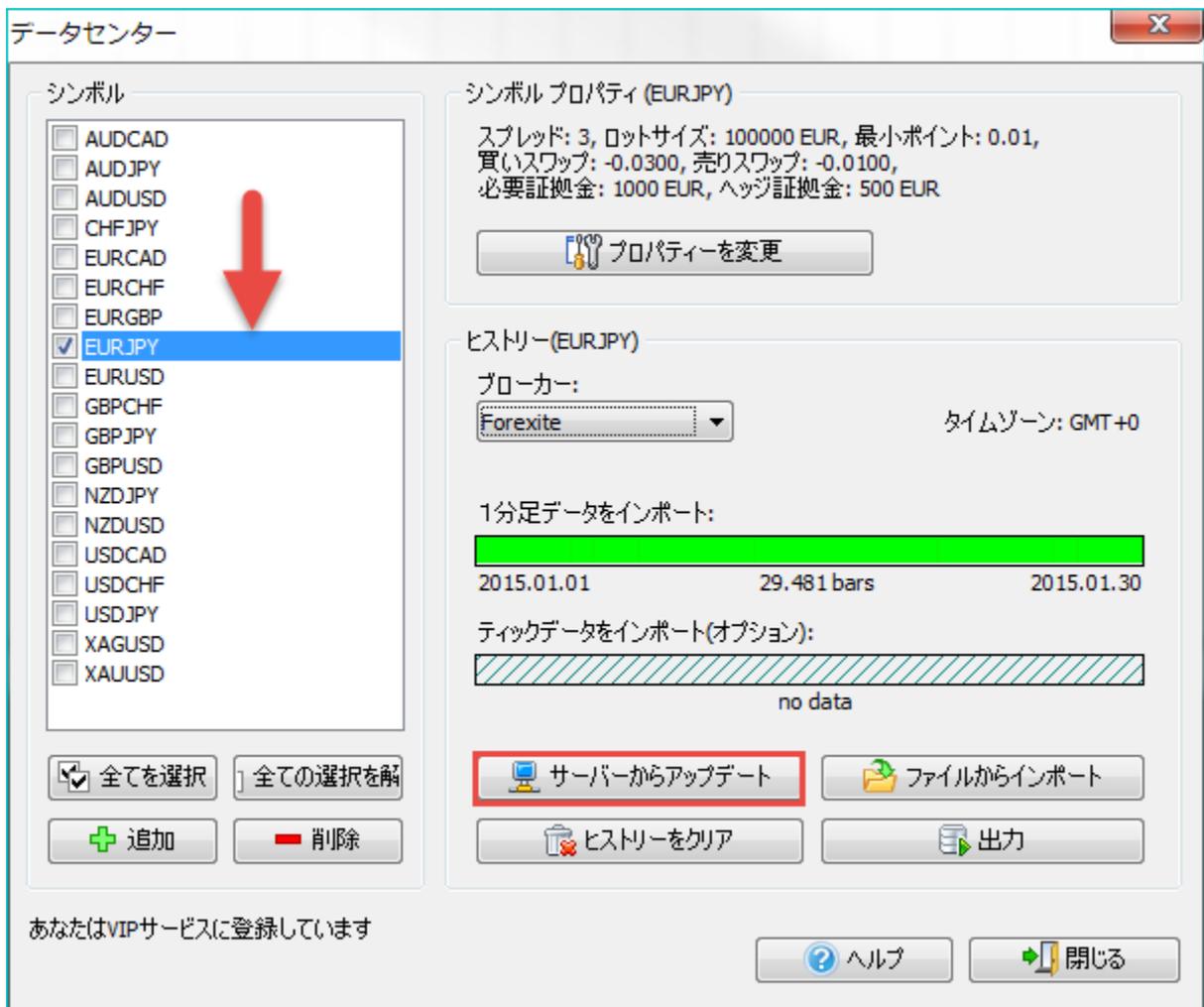
現在の時間枠が1時間となっているのであれば、掛けパッケージのサイズは5分となり、プログラムは新しいバーへ移動する前に12回価格を変更する必要があります。
(60分/5分 = 12)

データをダウンロードします

1. ツールバーの”データセンター” ボタンをクリックします。



2. ”サーバーからアップデート” ボタンをクリックし、通貨ペアをハイライトします。



3. 過去データをダウンロードするか、一部の過去データをダウンロードし、”アップデート” ボタンをクリックします。

プロジェクトを作成する

1. ツールバーの”プロジェクトの新規作成” ボタンをクリックする



2. プロジェクト名を入力し、”次” をクリックする

3. プロジェクト内で利用可能な通貨を選ぶ

5. ”テスト開始” ボタンをクリックし、プロジェクトを開始します。



保留となっているオーダーを開く

1. ”オーダー”へ進む。→新しい保留されたオーダーメニューかツールバーで”P”ボタンを押す。



2. ドロップダウンメニューを一度クリックし、オーダーの必要なタイプを選択する

指値/逆指値注文

一般 トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.1

プライス: 0.0000

損切: 0.0000 × -0.0020 20

利確: 0.0000 × 0.0020 20

コメント:

注文を執行 キャンセル ヘルプ

もし価格があるレベルに達して跳ね返るかことを期待するとき、限定されたオーダーを使うべきということを頭にとどめておいてください。もしくは、ブレイクスルー戦略のためにオーダーストップが行われます。価格が上がると思い、ある一定のポイントへ達したら、動きの減少を行い始め、”リミット売り”のオーダーをセットすべきです。もし価格が下がると思うのであれば、サポートレベルを突破し、”ストップ売り”オーダーを開く必要が出てくるでしょう。



3. ドロップダウンメニューを1度クリックし、ロットサイズを選択する。

指値/逆指値注文 ×

一般 トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.1

プライス: 0.0000

損切: 0.0000 × ← -0.0020 20

利確: 0.0000 × ← 0.0020 20

コメント:

4. オーダーが開かれるべき価格を選択する

指値/逆指値注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.1

プライス: 1.1448

損切: 0.0000

利確: 0.0000

コメント:

注文を執行 キャンセル ヘルプ

5. ストップロスに入り、利益バリューを取る

指値/逆指値注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.1

プライス: 1.1448

損切: 1.1438

利確: 1.1465

コメント:

注文を執行 キャンセル ヘルプ

6. ”実行” ボタンを押す

指値/逆指値注文

一般 トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: Buy Limit

ロット: 0.1

プライス: 1.1448

損切: 1.1438

利確: 1.1465

コメント:

注文を執行

キャンセル

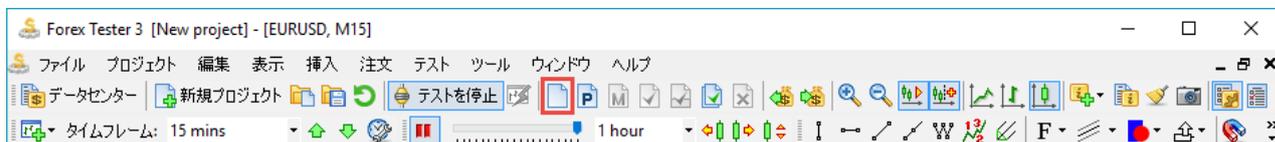
ヘルプ

1.1428 20

1.1468 20

マーケットオーダーを開く

1. ”オーダー”へ進む > ニューマーケットオーダーメニューかツールバーの”新規シート”をクリックする



2. ストップロスに入り、利益バリューを取る

成行き注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: EURUSD

ロット: 3

損切: 1.1467

利確: 1.1442

コメント:

売 / 買い

1.1454 / 1.1457

SELL BUY ヘルプ

3. ”売り”か”買い”ボタンをクリックする

成行き注文

一般 **トレイルストップ**

シンボル: EURUSD

ロット: 3

損切: 1.1467 × 1.1484 30 sell

利確: 1.1442 × 1.1424 30 buy

コメント:

売り / 買い
1.1454 / 1.1457

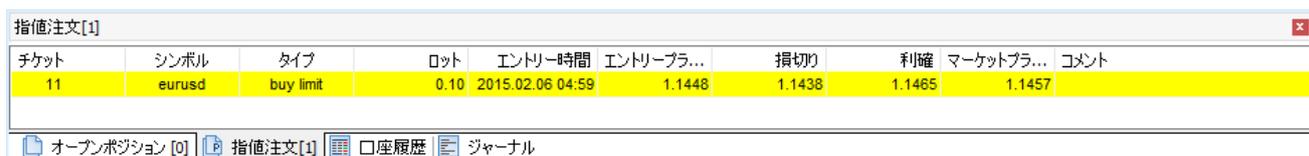
保留オーダーを閉める

1. 一時停止キーを離し、キーボードの”スペース”ボタンをクリックするかツールバーのボタンをクリックする



ストップロスに達するまで、または利益を得るまで、またはトレードを手動で閉めると決めるまで

2. オーダーを手動で閉めるためには、左下のコーナーの”保留オーダー”タブか画面から希望するオーダーがある列をダブルクリックします。



チケット	シンボル	タイプ	ロット	エントリー時間	エントリーブラ...	損切り	利確	マーケットブラ...	コメント
11	eurusd	buy limit	0.10	2015.02.06 04:59	1.1448	1.1438	1.1465	1.1457	

Buttons at the bottom: オープンポジション [0], 指値注文 [1], 口座履歴, ジャーナル

3. ”オーダーを消す”ボタンをクリックします。



注文を修正 #11

一般 | トレイルストップ

シンボル: EURUSD

タイプ: buy limit

ロット: 0.10

プライス: 1.1448

損切: 1.1438

利確: 1.1465

コメント:

Buttons: 注文を修正, 注文を削除, キャンセル, ヘルプ

マーケットオーダーを閉める

1. 一時停止キーを離し、キーボードの”スペース”ボタンをクリックするかツールバーのボタンをクリックする



ストップロスに達するまで、または利益を得るまで、またはトレードを手動で閉めると決めるまで

2. オーダーを手動で閉めるためには、左下のコーナーの”オープンポジション”タブが画面から希望するオーダーがある列をダブルクリックします。

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り	利確	マーケット...	コメント	スワップ	ポイント	利益
12	eurusd	sell	3.00	2015.02.06 04:59	1.1454	1.1467	1.1442	1.1457		0.00	-3	-90.00

残高: 13185.60 有効証拠金: 13095.60 Margin: 3436.20 余剰証拠金: 9659.40 証拠金レベル: 381.11%

3. ”ポジションを閉める”ボタンをクリックします。

注文を修正 #12

一般 **トレイルストップ**

シンボル: EURUSD

タイプ: sell

ロット: 3.00

プライス: 1.1454

損切: 1.1467 1.1474 20

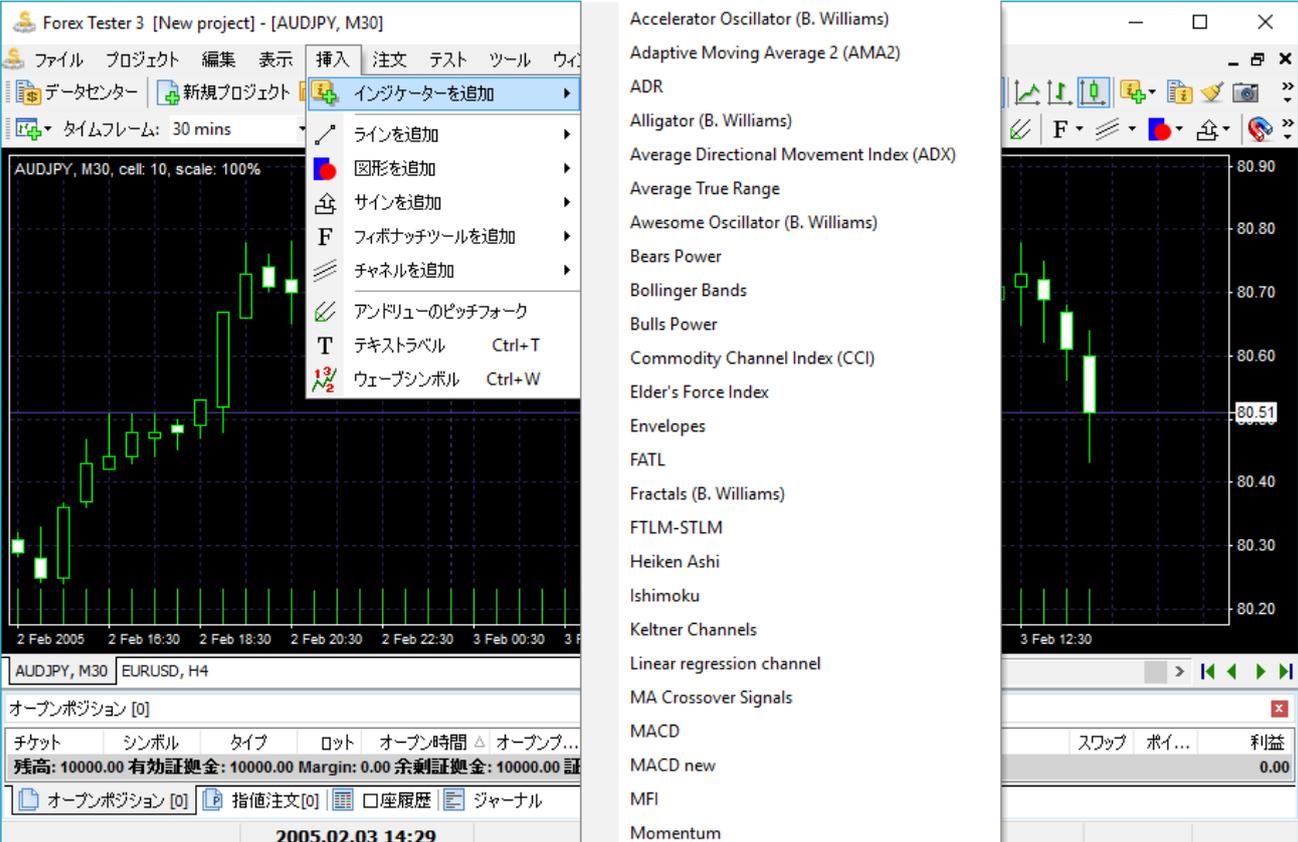
利確: 1.1442 1.1434 20

コメント:

注文を修正 **ポジションを決済** キャンセル ヘルプ

指標を追加する

指標ナビゲーションを追加するには、”挿入” →メニューの”指標追加”から行います。



The screenshot displays the 'Forex Tester 3' software interface. The main window shows a candlestick chart for AUDJPY, M30, with a price of 80.51. The 'Insert' menu is open, showing options like 'Add Indicator', 'Add Line', 'Add Shape', etc. A list of indicators is visible on the right side of the interface, including:

- Accelerator Oscillator (B. Williams)
- Adaptive Moving Average 2 (AMA2)
- ADR
- Alligator (B. Williams)
- Average Directional Movement Index (ADX)
- Average True Range
- Awesome Oscillator (B. Williams)
- Bears Power
- Bollinger Bands
- Bulls Power
- Commodity Channel Index (CCI)
- Elder's Force Index
- Envelopes
- FATL
- Fractals (B. Williams)
- FTLM-STLM
- Heiken Ashi
- Ishimoku
- Keltner Channels
- Linear regression channel
- MA Crossover Signals
- MACD
- MACD new
- MFI
- Momentum

The bottom status bar shows the date and time: 2005.02.03 14:29.

テスト分析

テスト結果を分析するためには、画面の左上隅に配置されている「マーケット情報」ウィンドウのタブから、「通貨」タブを「統計」へ切り替えます。

パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	10
経過月	0.34
トレード:	
合計トレード:	12
勝ちトレード:	6
負けトレード:	6
連続勝ちトレード:	5
連続負けトレード:	3
トレード/日	1.15
トレード/月	35
勝ちトレード/月	18
負けトレード/月	18
1トレードの最大利益	1637.05
1トレードの最大損失	1206.25
収益:	
総利益	385.51
利益計	2351.10
損失計	1965.59
利益/月	1126.47
平均利益	391.85
平均損失	327.60
最大ドローダウン	4650.57
プロフィットファクター	1.20
利率, %	3.86
その他,統計:	
最大ロット	7.00
レステレージョンファクター	0.08
リライアビリティファクター	0.24
勝率, %	50
負け率, %	50

シンボル | ティックチャート | 統計

Excelに取引履歴をエクスポートするには、画面の下部にあるタブの「アカウント履歴」をクリックし、任意の行を右クリックし、「ファイルにデータをエクスポートする」オプションを選択します

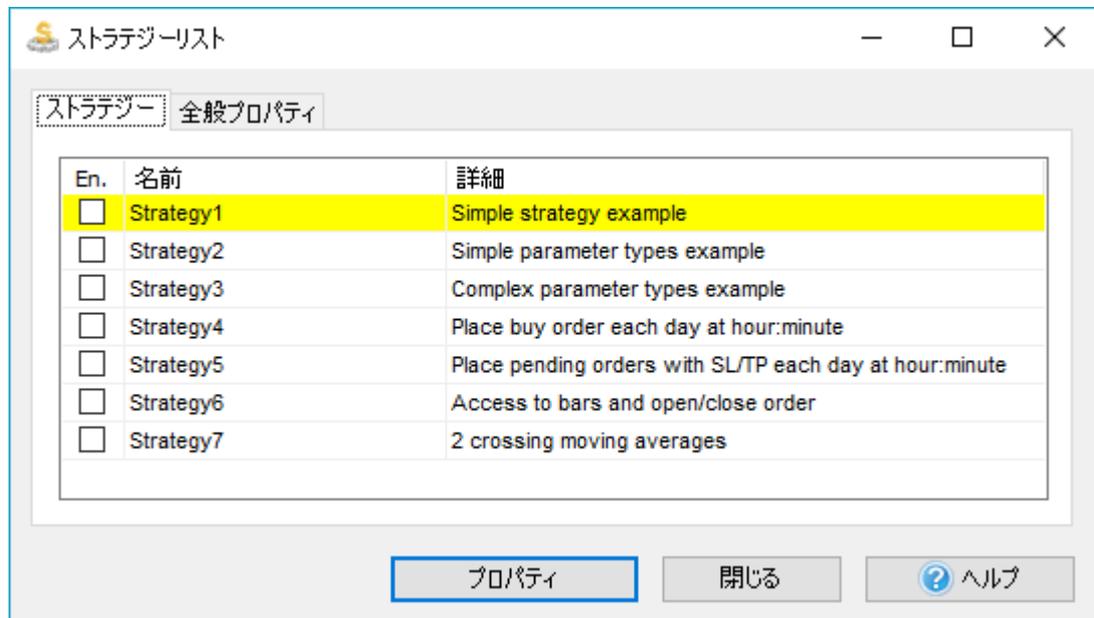
バー指標を追跡する

各ローソク足に関するすべての必要な情報は、「データウィンドウ」メニューに反映されます。このメニューは、画面の左下隅に位置していますマウスをのせると、バーの日付、時刻、オープン、クローズ高値と安値を見ることができます。さらに、ボリュームのバリュー、指標とバーのインデックスの値を見ることができます。

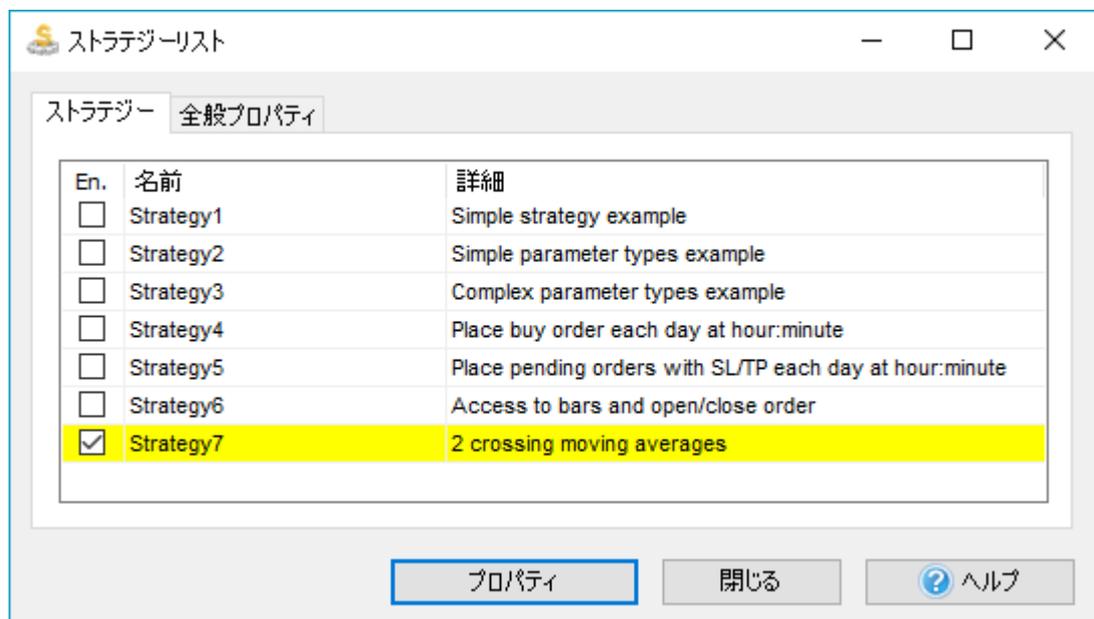
パラメーター	バリュー
AUDJPY, M30	
日付	2005.02.03
時間	09:00:00
始値	80.69
高値	80.72
底値	80.61
終値	80.64
ボリューム	120
バーインデックス	9

エキスパートアドバイザー使用方法

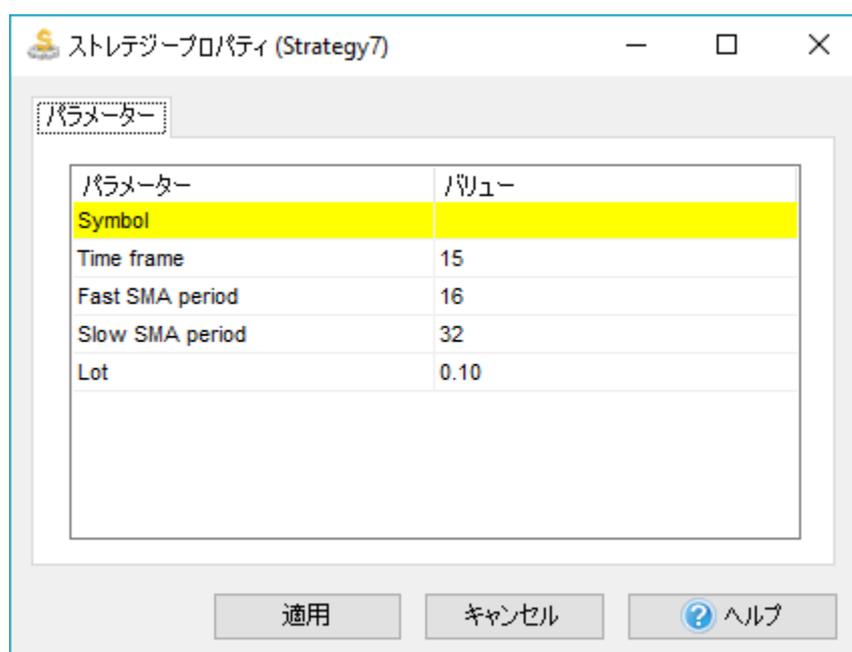
1. ” ツール” へ行く → ” 戦略リスト” メニューへ



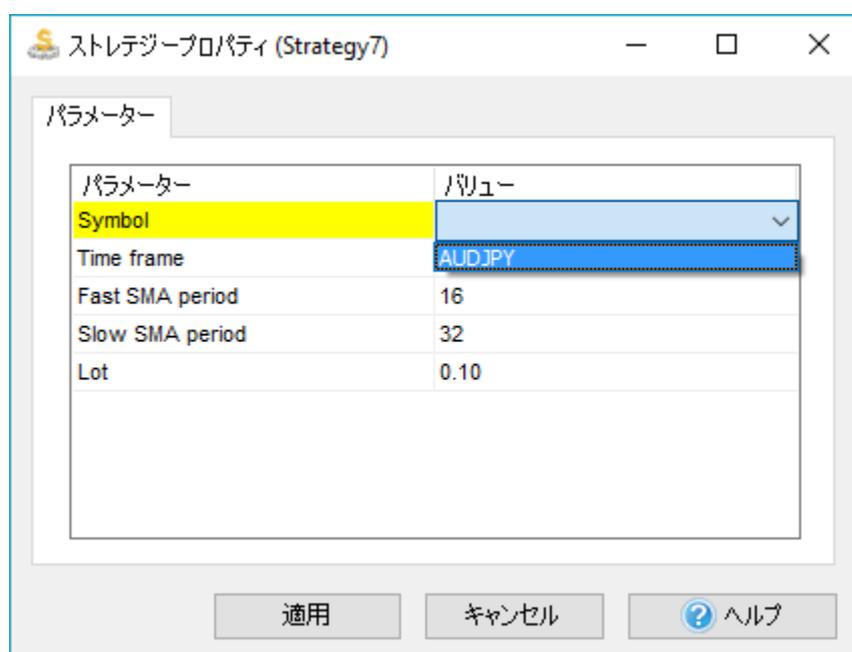
2. ” SimpleSMA” 自動戦略をチェックする



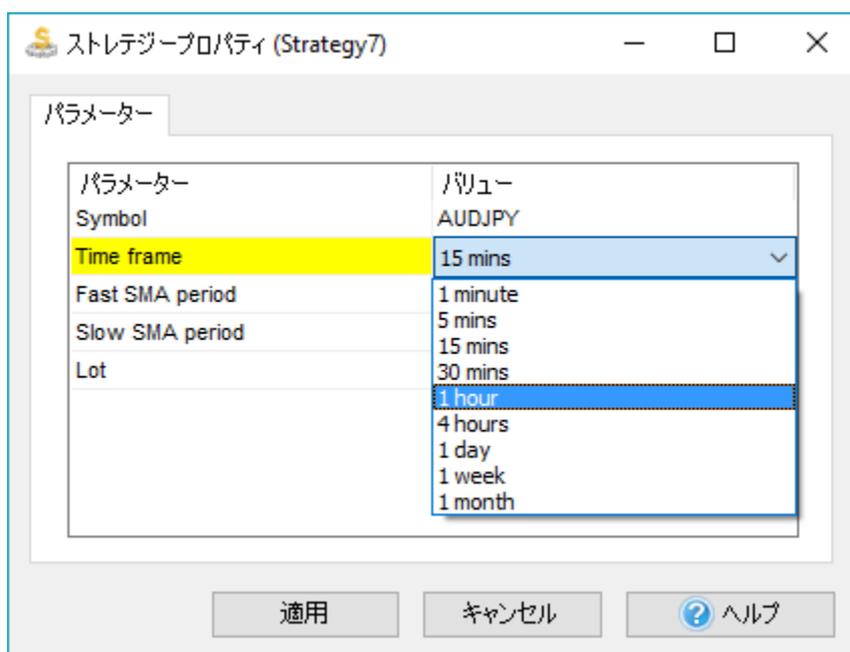
3. アドバイザーの名前をダブルチェックする



4. 通貨ペアを選ぶ（この場合、米ドル・日本円）

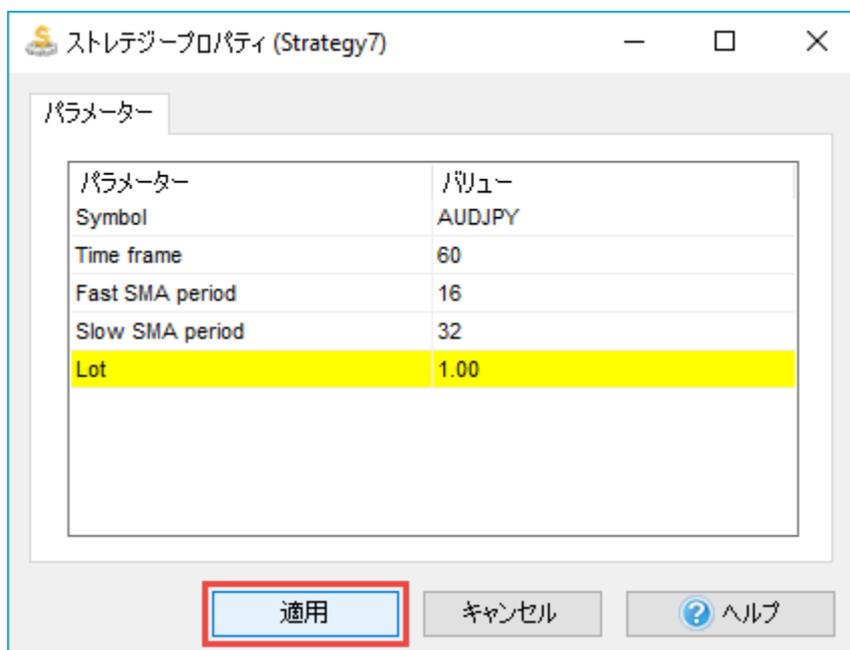


5. 期間をH1にセットする(期間 60)

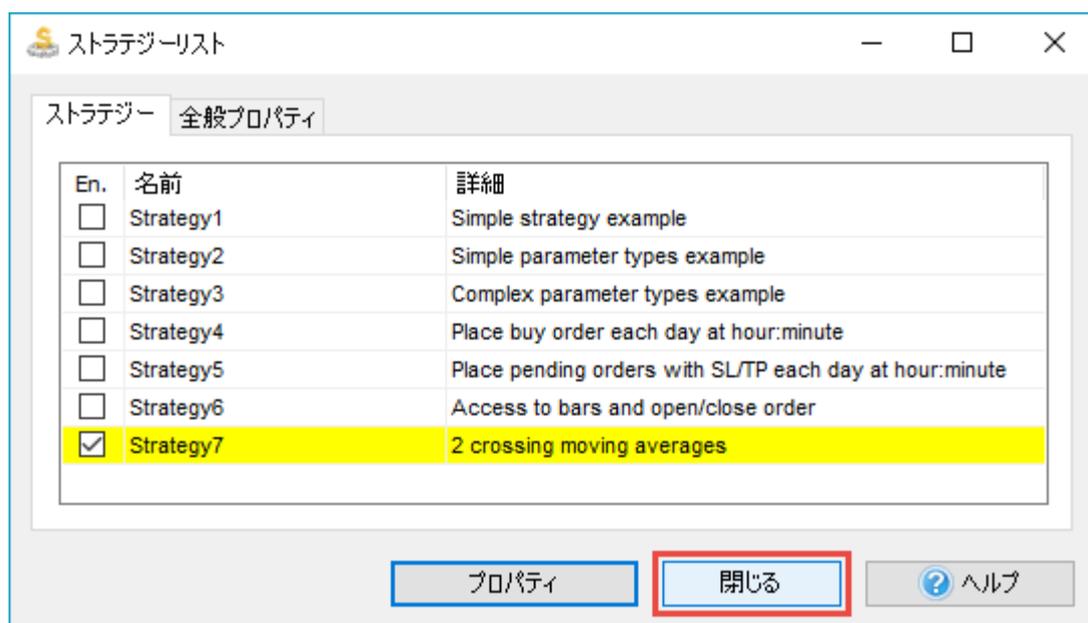


6. 初期設定指標をロットサイズにし、平均期間へと進む

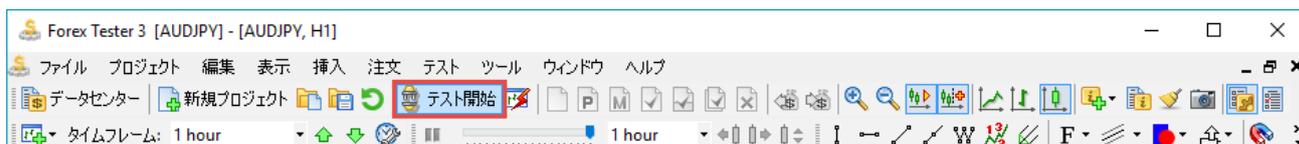
7. ”適用” ボタンをクリックする



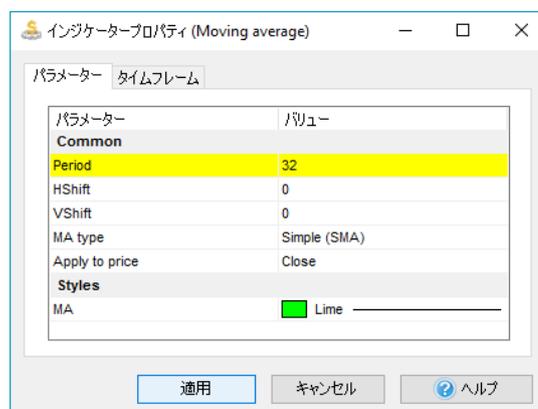
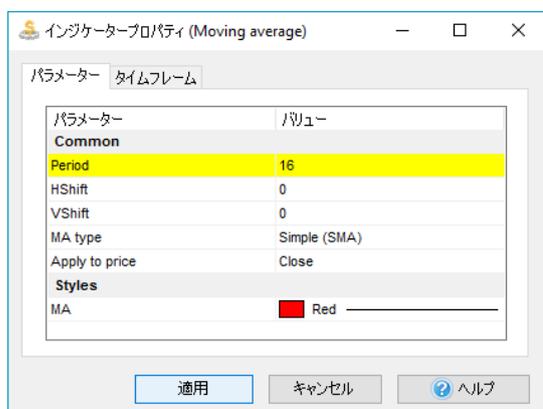
8. ”閉じる” ボタンをクリックする



9. ”テスト開始” をクリックする > テスト開始ボタン



チャートの時間枠は、エキスパーとアドバイザー（H1）のために選択した時間枠に対応することを確認してください。赤の16の期間と青の32の期間のように、異なる色と期間で2つの単純移動平均を設定します。



指標を変更したい場合、指標を右クリックし”編集” オプションを選択します。



エキスパートアドバイザーはルールに則って自動的にトレーディングを開始したり終了したりします。

Forex Tester3のダウンロードとインストール方法

Forex Tester3をインストールするには、当社ダウンロードページよりForexTesterSetup.exeファイルをダウンロードしてください。[Download page](#) .
“Download now” ボタンをクリックしてダウンロードを開始する、

プログラムのご紹介 | 機能 | ご使用方法 | 過去データ | フォーラム | アフィリエイト | お問い合わせ

ダウンロード 購入する

日本語

FOREX TESTER 3

トレーダーによる、トレーダーのためのソフトウェア

No1のFXバックテストソリューション

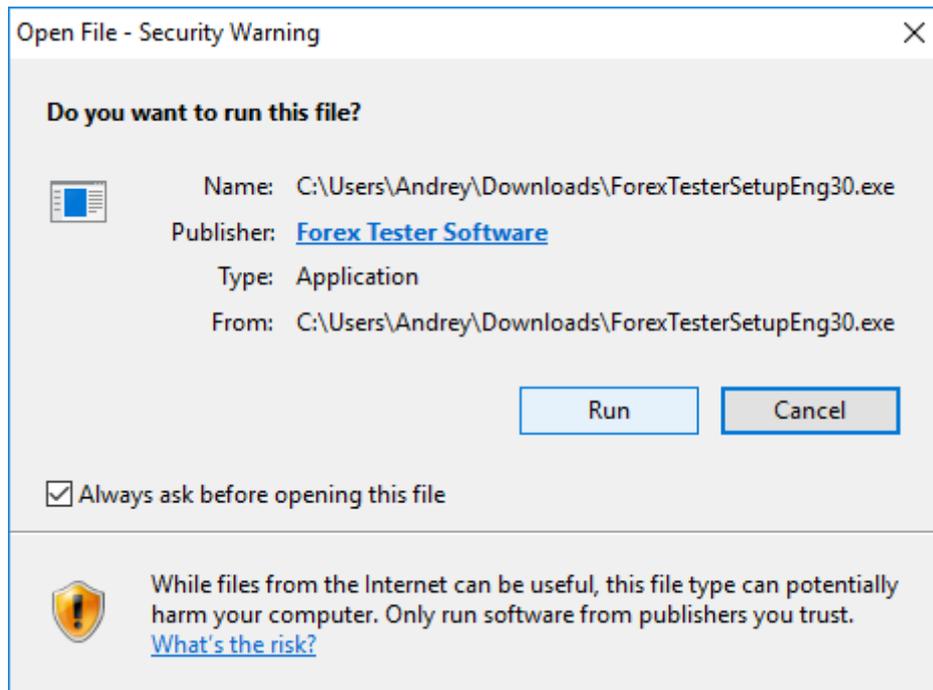
Forex TesterはFXマーケットの通貨ペアの動きをシミュレートするソフトウェアです。

- 利益の出るトレードを学べる
- 裁量トレードの戦略やトレードプランの開発、テスト、改善
- 自動売買システムの開発

フリートライアルを開始
クレジットカード不要

機能	デモバージョン	フルバージョン
データ期間	より少ない1 month of historical data	無制限 (15年の無料データ + すべてのカスタムデータ)
テスト期間	より少ない1 hour of interrupted testing	テスト時間は無制限
プロジェクトの保存	利用不可	プロジェクトの複数保存と使用
テンプレートの保存	利用不可	テンプレートの複数保存と使用
他の機能	利用可	利用可

ファイルを保存したら、ファイルをダブルクリックして、インストーラーが立ち上がったら実行ボタンをクリック。プログラムがPCへ変更を加えてよいか、聞いて来た場合は“はい”をクリック。

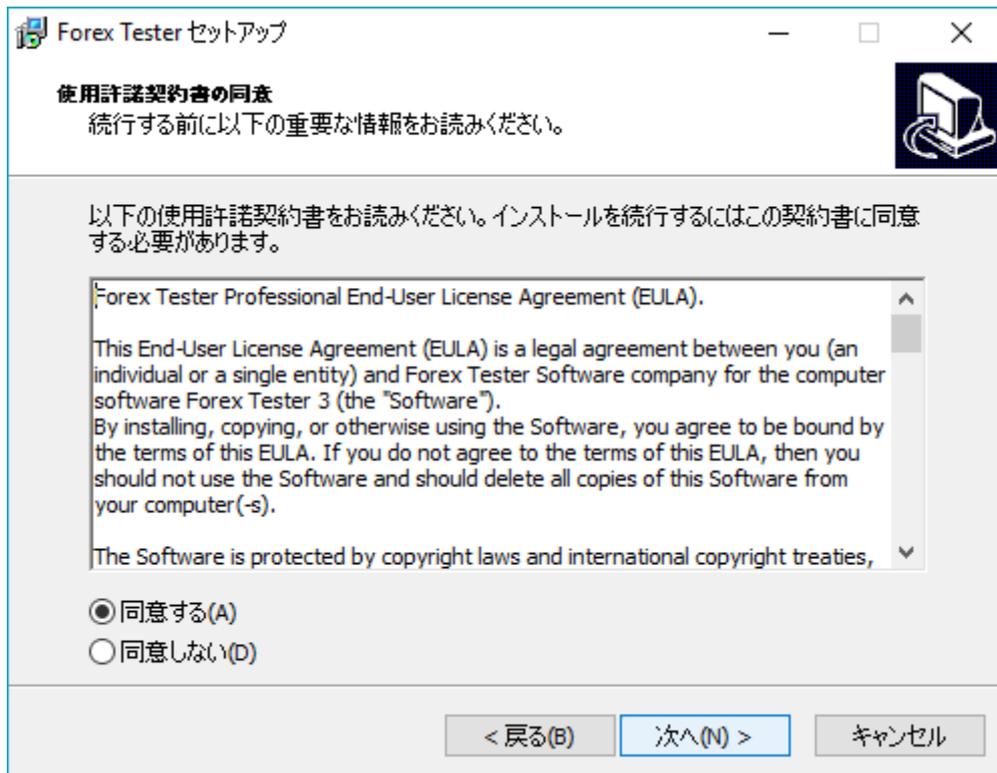


Forex Testerのセットアップウィンドウがでたら、“Next”をクリック

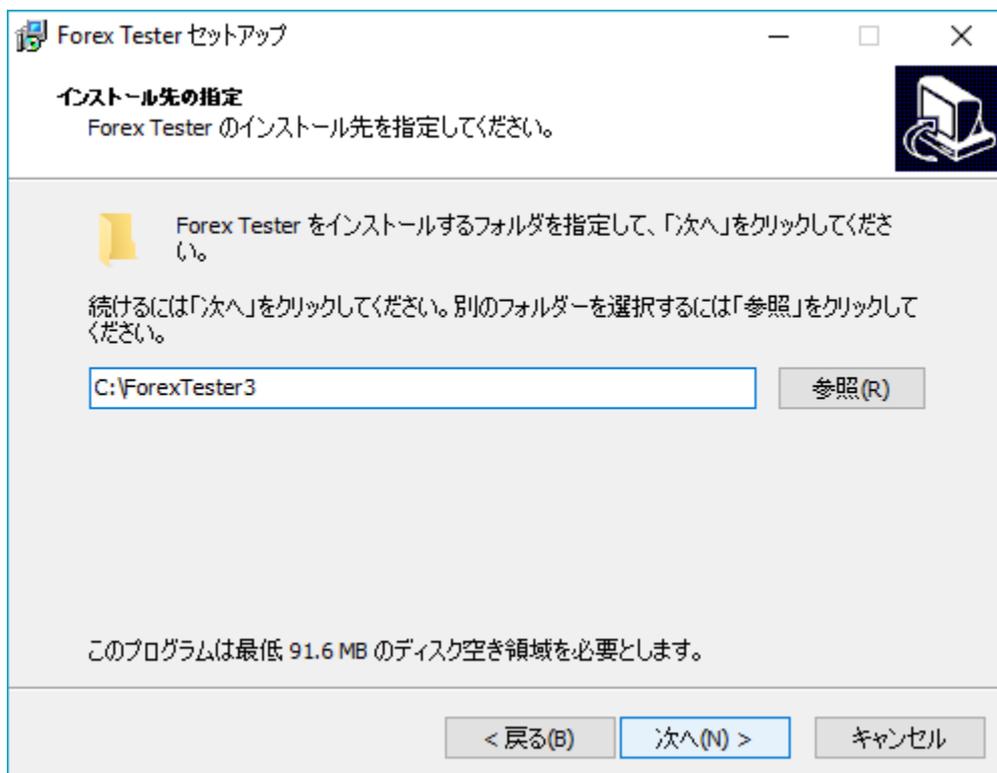


エンドユーザーライセンスを一読し、同意される場合は “I accept the agreement” を選択し “Next” をクリック

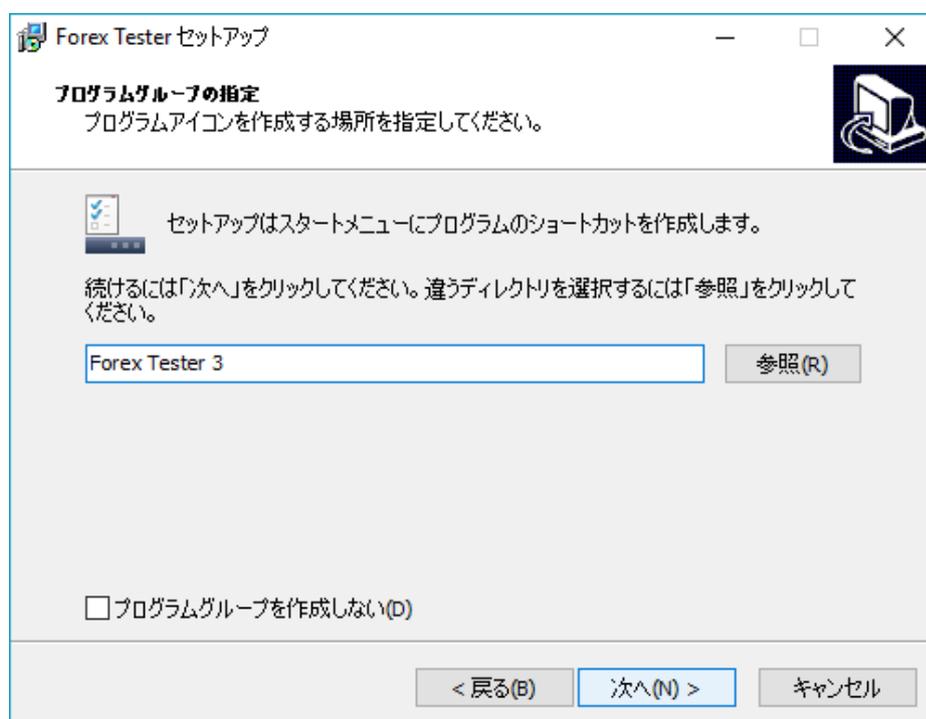
次の画面で “Next” をクリック



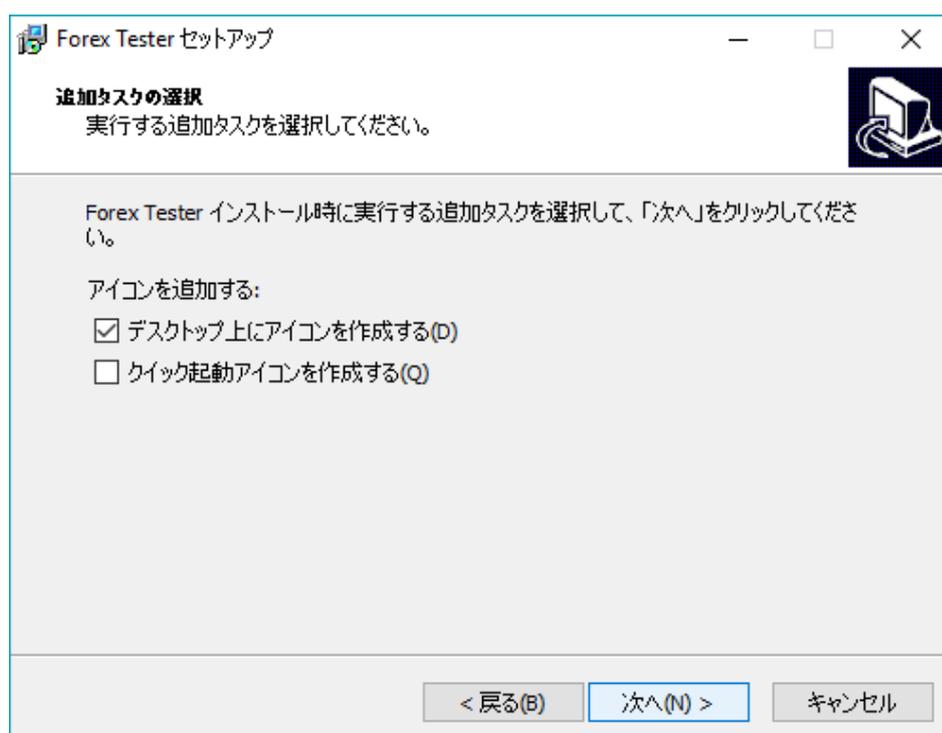
Forex Tester3をインストールするフォルダを選び、“Next”ボタンをクリック。デフォルトのインストールフォルダ (C:\¥ForexTester3) を使うことを強く推奨します。Cディスクのプログラムフォルダ (C:\¥Program Files¥) の中へForex Tester3をインストールすると、不具合が起きる可能性が高いため、お勧めしていません。



スタートメニューフォルダを選択し、“Next”をクリック。もしスタートメニューへ Forex Testerを表示させたくない場合は、“Don’ t create a Start Menu folder”へチェックを入れる。



デスクトップアイコンを作る場合は、“Create a desktop icon”にチェックを入れたままにし“Next”をクリック



そして、次の画面で“Install”ボタンをクリック。



インストールされるまで、少々お待ちください。インストール終了後、“Launch Forex Tester”オプションをそのままにし、“Finish”ボタンをクリックして、Forex Tester3を起動する。もしくは、“Launch Forex Tester”のチェックをはずし、後でForex Tester3を起動する。

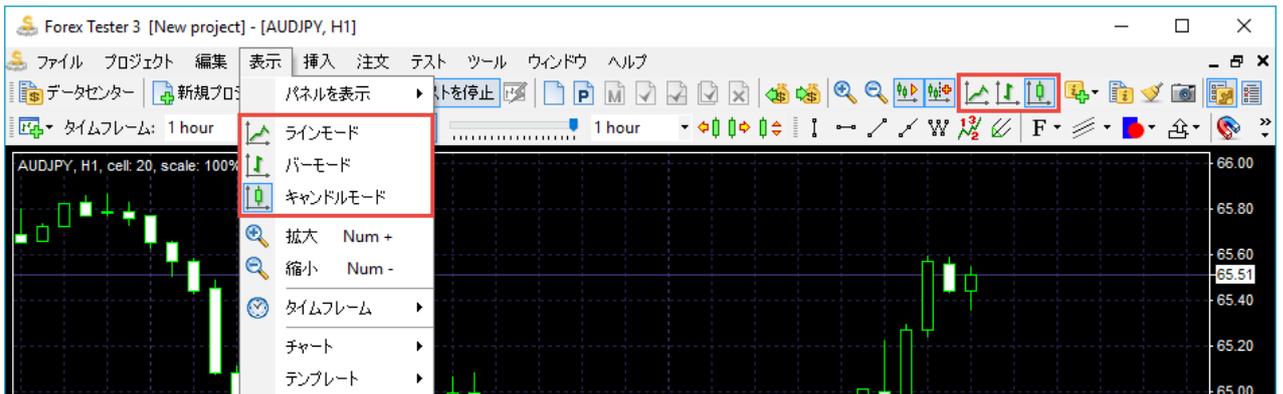


これで終了です。あなたのPCにインストールされました。

デスクトップアイコンを作る選択をした場合は、このアイコンがPC上にでてい
ることでしょう。

表示

Forex Testerには、5つのチャートモードにあります。これらはツールバーと、表示メニューにあります。

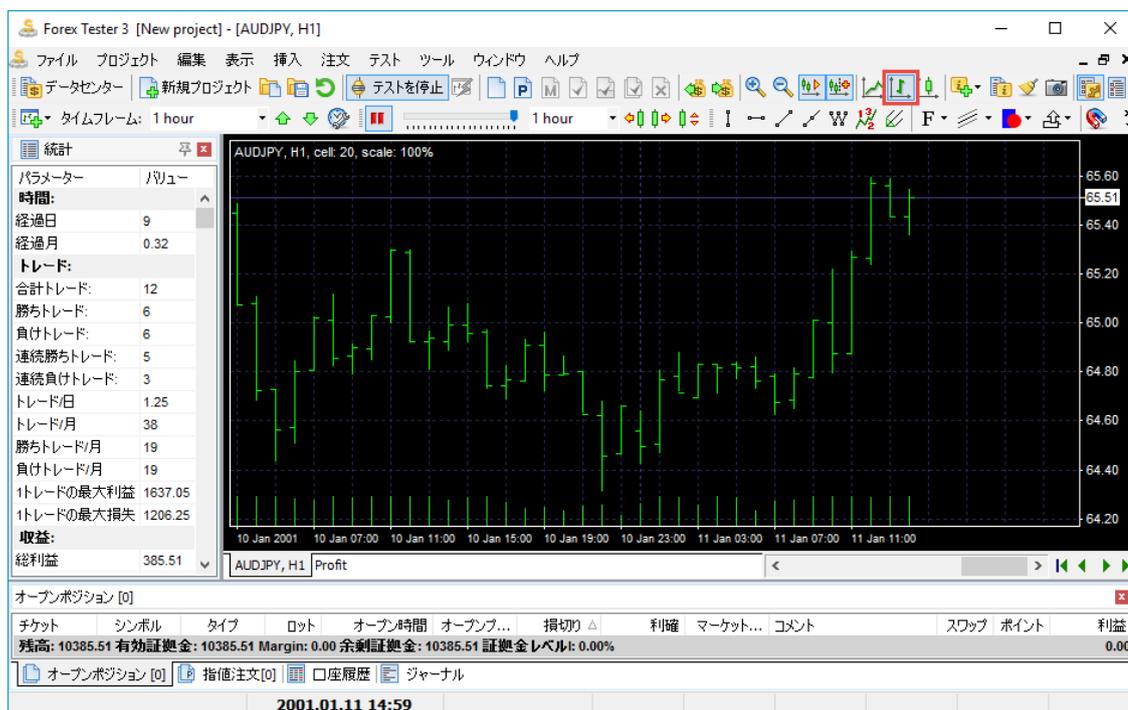


1つ目はキャンドルモードです。キャンドル（ロウソク足）はForex Tester3の初期設定になっています。ロウソク足は2色の四角に、上ひげや下ひげがついています。

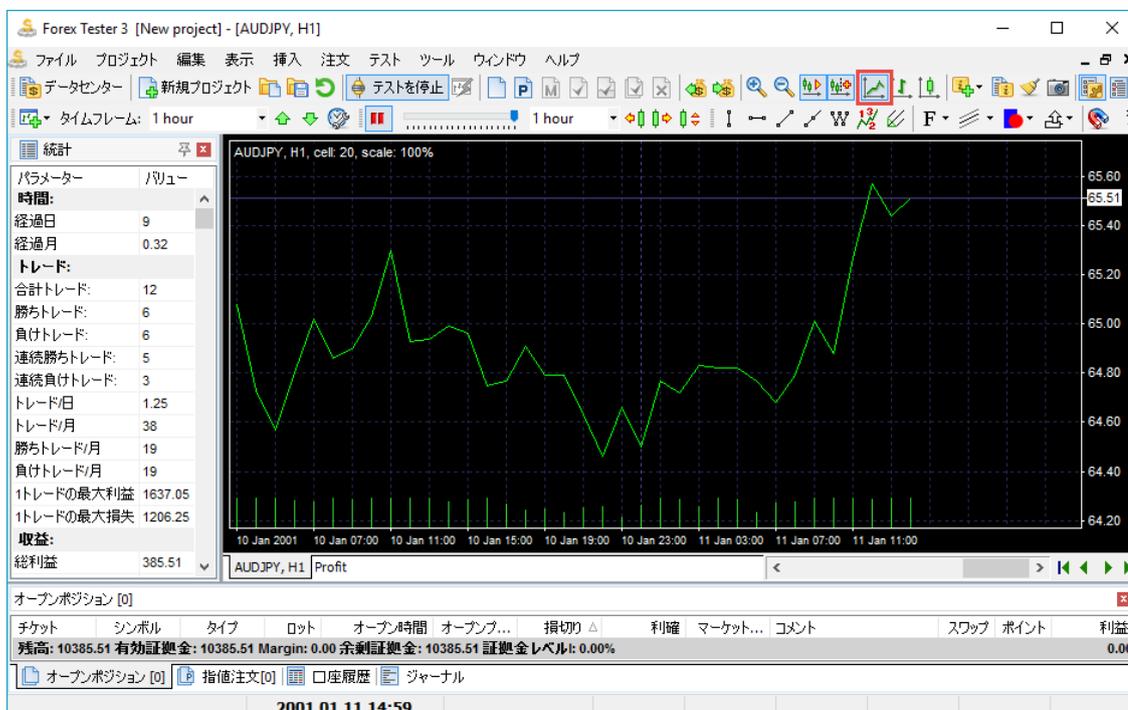


2つ目はバーモードです。

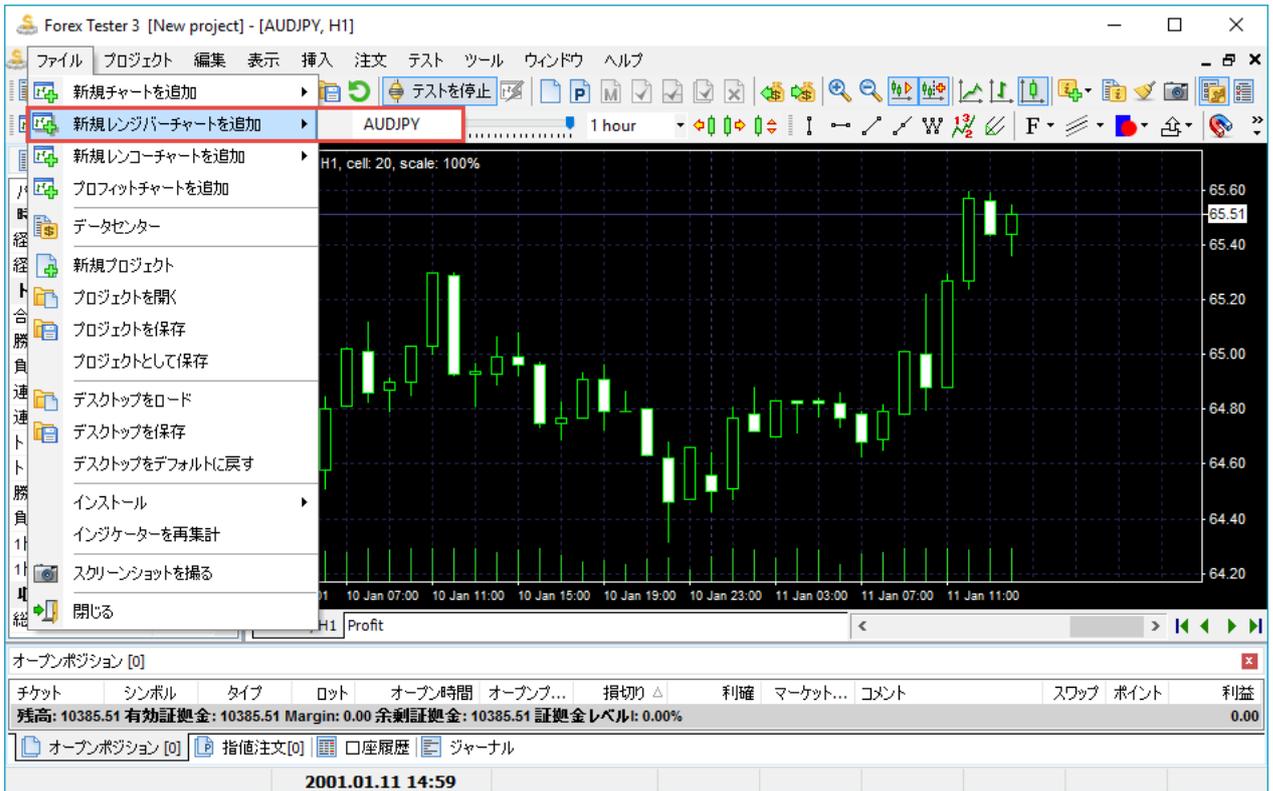
このモードは垂直線に水平の区切りがついたバーで構成されます。垂直線は、高値と安値の幅を表し、左の水平線は始値、右の水平線は終値を表しています。



3つ目のラインモードは、高値と安値を結んだ連続の直線です。



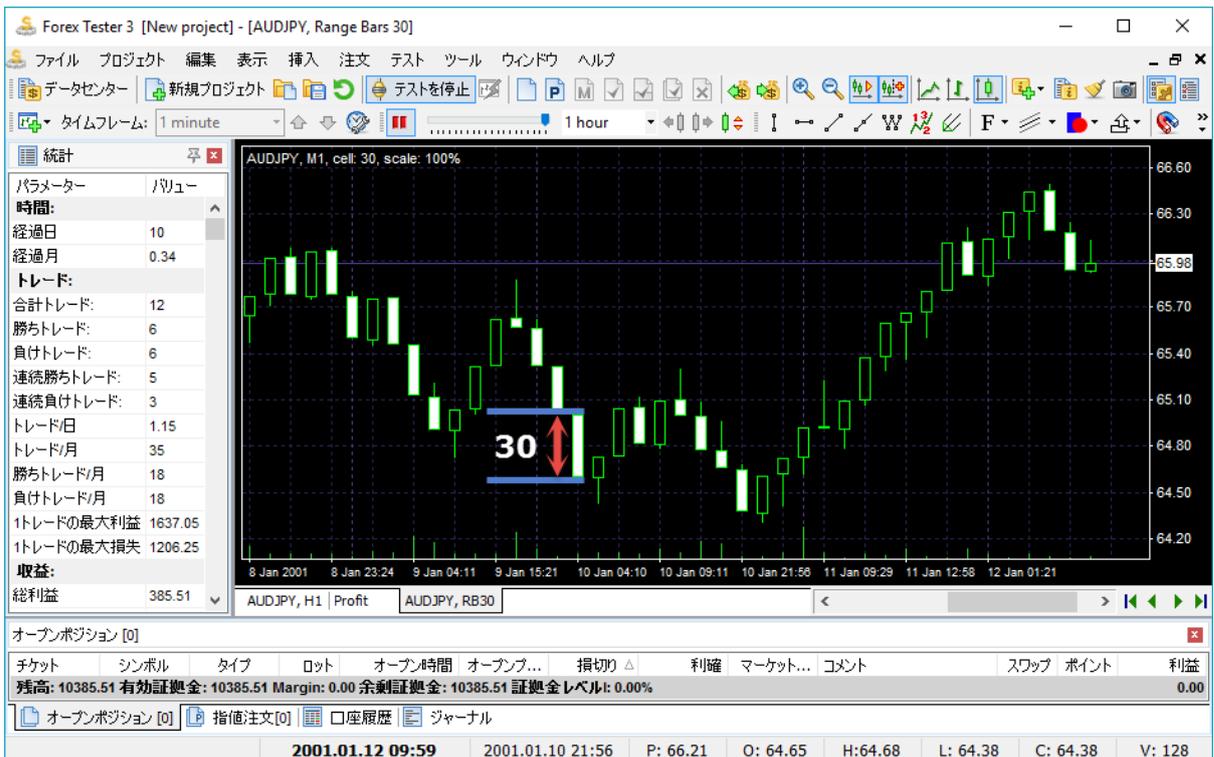
4つ目はレンジバーモードです。このモードを使うには、“ファイル → 新規レンジバーチャートを追加”から、レンジバーを作りたい通貨ペアを選択してください。



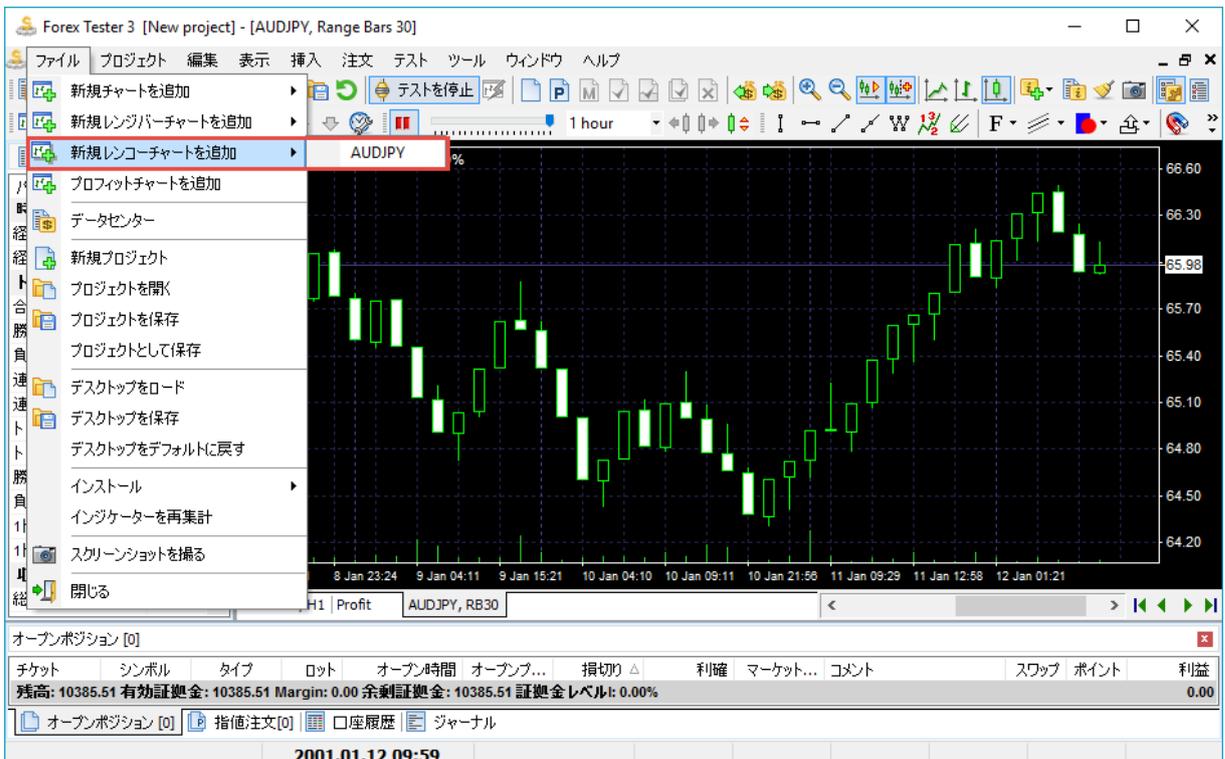
この後、Forex Testerは“レンジバーサイズ”を聞いてきます。 数値をいれ、OKをクリックしてください。

The dialog box is titled 'レンジバーサイズ:' (Range Bar Size:). It contains a text input field with the value '30' and a dropdown arrow. Below the input field are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

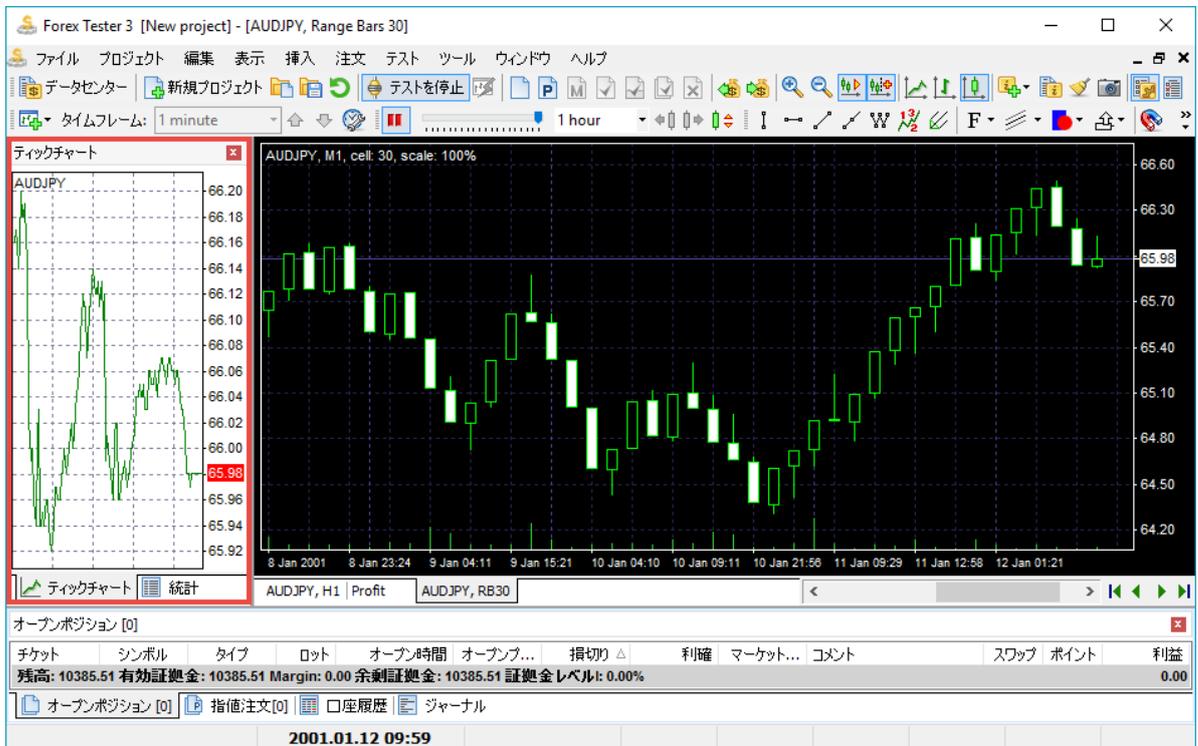
各ロウソク足、またはバーのスペルッドは、入力した数値と同じになります。



5つ目のモードは、レンジバーモードです。このモードを使うには、“ファイル > 新規レンジバーチャートを追加”から、レンジバーを作りたい通貨ペアを選択してください。さらに、あなたがピップでバーサイズを特定し、OKをクリックする必要があります。レンジバーのサイズは影なしバー本体のサイズであることに注意してください。



最後に、6番目のモードはティックチャートモードです。これは、現在のデータ範囲の中における価格の変化を表示します。ティックチャートに戻るためには、画面上部左側の”ティック”タブをクリックしてください。



初期設定では、陽線は黒色でライム色の枠線になっています。陰線は白色でライム色の枠線になっています。ロウソク足の色やチャートの背景は変更可能です。チャートの上で右クリックをして、“チャート設定”オプションを選択してください。

損切 66.69 で売り	
逆指値買い 66.69	
指値売り 66.69	
設定した損切/利確で買い	Ctrl+B
設定した損切/利確で売り	Ctrl+S
インジケーターを追加	▶
インジケーターリスト	
タイムフレーム	▶
テンプレート	▶
<input checked="" type="checkbox"/> ボリュームを表示	
<input checked="" type="checkbox"/> 口座履歴を表示	
<input checked="" type="checkbox"/> グリッドを表示	
<input checked="" type="checkbox"/> 期間分岐線を表示	
描画リスト	
最後の描画を削除	Ctrl+Del
全ての描画を削除	Ctrl+A
チャート設定	

Forex Testerには、9つの配色設定が組み込まれています。試しに、デフォルトの配色を、“Black on White”の配色に変更してみましょう。この設定にすると、ロウソク足の枠を黒にし、配色を変更します。陽線は白に、陰線は黒になります。



下記の配色を変更です。

- 背景色
- フレームとテキスト
- グリッド
- ロウソク足の枠線
- ロウソク足のボディの色
- 期間区切り線

“その他の色”タブで、チャート上に表示されるその他の重要なラインの色を変更できます。デフォルトでは、損切、利確、負け取引、買いマーカは赤色に設定されています。その他の項目（注文レベル、勝ち取引、売りマーカ、ボリューム）は緑色になっています。これらの色は、右についているドロップダウンメニューから、好きな色に変更ができます。



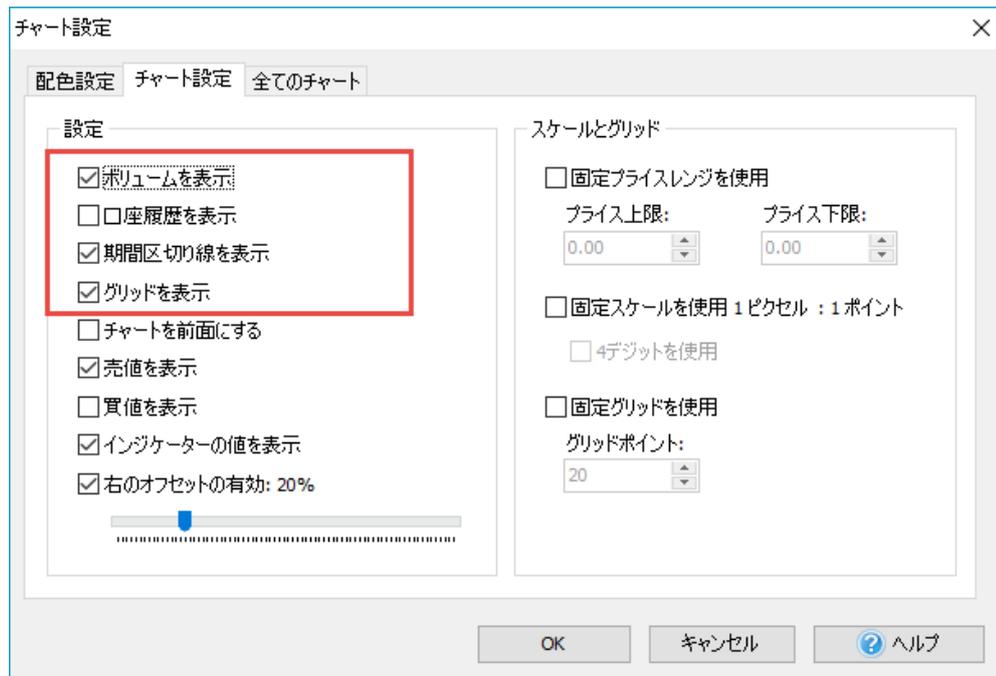
また、“チャート設定”タブでは、各オプションの表示/非表示を選択できます。

“ボリュームを表示”のチェックをはずすと、ボリュームインジケータが消えます。

ポジションを入れて決済すると、エントリーと決済ポイントが線につながります。この線も消すことができます。このラインを消したい場合は、チャート上で右クリックをしてチャート設定をだし、“チャート設定”タブにある“口座履歴を表示”のチェックをはずしてください。

“期間区切り線を表示”にチェックが入っていると、1日の終わりに垂直のドット線が表示されます。

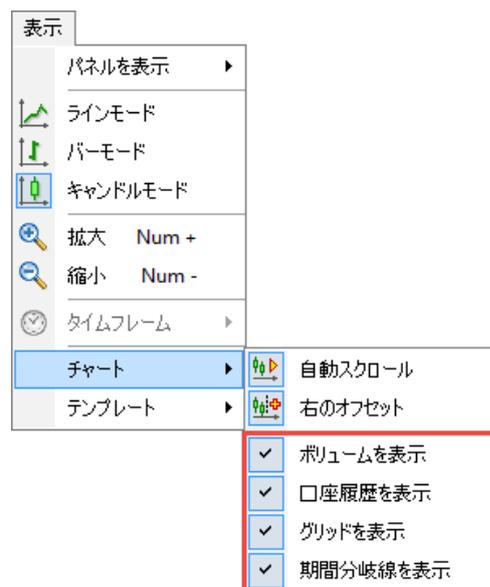
“グリッド”も非表示にできます。グリッドはチャート上に表示される四角のドット線で、プライスなどを目視するのを助けます。グリッドはロウソク足のプライスと時間を確認するときに役立ちます。



“期間区切り線”は1日の始まりに表示される垂直なドット線です。グリッドは四角のドット線で、チャートのある箇所のプライスなどを把握するときに便利です。

また、“ボリューム”、“口座履歴”、“グリッド”、“期間区切り線”は、チャートを右クリックしたウィンドウから、表示/非表示することができます。

他の方法では、“表示 --> チャート”メニューから同じオプションが見つかります。



インジケータや口座履歴をロウソク足の下に表示したい場合は、“チャートを前面にする”にチェックを入れてください。

売値は売り注文を入れたときに入る売りプライスを表示するラインです。

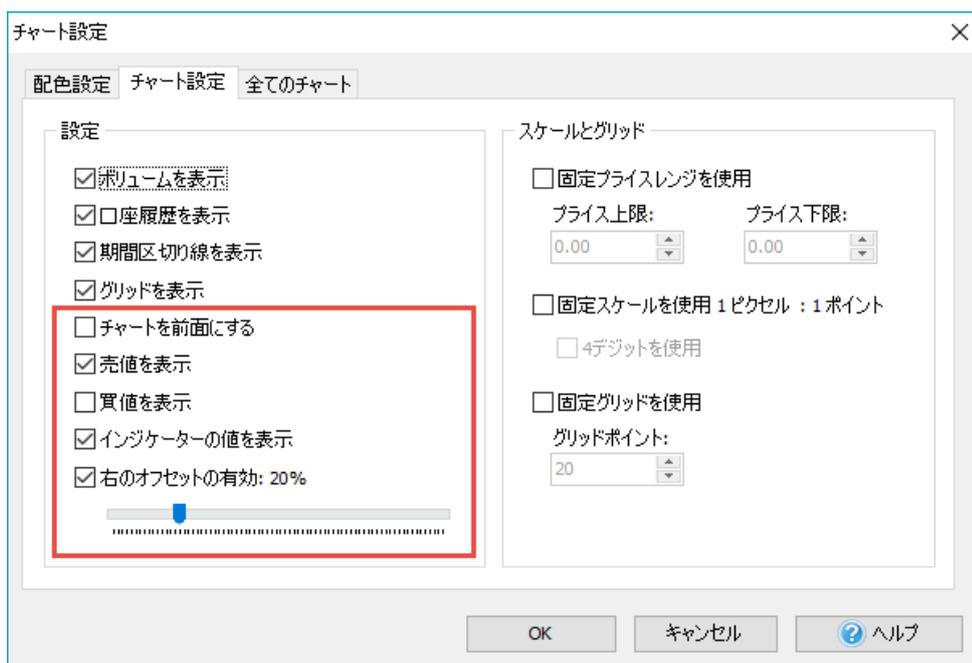
同じように、買値は買い注文を入れたときに入る買いプライスを表示します。

“チャート設定”タブからこのラインの表示/非表示ができます。

インジケータをチャートにいれている場合、現在のプライスがプライス軸に赤く表示されます。“指標バリューを表示する”というこれらのオプションから有効化/無効化を行うことができます。

右のオフセットとは、プライス軸と最新のロウソク足のスペースのことです。右のオフセットのチェックをはずすと、ロウソク足とプライス軸の間にスペースはなくなります。

スクロールバーを使って、空白の広さを変更できます。



“固定プライスレンジを使用”にチェックを入れ、チャートの上限と下限の数値を設定すれば、チャートはそのプライスレンジに固定されて表示されます。

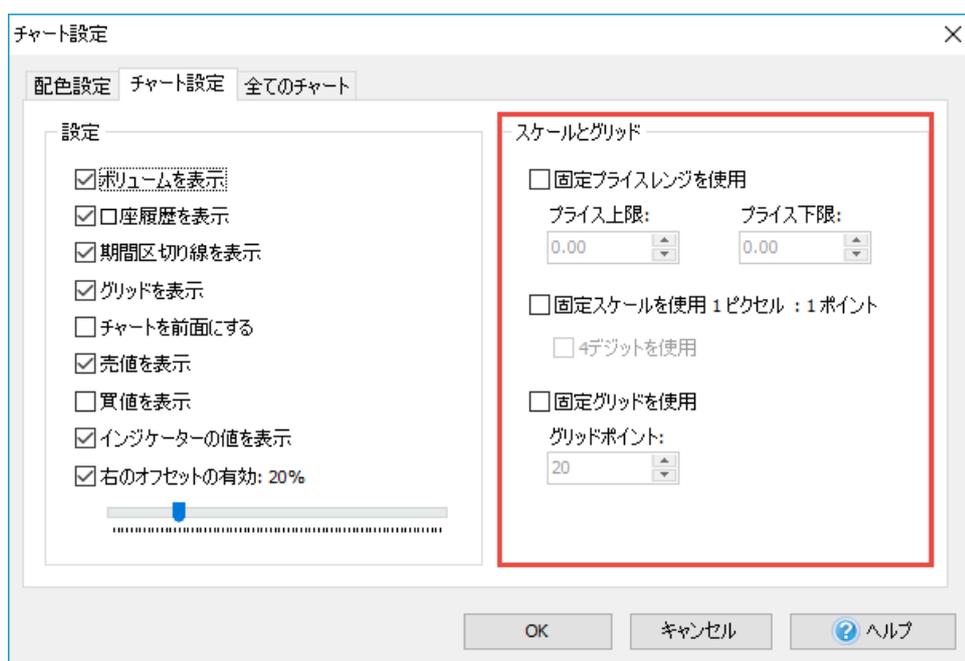
“固定スケールを使用 1ピクセル:1ポイント”のチェックをはずすと、チャートの最高値と最安値が常時表示されるようになります。この機能にチェックを入れると、ロウソク足の高さが変更されます。この変更はお使いのPCのモニター解像度に依存します。

。

初期値では、水平線のグリッドは5pipsごとに描かれます。この数値を変更したい場合は、“固定グリッドを使用”にチェックを入れ、お好きな数字を入力してください。たとえば、固定グリッドを“30”に設定したとします。すぐにグリッドの間が広がったことに気がつくでしょう。

“全てのチャート”タブでは、チャートがスクロールするスピード、マウスやマグネットの感度を変更できます。もしスクロールスピードを10にしたら、初期値の“1”よりも10倍早くスクロールすることに気がつきます。この設定を試したいなら、チャート上で左クリックをしたまま、マウスを左右に動かしてみてください。スクロールスピードが変わったことが分かります。

“ラインに対するマウス感度”をテストしたいなら、まずは、チャートへラインを引いてみてください。ラインをダブルクリックした後、ラインをドラッグして動かしてみてください。“ラインに対するマウス感度”が3なら、ラインから3ピクセル離れていてもドラッグできるようになります。



チャートを縮小して、ロウソク足をもっと表示させるには下記の方法があります。

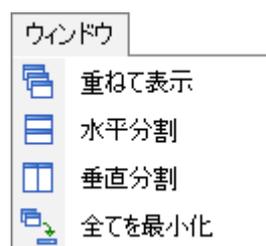
1. ツールバーの“チャートスケールを縮小”ボタンをクリック
2. メニューバーから、“表示 --> 縮小”をクリック
3. キーボードのマイナスボタンをクリック

ロウソク足を大きく表示させる方法は下記の通りです。

1. ツールバーの“チャートスケールを拡大”ボタンをクリック
2. メニューバーから、“表示 --> 拡大”をクリック
3. キーボードのプラスボタンをクリック

複数表示させたチャートを並べるには、メニューの“ウィンドウ”にあるオプションを使用します。

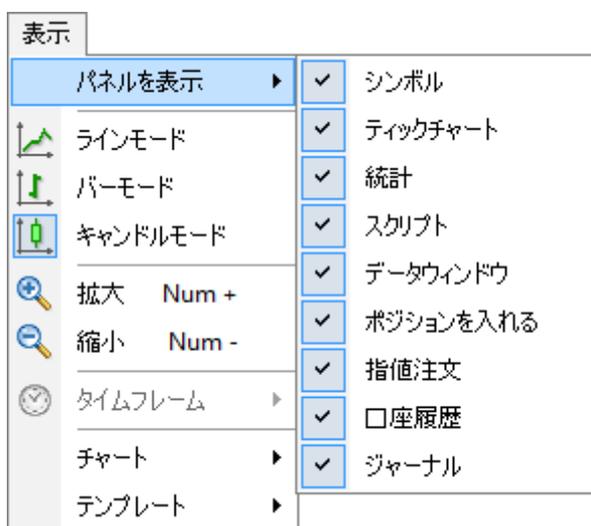
1. “重ねて表示”は、チャートを少しづらしながら重ねていきます。
2. “水平分割”は、左から右にチャートを配置していきます。
3. “垂直分割”は、上から下へチャートを配置していきます。



Forex Testerに入っている9つのパネルは、いつでも有効/無効に切り替えられます。パネルを表示させたい場合は、“表示 --> パネルを表示”から表示させたいパネルを有効にしてください。

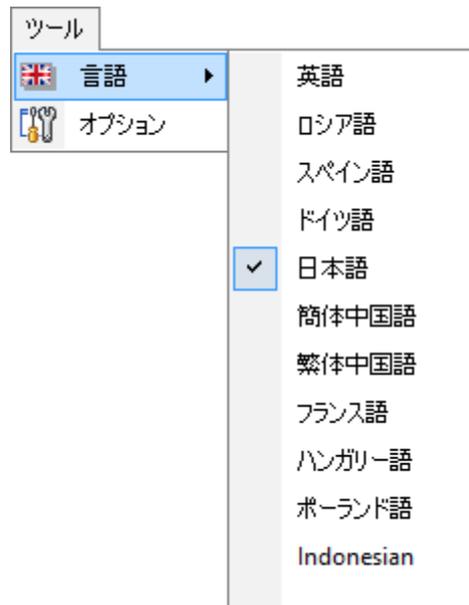
1. “シンボル”パネルは、現在のプロジェクトに入っている通貨ペア名がリストされます。売値、買値、スプレッドも表示されます。
2. “ティックチャート”は、ロウソク足の価格の変更を表示します。この参考例では、93.41でバーが始まっています。その後、93.35まで価格が上がり、93.42で価格がクローズしました。
3. “統計”ウィンドウでは、ストラテジーのパフォーマンスについて各種情報が表示されます。
4. “スクリプト”では、使用可能なスクリプトがすべて表示されます。スクリプトはユーザーが設定したアルゴリズムです。

5. “データ”ウィンドウは、現在のロウソク足の情報が表示されます。日付、ロウソク足の時間、始値、安値、高値、終値、ボリューム、バーインデックスです。ロウソク足の情報をみるには、カーソルをそのロウソク足まで持って行ってください。常にロウソク足の情報を表示させておきたいのであれば、“ロックインデックス”にチェックを入れ、表示させたいバーの番号を設定してください。ロウソク足は、0からカウントします。1ではありません。また、右から左に向かってカウントします。
6. “オープンポジション”タブは、すべてのオープンポジションを表示します。
7. “指値/逆指値注文”タブは、すべての指値/逆指値注文を表示します。
8. “口座履歴”タブは、決済した注文の一覧です。
9. “ジャーナル”は技術的な情報を表示します。インジケータのロード、注文の執行、変更、決済、テストの開始など。



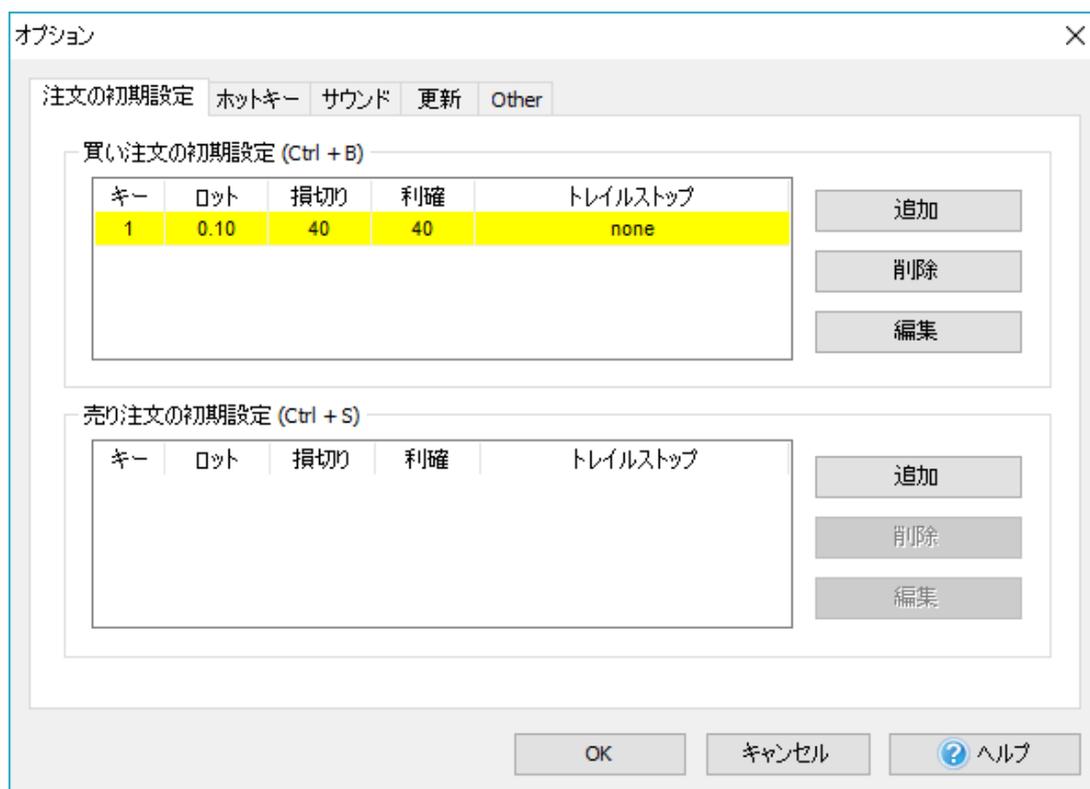
“ジャーナル”の記載内容を消したい場合は、ツールバーの“ジャーナルを消す”ボタンをクリックしてください。 

Forex Tester3は、10の言語に翻訳されています。表示言語を変更したい場合は、“ツール --> 言語”から選択してください。



” ツール→オプション” メニューへと操作するとき、ウィンドウに4つのタブがあることに気づくと思います。” 初期オーダー” は、同じパラメーターで度々オーダーを開く場合に特に便利なものです。例えば、40ピップでストップロスのオーダーをし、0.2と同じロットサイズの60ピップで利益を取りたい戦略の場合、簡単にそれをセットアップできます。

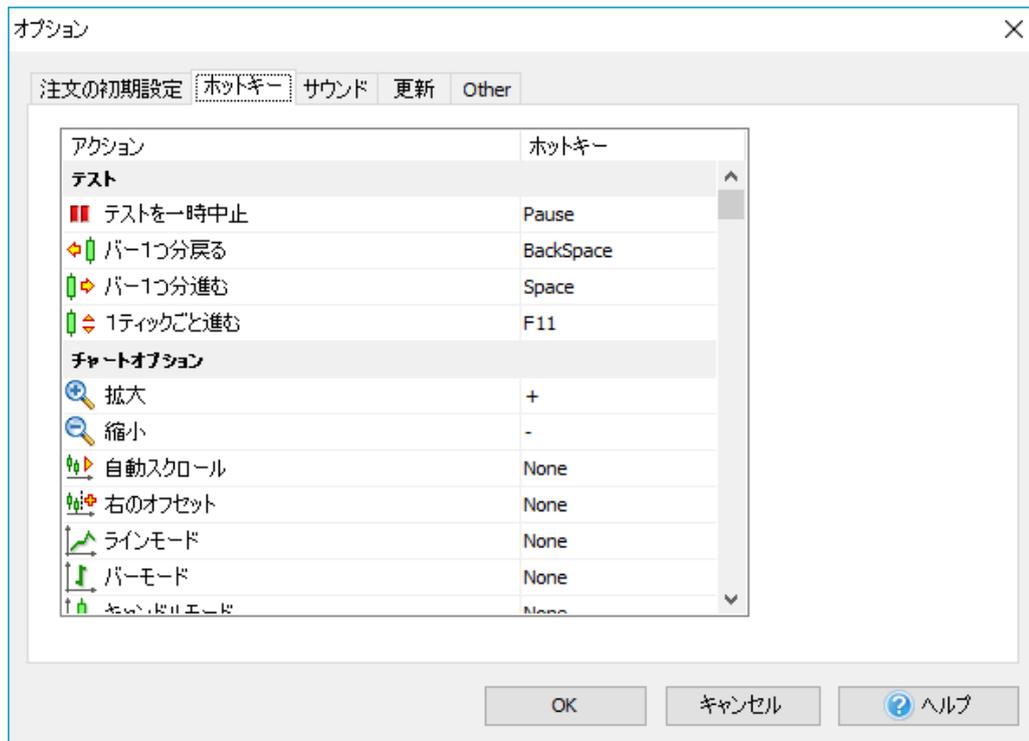
1. ” 追加” ボタンをクリックする
2. ” ロット” オプションの右にあるドロップダウンメニューから “0.2” バリューをセットする
3. ” 40” を手動で入力、もしくは” ストップロス” オプションの近くのドロップダウンメニューを使う
4. ” 60” を手動で入力、もしくは” 利益を受け取る” オプションの近くのドロップダウンメニューを使う
5. 必要であればコメントを追加する
6. ” OK” をクリックする



これで、デフォルトの買い注文を追加できました。上記のバリューでスタンダードオーダーを開く必要がある場合、CTRL+Bショートカットキーを利用してください。

CTRL + Sのショートカットを使用して配置するという同じ手順で、デフォルトの売り注文を設定することができます。

ふたつめのタブは、”ホットキー”と呼ばれるものです。ForexTesterで適用できる全てのアクション、そして対応するホットキーを見つかることができます。すでにあるホットキーのバリューを変更する必要がある場合、または、バリューを無効化する場合、ショートカットの名前をダブルクリックし、ドロップダウンメニューから必要なショートカットを選択します。

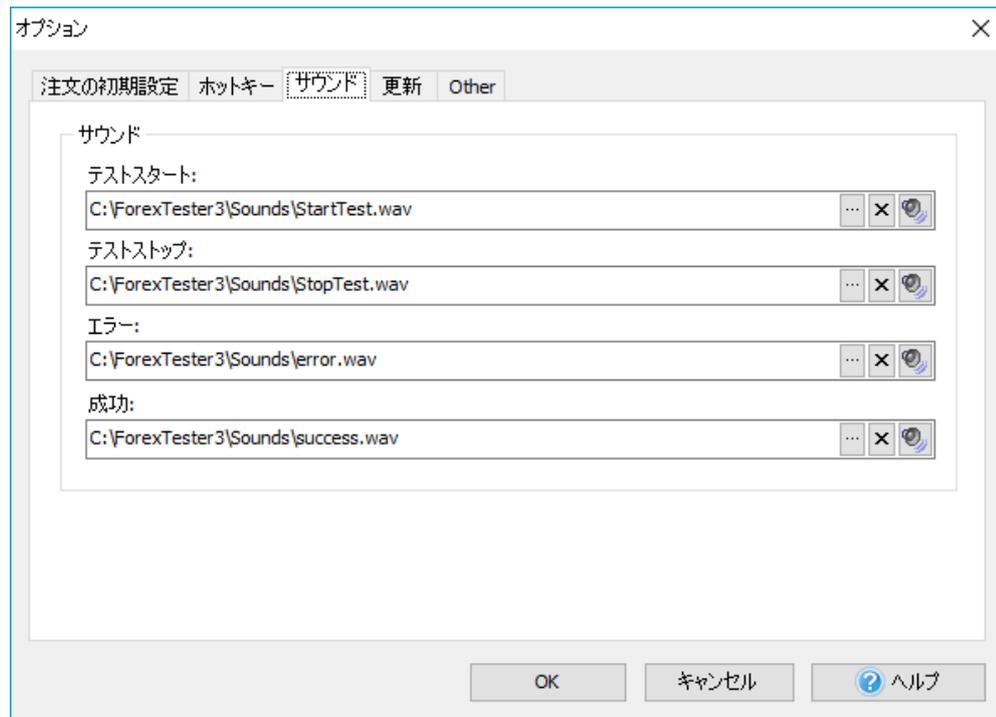


“サウンド” タブで、ForexTesterにある4サウンドを消す、または聞く、を設定することができます。これらのサウンドは、間違いもしくは成功の時やテストを開始したり終えた時に流される.wav filesを表すものです。

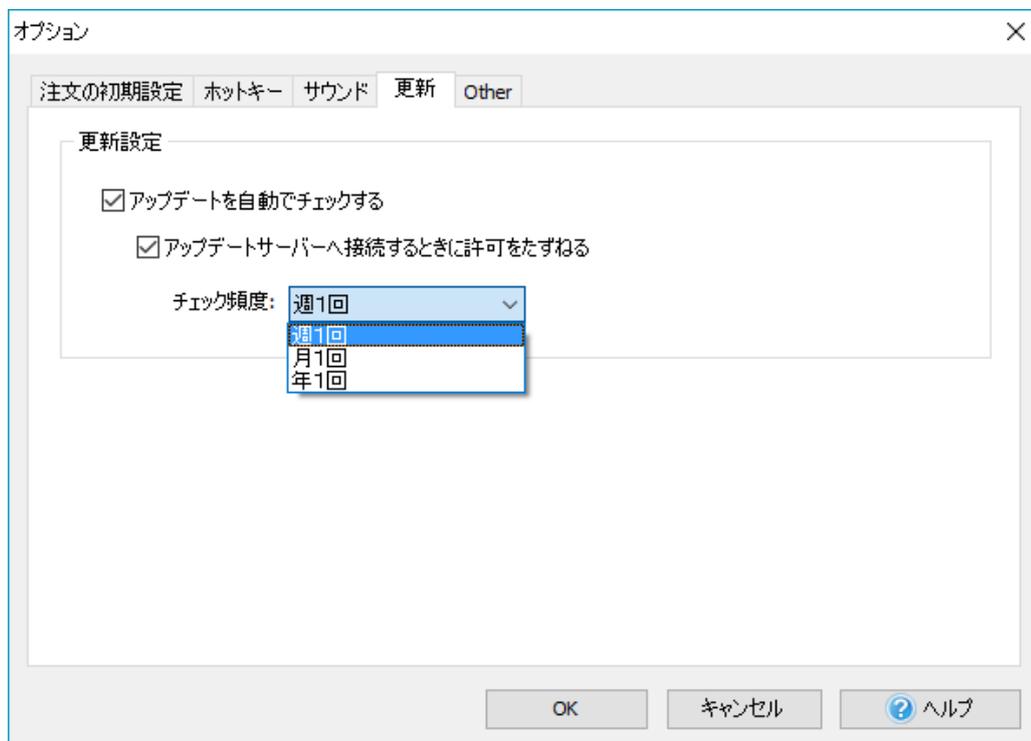
自身のオーディオファイルを設定するには、“オープンファイルダイアログ” ボタンをクリックしてください。

サウンドを消去する場合、“クロス” ボタンを押してください。

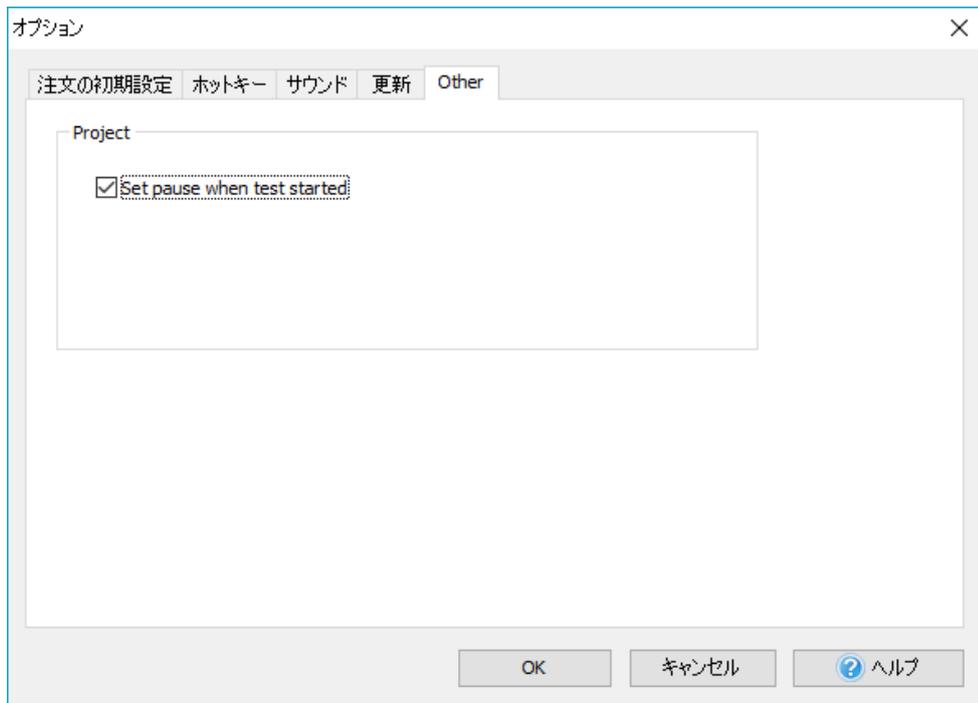
すでにあるサウンドを聞く場合、“スピーカー” アイコンをクリックしてください。



“アップデート”タブではサーバーリクエストからの定期アップデートを設定することができます。この設定を無効化すれば、プログラムが新バージョンまでアップデートしません。



”オーダー”内で”スタートテスト後の一時停止を設定する”をアクティブ化することができます。このオプションが有効化され、“テスト開始”ボタンをクリックすると“一時停止”をクリックするまで新規バーは表示されません。

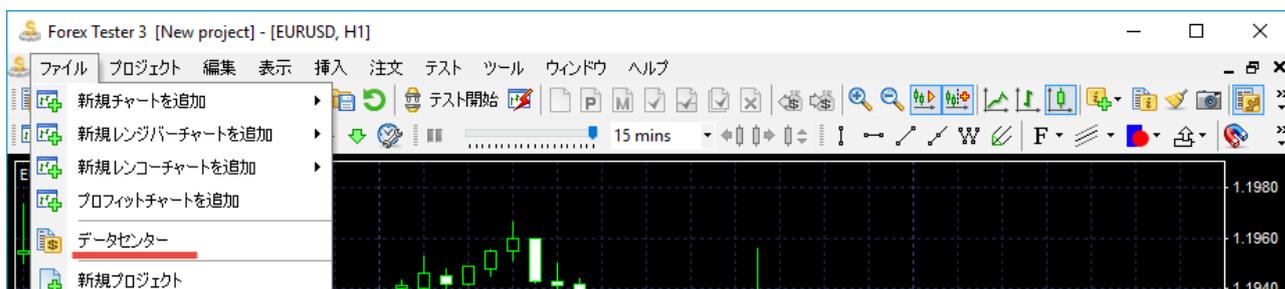


データセンター

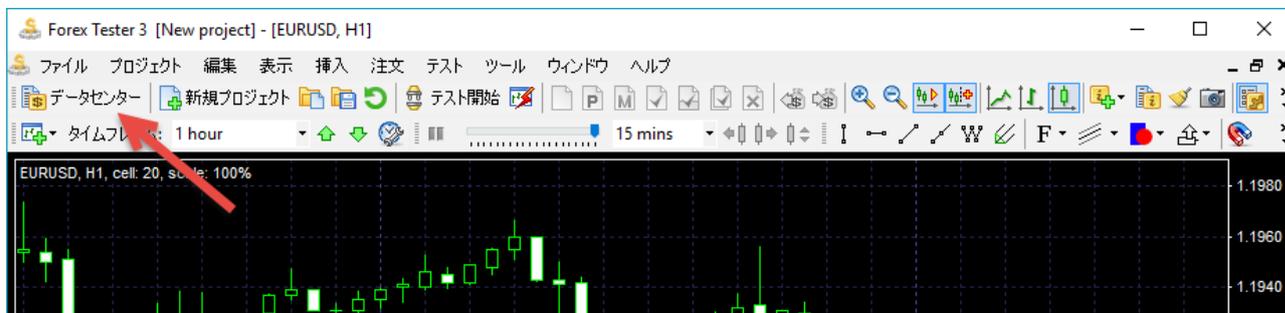
データセンターは、過去データを管理するために機能です。下記が可能です。

- 通貨ペアの追加/削除
- 通貨ペアの設定の確認、および編集
- 1分足データをサーバーからダウンロード
- ファイルから過去データを読み込む
- ティックデータをサーバーからダウンロード
- 通貨ペアをグループ化し設定を同時に変更
- データをCSV形式で出力

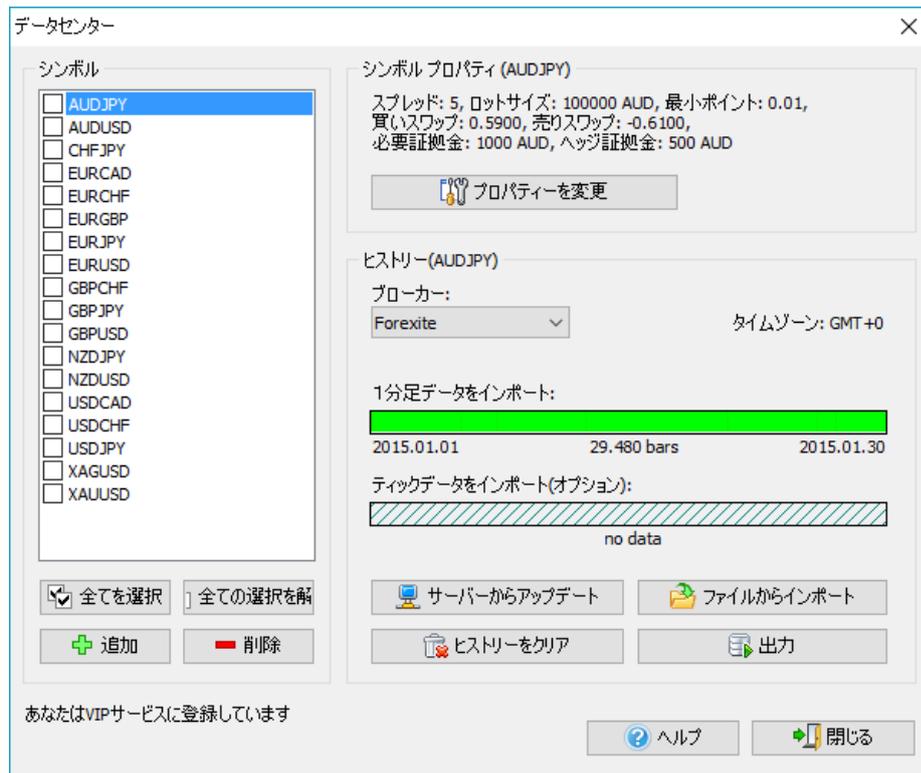
データセンターウィンドウは、ファイル -> データセンターをクリックして開けます。



または、ツールバーのアイコンをクリック。



データセンターウィンドウは下記の項目があります。



上部の指標（スクリーンショット上の緑のもの）は、インポートされた1分データの品質を表しています。無料ミディアム品質データは、ForexTesterのデータセンターもしくはフォーラムページ[より直接ダウンロードできます](#)。

最も性格なデータを手に入れたい場合、お手頃な価格で有料データを購入できます。

<http://forextester.jp/HistoryServiceDescription>

低品質のデータは、正確性に欠けるテスト結果へと導く可能性が高いということに注意してください。これは、リアルマーケットで自身のバックテスト済みトレーディングシステムを使う場合、ライブアカウントのトレーディングの結果にも相応の結果が及ぼされる可能性があるかもしれないということです。

下部の指標（スクリーンショット上の斜線が入った灰色のもの）は、例の中でティックデータが不足していることを示しています。ティックデータは、短期テストやスキューピング戦略にとってとても重要なものです。M1-M30タイムフレームでトレーディングをしているならば、有料過去データを定期購入することは、良い投資になるはずです。

メイン機能を確認してください。

1) 通貨ペアのリスト



このリストで下記のことができます。

- バックテスト用に通貨ペアの選択 選択した通貨ペアの詳細情報と可能な設定は、ウィンドウの右に表示されます。
- 通貨ペアのデータ削除（リストの下にある削除ボタンをクリック）削除ボタンをクリックすると、選択したすべての通貨ペアが削除されます。
- 通貨ペアの追加（リストの下の追加ボタンから）
- グループ設定をした通貨ペアの選択と非選択 例えば、リストにある全ての通貨ペアを選択し、全ての過去データを同時にダウンロードできます。

通貨ペア名の横にあるボックスにチェックを入れ、同時にグループ設定（ダウンロードデータ、レバレッジの変更など）ができます。

2) 通貨ペアプロパティの詳細

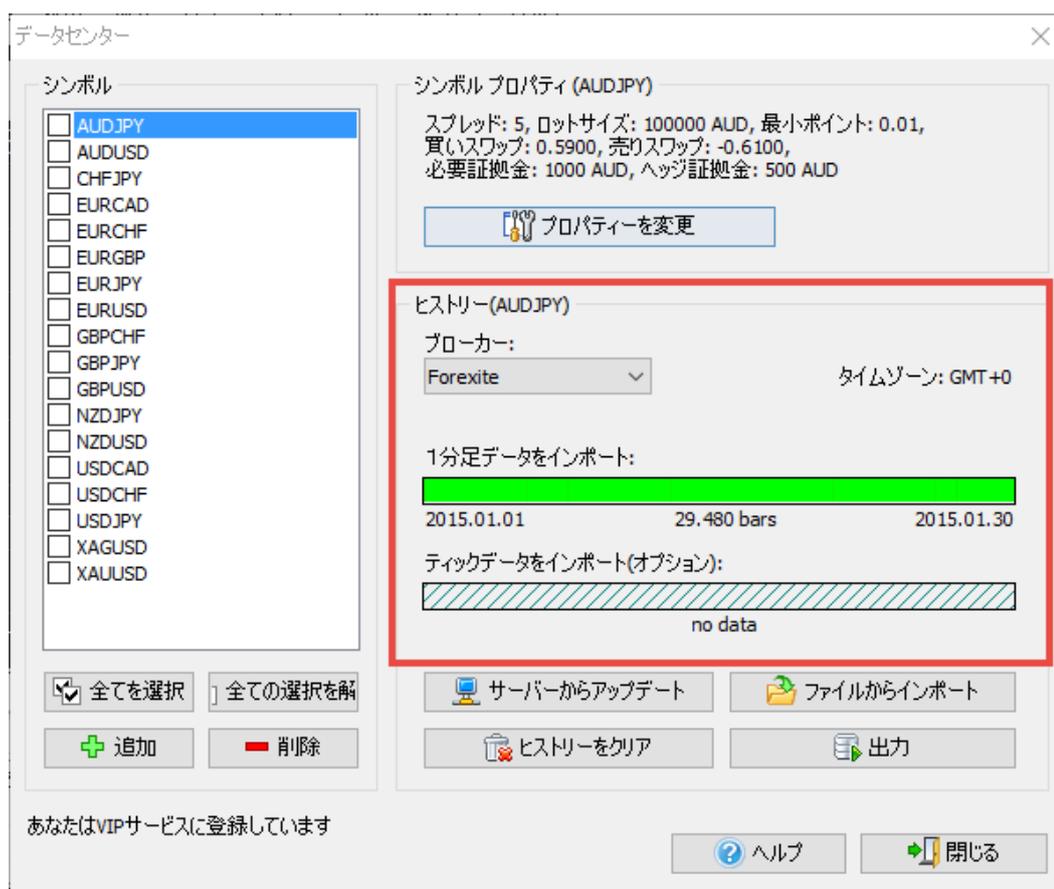


“プロパティを変更”ボタンから通貨ペアのプロパティを変更できます。

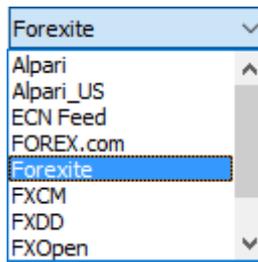
3) ダウンロードしたデータの情報

下記の項目により、ダウンロードしたデータの情報を確認でき、プロパティの変更ができます。

詳細は下記をご覧ください。



1. ブローカーのリスト



過去データを手入手できるブローカー名がリストになっています。

注意：ブローカーのリストは、データサービスの購入状況により変わります。（データサービスについてはこちらを確認ください） [データ利用タイプ](#)。

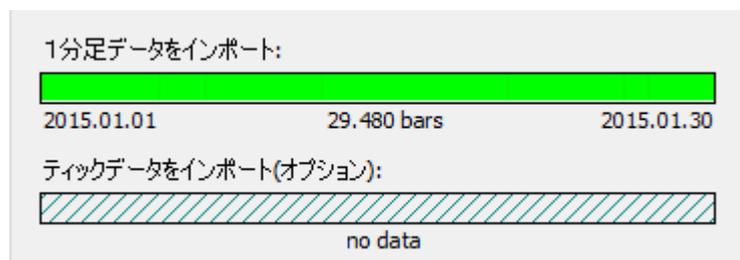
ブローカーを選択後、サーバーボタンのアップデートをクリックすることで、サーバーから正確なデータをダウンロードすることができます。

2. タイムシフト

タイムゾーン: GMT+0

このメッセージは過去データのタイムゾーンを表示しています。 デフォルトの設定では、GMT+0のタイムゾーンになっています。タイムゾーンは、新しいプロジェクトを作成するときに変更が可能です。

3. データクオリティインジケータ:



このウィンドウでは過去データのクオリティを確認できます。

赤い箇所はデータがなく、薄暗い箇所は少しデータが飛んでいる箇所です。

4) データ管理ボタン:



これらのボタンで、下記のアクションを行います。

1. “サーバーからアップデート”ボタンは、当社サーバーから過去データをダウンロードするときに使用します。 [here](#). データのダウンロードについて詳しい情報はこちらへ。
2. “ファイルからインポート”ボタンは、他のソースから入手した過去データファイルを取込むときに使用します。 ファイルは、.txt, .cs, .hstに対応しています。 データのダウンロードについて詳しい情報はこちらへ。 [here](#).
3. “出力”ボタンは、Forex Testerに入っている過去データを、テキストファイルとして出力するときに使用します。例えば、エクセルを使って、分析やストレテジーの開発を行うときに使用します。 Forex Testerはどのタイムフレームでも出力ができます。

この機能について詳しい情報はこちらへ。

4. “履歴をクリア”ボタンは、選択した通貨ペアの過去データを削除するときに使用します。 このボタンをクリックすると、1分足、ティックデータが削除されます。

5) インフォメーションライン

あなたはVIPサービスに登録しています

これは、データウィンドウの左下に出ている情報です。 この情報はデータサーバーへの接続状況を表示しています。 サーバーに接続中であれば、“データサーバーへ接続中”とでます。このメッセージがでている間は、何もしないことをお勧めします。 また、データサービスの購入状況について表示がされます。 データサービスおよび購入についてはこちらをご覧ください。

<http://forextester.jp/HistoryServiceDescription>.

データのダウンロード/インポート

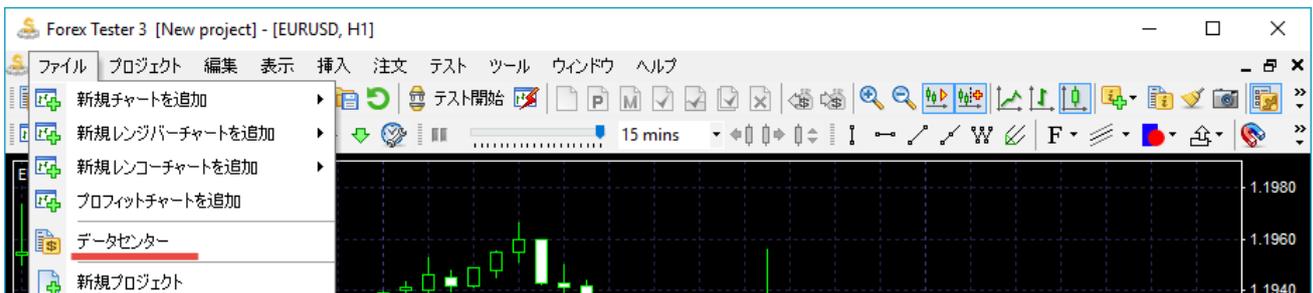
Forex Testerは当社サーバーから過去データをダウンロードできます。また、テキストファイルから直接過去データを取込むこともできます。当社は2001年1月1日から現在までの過去データを無料で提供しています。過去データはForex Testerのデータセンターウィンドウからダウンロードできます。また、当社サイトからもダウンロードできます。[\(Data Center\)](#) さらに、MetaTraderから取得した過去データを取込むこともできます。

Forex Testerは過去データを自動で他のタイムフレーム用にコンバートします。そのため、1分足の過去データを取込むことをお勧めします。そうすれば、Forex Testerはどのタイムフレームのチャートでも作ります。

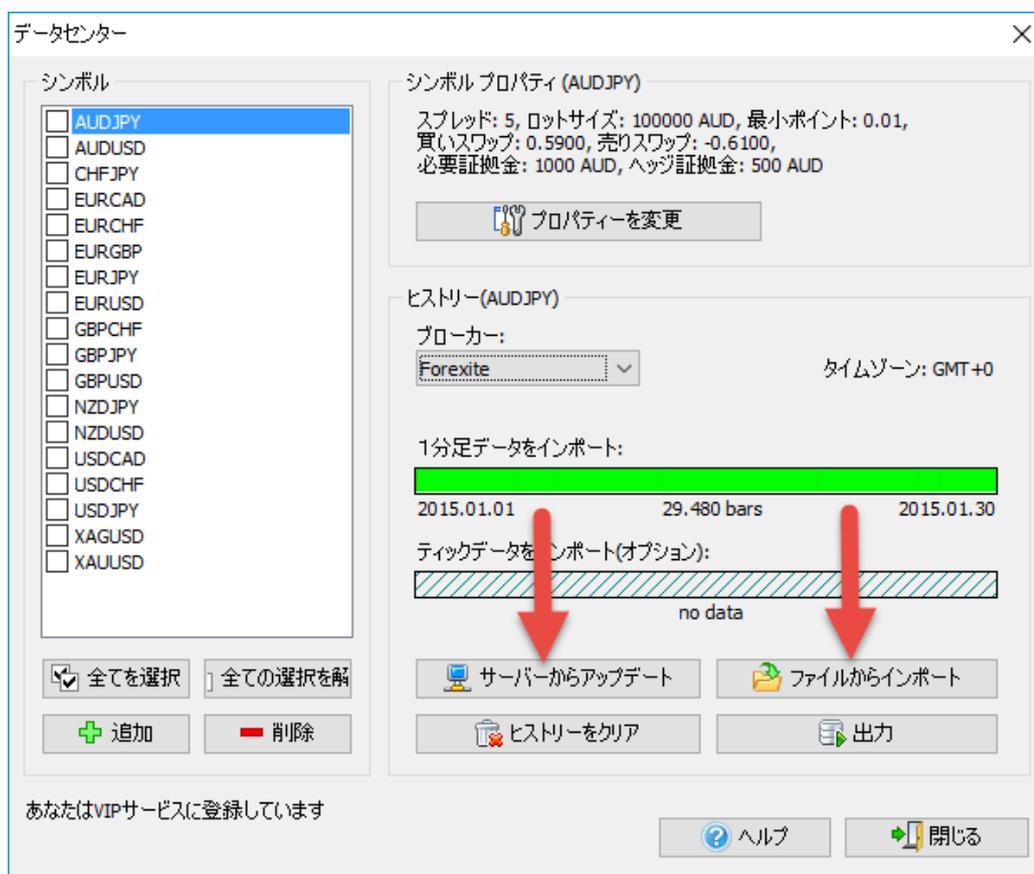
過去データはデータセンターウィンドウからしか取込めません。データセンターにアクセスするには、ツールバーにある“データセンター”ボタンをクリックしてください。<http://forextester.jp/datacenter>



または、ファイル → データセンターメニューをクリックしてください。



“サーバーからアップデート”ボタンをクリックして当社サーバーから過去データをダウンロードします。また“ファイルからインポート”ボタンを使って、テキストファイルからデータを取込むこともできます。



サーバーから過去データをアップデート

データサーバーから過去データをダウンロードするには、通貨ペアをリストから選択し、ブローカーを選び、“サーバーからアップデート”ボタンをクリックします。過去データは1回ダウンロードしてください。ダウンロードされたデータは、PCに保存されます。データサービスの登録状況により、リストにでてくるブローカーは変わりますので、ご注意ください。無料のベーシックデータサービスの場合は、16通貨ペア、金、銀のデータがForexiteのみから過去データがダウンロードできます。

過去レートを使いたい場合：

- より良い品質の
- 10の最も有名なブローカーから
- ポイントの後の5桁（日本円を含む通貨ペア向けのポイント後3桁）
”スタンダード”データサービスをお申込みください。 [“Standard” data service](#). M1からM30のタイムフレームでトレードを行う場合、“VIP”データパッケージがあなたのニーズに合っているかと思えます。 [“VIP” data package](#)

VIPデータサービスでは下記が行えます。

- ティックデータの利用
 - スプレッドを使う
 - 最も正確で品質の高い結果を受け取る
- 各データサービスタイプについての詳細はこちらをご覧ください
 。 <http://forextester.jp/HistoryServiceDescription>

“サーバーからアップデート”ボタンをクリックした後、ウィンドウダイアログがでてきます。

このダイアログを使って、入っていない過去データを追加できます。(Forex Testerは自動で現在の通貨ペアに入っていないデータを判別します。) または、特定の期間だけ過去データをダウンロードすることもできます。

“情報”ボックスには、ブローカー、通貨ペア、データ期間、データタイプが表示されます。データサーバーは2タイプ(1分足とティックデータ)の過去データを提供しています。ティックデータはリアルなティックを含み、バックテストのクオリティが高くなります。ティックデータは、VIPサービス購入者のみダウンロード可能です。
 。 [VIP service subscribers.](http://forextester.jp/vip-service-subscribers)

“データレンジ”ボックスは、ダウンロードしたい過去データの期間を設定できます。“最新の過去データをダウンロード”オプションを選択すると、例えば、2015年1月1日までダウンロードしていた場合、2015年1月1日から最新のデータまでをダウンロードし、元々あったデータと統合します。常時過去データを更新したいときに便利な方法で、いつも過去データを最新の状態でできます。もし、過去データが何もない（もしくは、過去データを削除した）場合は、選択した通貨ペアの全過去データをダウンロードします。

“一部の過去データをダウンロード”オプションを選択した場合は、選択した期間の過去データを取得します。すでに過去データが入っているときは、適切な形でデータを統合します。

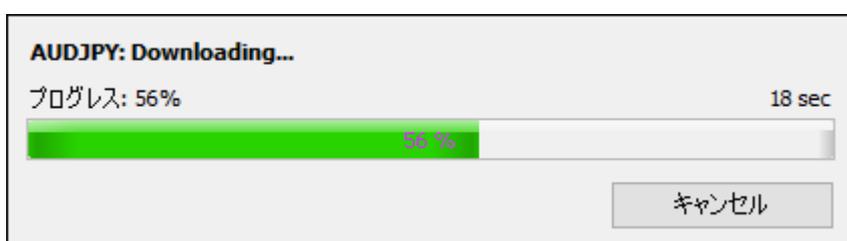
“ダウンロードするデータを選択”ボックスの中では、ダウンロードする過去データのタイプを選べます。

- 1分足、ティックデータをダウンロード（推奨）
- 1分足データだけをダウンロードしたい場合は、このオプションを用いてください。ティックデータが提供されていないとき（データサービスの購入状況による）や過去データを調査したいときに役立ちます。
- ティックデータのみダウンロード場合、非常に正確なチャートを復元でき、バックテストの精度も上がります。

注意: ティックデータはVIPデータサービス購入者にのみ提供しています。データサービスについては詳細情報をご覧ください。

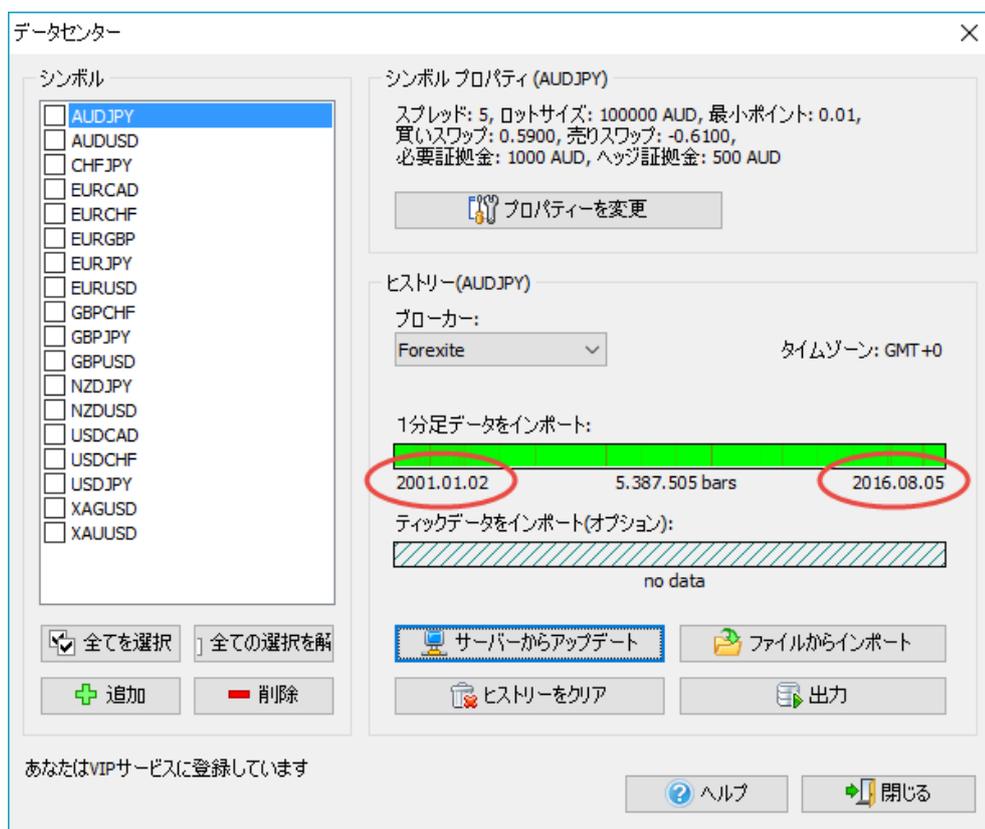
<http://www.forextester.jp/HistoryServiceDescription>.

“アップデート”ボタンをクリックし、ダウンロードを開始してください。



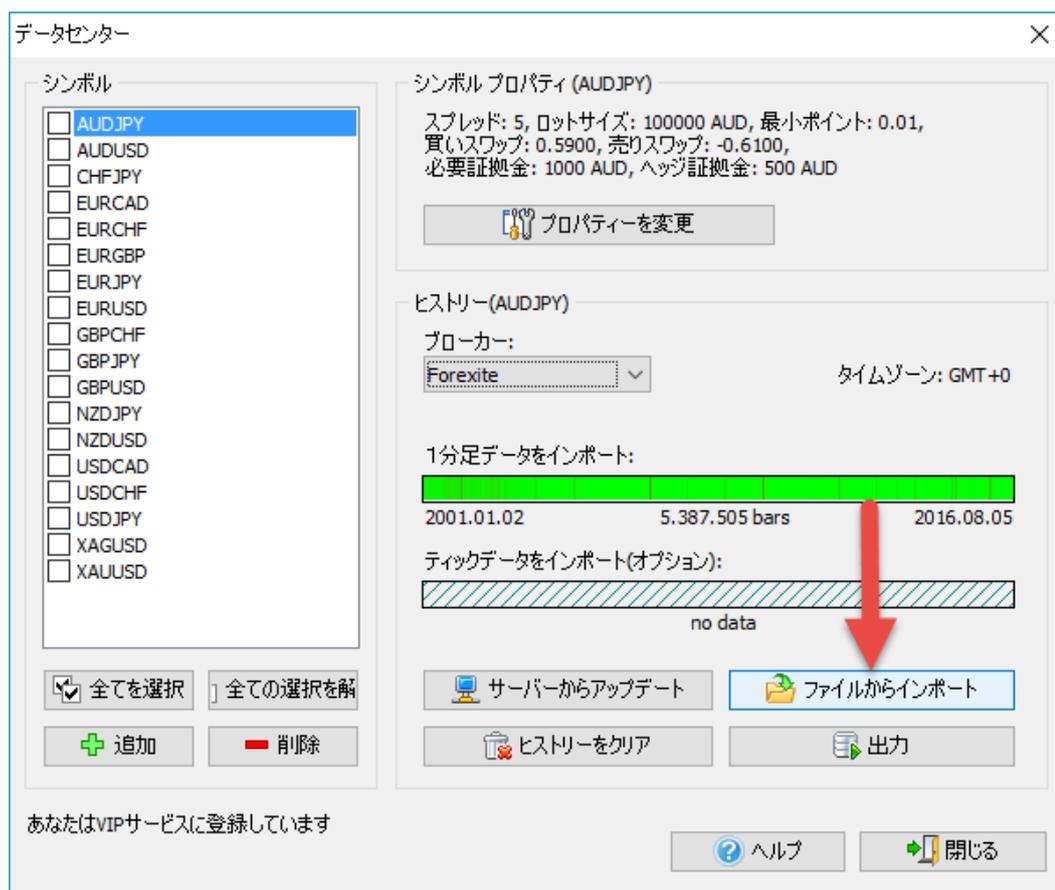
注意: 選択した通貨ペアや期間が長い場合、データダウンロードの準備に時間がかかることがあります。

データの開始日と終了日は、緑のバーの下に表示されています。



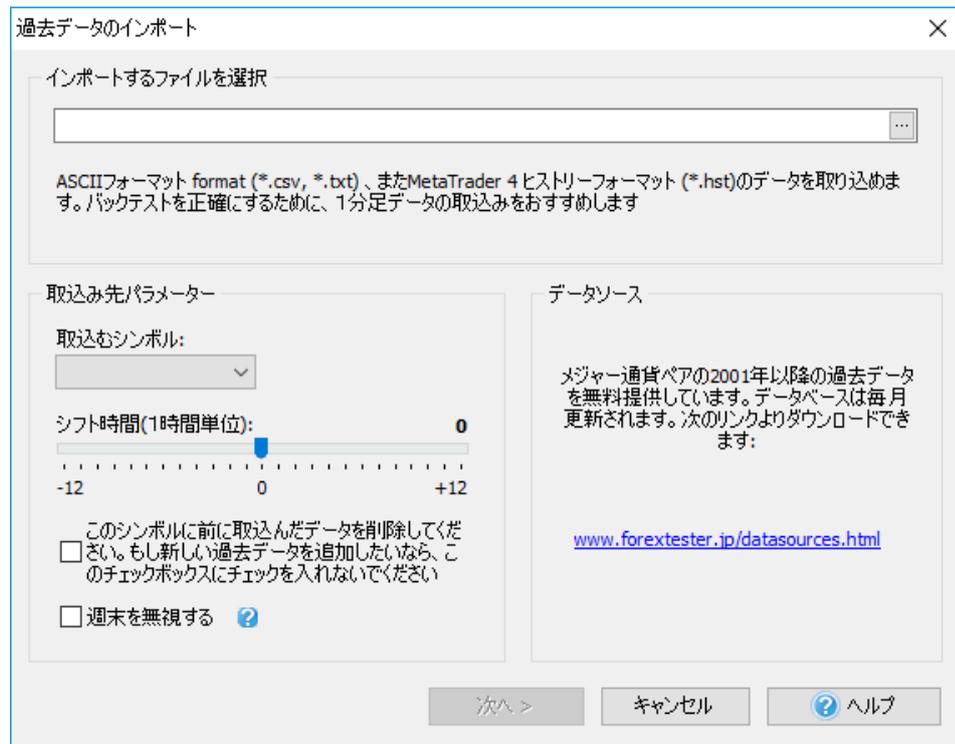
ファイルからインポート

ファイルからデータを取込みたいときは、データセンターの“ファイルからインポート”ボタンをクリックしてください。



“過去データのインポート”ダイアログから、ファイルに入っている過去データを取込むことができます。Forex Testerはテキスト形式のファイルを読み込みます。例：Metastockテキストフォーマット、CSV、MetaTrader4ヒストリーフォーマット .hst データソースには、1分足、もしくはそれより大きいタイムフレーム（5M, 1H, 1Dなど）のロウソク足データを入れてください。1分足よりも短いタイムフレームのデータはエラーになり、テストのクオリティーが下がります。

“過去データのインポート”ダイアログを開くと、下記の項目が表示されています。



最初に、“...” ボタンをクリックし、ファイルを選択してください。

当社サイトでもデータファイルを提供しています

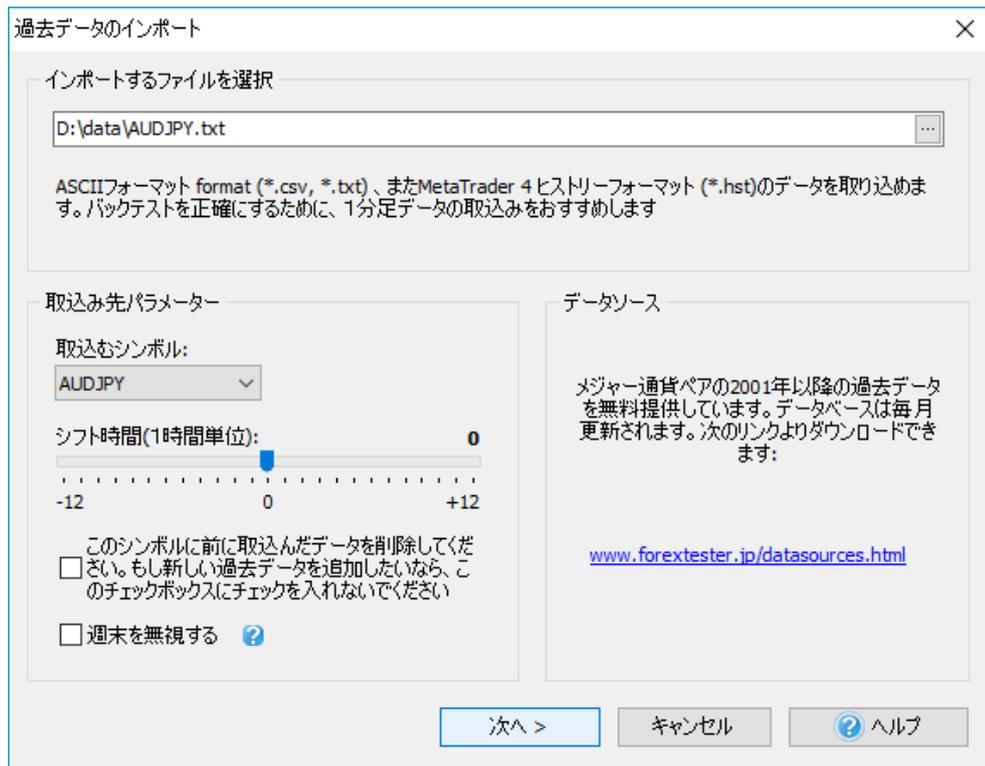
。 <http://www.forextester.jp/data/datasources>

ファイル選択後、Forex Testerは通貨ペアを自動で判別します。通貨ペア名が違う場合は、ドロップダウンメニューから選択してください。

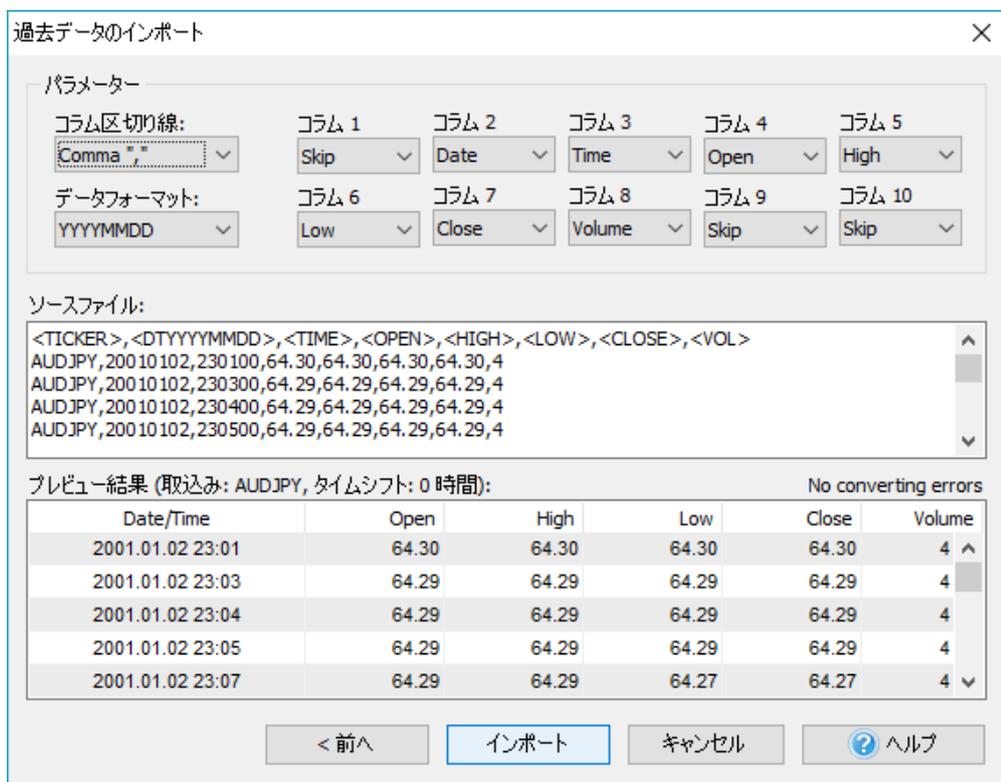
通貨ペア名のデータがファイルに入っていない場合は、自動判別機能が作動しません。ドロップダウンメニューから手動で選択してください。

また、シフト時間（1時間単位）の機能を使って、取込む過去データのタイムゾーンを変更することもできます。たとえば、タイムゾーンが違う複数のデータソースを使ったときに、データの時間を揃えるために使います。

オプションとして、“このシンボルに前に取込んだデータを削除してください。もし新しい過去データを追加したいなら、このチェックボックスにチェックを入れないでください”があります。ここにチェックを入れると、以前に保存した過去データを削除してから、新しい過去データを取込みます。



すべての設定が終わったら、“次へ”ボタンをクリックしてください。



テキストフォーマットを選択していれば、上記のダイアログです。Forex Testerはすべての項目を自動で判別しますが、手動で変更もできます。

- **コラム区切り線**: テキストファイルの中で、コラムを区切っている記号を設定します。通常はコンマかセミコロンです。
- **データフォーマット** - データ形式 YYYY (YY) - 年, MM - 月, DD - 日
- **Column1 ... Column10** - データコラム 下記の値を含みます。

Skip	Skip this column
Symbol	Currency name
Date	Date
Time	Time
Open	Open value
High	High value
Low	Low value
Close	Close value
Volume	Volume

- **ソースファイル** - ソースファイルの一部を表示
- **プレビュー結果** - 取込むデータの結果を表示

注意:

カラムの設定が間違っていたり情報が入っていないと、エラーが表示されます。

過去データのインポート

パラメーター

コラム区切り線: Comma ","

データフォーマット: YYYYMMDD

コラム 1: Skip, コラム 2: Time, コラム 3: Date, コラム 4: Close, コラム 5: High, コラム 6: Low, コラム 7: Close, コラム 8: Volume, コラム 9: Skip, コラム 10: Skip

ソースファイル:

```
<TICKER>,<DTYYYYMMDD>,<TIME>,<OPEN>,<HIGH>,<LOW>,<CLOSE>,<VOL>
AUDJPY,20010102,230100,64.30,64.30,64.30,64.30,4
AUDJPY,20010102,230300,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230400,64.29,64.29,64.29,64.29,4
AUDJPY,20010102,230500,64.29,64.29,64.29,64.29,4
```

プレビュー結果 (取込み: AUDJPY, タイムシフト: 0 時間): 198 converting errors found

Date/Time	Open	High	Low	Close	Volume
???.???.???.???	??.????	64.30	64.30	64.30	4
???.???.???.???	??.????	64.29	64.29	64.29	4
???.???.???.???	??.????	64.29	64.29	64.29	4
???.???.???.???	??.????	64.29	64.29	64.29	4
???.???.???.???	??.????	64.29	64.27	64.27	4

< 前へ インポート キャンセル ヘルプ

.hstフォーマットを取込むときには、下記のダイアログが出てきます。

過去データのインポート

プレビュー結果 (取込み: EURUSD, タイムシフト: 0 時間):

Date/Time	Open	High	Low	Close	Volume
2013.06.06 16:26	1.3303	1.3303	1.3290	1.3300	4
2013.06.06 16:27	1.3301	1.3302	1.3283	1.3285	4
2013.06.06 16:28	1.3286	1.3289	1.3276	1.3276	4
2013.06.06 16:29	1.3274	1.3280	1.3266	1.3272	4
2013.06.06 16:30	1.3273	1.3274	1.3263	1.3263	4
2013.06.06 16:31	1.3264	1.3274	1.3264	1.3273	4
2013.06.06 16:32	1.3275	1.3277	1.3269	1.3270	4
2013.06.06 16:33	1.3271	1.3276	1.3267	1.3267	4
2013.06.06 16:34	1.3270	1.3276	1.3266	1.3276	4
2013.06.06 16:35	1.3275	1.3278	1.3272	1.3277	4
2013.06.06 16:36	1.3278	1.3278	1.3267	1.3267	4
2013.06.06 16:37	1.3268	1.3272	1.3265	1.3269	4
2013.06.06 16:38	1.3268	1.3270	1.3267	1.3268	4
2013.06.06 16:39	1.3267	1.3275	1.3266	1.3272	4
2013.06.06 16:40	1.3273	1.3277	1.3270	1.3275	4
2013.06.06 16:41	1.3274	1.3277	1.3272	1.3274	4
2013.06.06 16:42	1.3272	1.3272	1.3266	1.3267	4

< 前へ インポート キャンセル ? ヘルプ

過去データを取込むなら、インポートボタンをクリックしてください。
過去データの取込みが終わったときに、下記メッセージが表示されます。



新規プロジェクトの作成

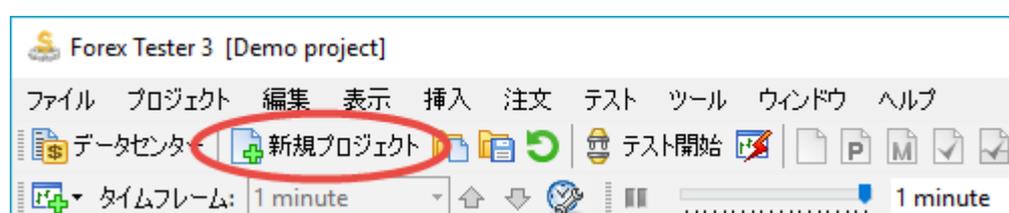
テストを始める前に、過去データの準備をお願いします。“新規プロジェクト”ボタンをクリックし、バックテストをしたい通貨ペアやテスト期間の選択、証拠金の設定、などができます。

たとえば、10の通貨ペアのデータをダウンロードし、2つの通貨ペアのみテストをしたいとします。

新規プロジェクトを作成するときに、この2つの通貨ペアを選択し2012年から2016年までの期間でテストを開始する、ということが出来ます。

ティックデータを使ってテストが行えます。（ティックデータはVIPデータサービス購入者へのみ配信しています） [data service](#)).

新規プロジェクトを始めるには“新規プロジェクト”ボタンをクリックするか、メニュー → 新規プロジェクトをクリックします。



“新規プロジェクトを作成”ウィンドウがでます。ここで、プロジェクトの名前を入力し、証拠金（USD）を設定します。

新規プロジェクトを作成

プロジェクト名の定義

プロジェクト名:

プロジェクトは '<FT3>\Projects\<Project name>\' フォルダへ保存されます

初期証拠金

入金(USD):

次へ > キャンセル ? ヘルプ

設定後、“次へ”ボタンをクリックします。次の画面で下記の設定を行います。

新規プロジェクトを作成

シンボル選択

- AUDJPY
- AUDUSD
- CHFJPY
- EURCAD
- EURCHF
- EURGBP
- EURJPY
- EURUSD
- GBPCHF
- GBPJPY
- GBPUSD
- NZDJPY
- NZDUSD
- USDCAD
- USDCHF
- USDJPY

< >

全てを選択 全ての選択を解

テスト期間

開始時間:

終了時間:

テストクオリティ

OHLCポイントでティックを変換

ボリュームを使ってランダムにティックを変換

取込まれたティックデータを使用(1分足を作るティックデータが取込まれている場合、ティックが使用されます。ティックがなければ、上記の選択した方法でティックが生成されます)

変動スプレッドを使用

< 前へ 次へ > キャンセル ? ヘルプ

シンボル選択のリストから、テストをしたい通貨ペアを選択。（「全てを選択」ボタンですべての通貨ペアが選択されます。） 1つ以上の通貨ペアを同時にテストできません。

テスト開始期間の“開始時間”と“終了時間”には、テストをしたい期間の日付を入れてください。

“テストクオリティ”は、テストに使用するデータのクオリティを設定します。

2つの方法があります。

“OHLCポイントでティックを変換” - このオプションを選択すると、各ロウソク足は1から4つのティックを含みます。始値/高値/安値:/終値

“ボリュームを使ってランダムにティックを変換” - 1分足の中に入っているティック数は、そのロウソク足のボリュームと同じになります。ティックは1分足の中にランダムに設置されます。最初のオプションを使うことを推奨します。なぜなら、その方法が早く、また、良いテストクオリティを提供するからです。

当社サーバーからティックの過去データをダウンロードした場合は、“取込まれたティックデータを使用”オプションを選択してください。（ティックデータはVIPデータサービス購入者へ提供しています。詳細はこちら） このオプションはベストなテスト環境を作ります。

新規プロジェクトを作成

シンボル選択

- AUDJPY
- AUDUSD
- CHFJPY
- EURCAD
- EURCHF
- EURGBP
- EURJPY
- EURUSD
- GBPCHF
- GBPJPY
- GBPUSD
- NZDJPY
- NZDUSD
- USDCAD
- USDCHF
- USDJPY

テスト期間

開始時間: 2001.01.02

終了時間: 2016.08.05

テストクオリティ

OHLCポイントでティックを変換

ボリュームを使ってランダムにティックを変換

取込まれたティックデータを使用(1分足を作るティックデータが取込まれている場合、ティックが使用されます。ティックがなければ、上記の選択した方法でティックが生成されます)

変動スプレッドを使用

全てを選択

全ての選択を解

< 前へ

次へ >

キャンセル

ヘルプ

設定をしたら、“次へ”ボタンをクリックしてください。

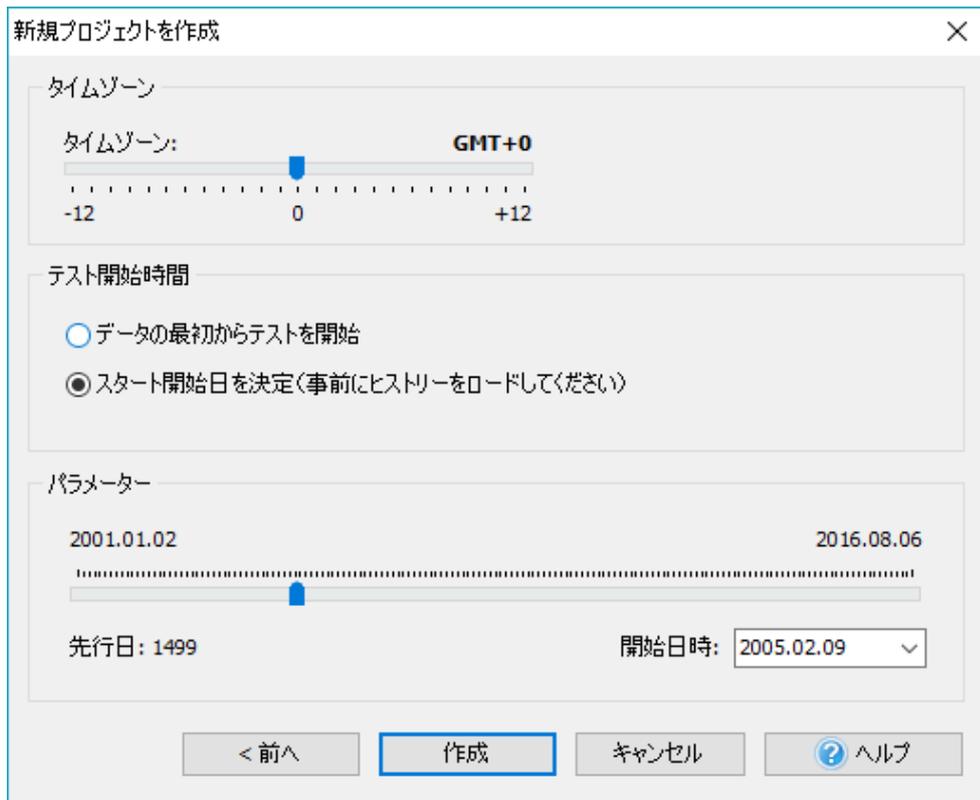
タイムゾーンは選択した全ての通貨ペアに対して、適用されます。タイムゾーンは選択した全ての通貨ペアに対して、適用されます。過去データのデフォルトの設定は、GMT+0です。

“データの最初からテストを開始”を選んだ場合は、前のウィンドウで“開始時間”に入れた日付からテストを開始します。

“テスト開始日を決める”オプションを使ってテスト開始日を変更できます。

この場合、好きな日付からテストを開始できます。（“開始日時”へ日付を入れるか、目盛りで選択します）開始日を決めるだけで、全てのデータはチャートに表示されます。

移動平均線などの、昔のデータを使うインジケータやラインを使う場合や、昔のデータを使った分析をする場合に役立つ機能です。



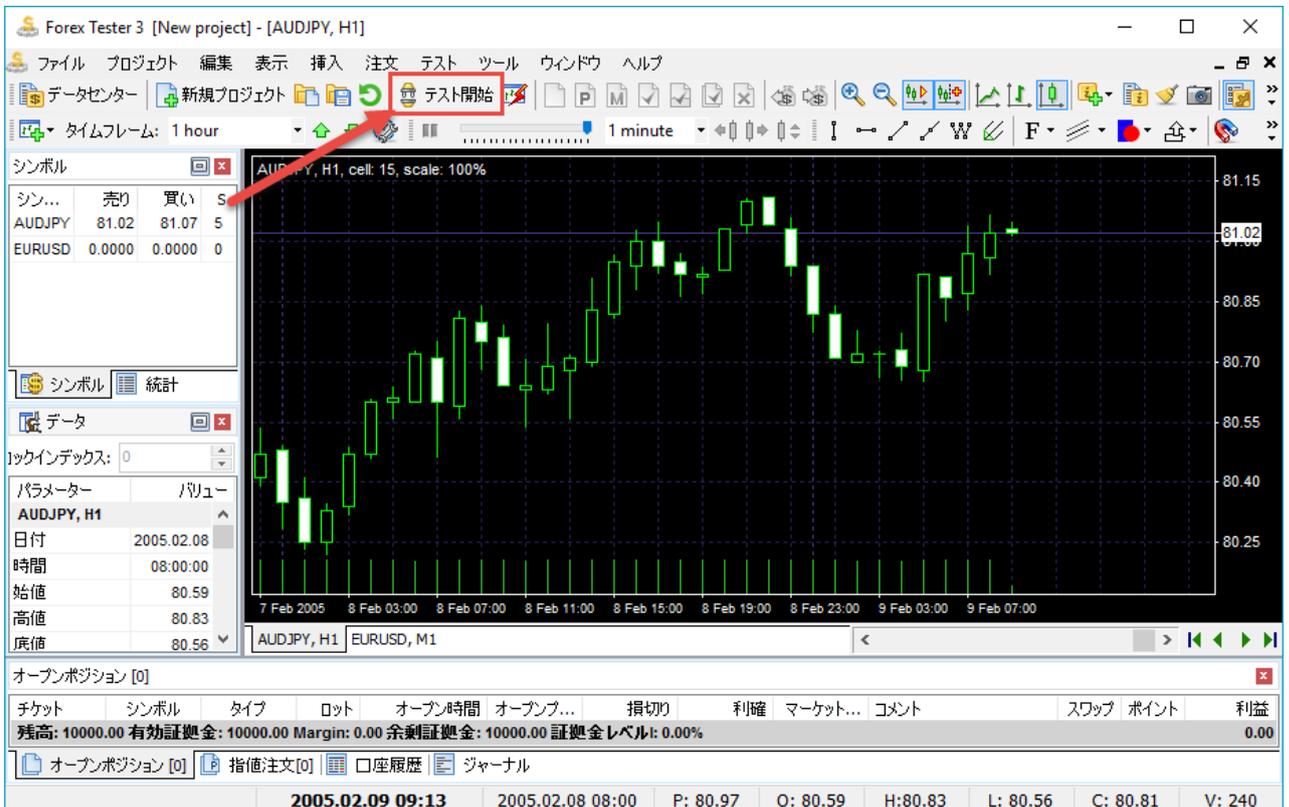
設定が終わったら“作成”ボタンをクリックし、データの準備をします。

チャートが出たら、“テスト開始”ボタンをクリックして、テストを始めます。

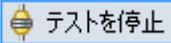


テストの開始

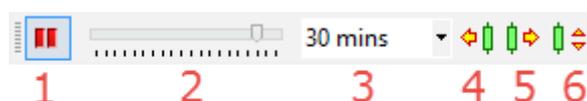
過去データを取込み、新規プロジェクトを作って準備をしたら、ストラテジーのテストを開始できます。テストを開始するには、“テスト開始”ボタン



をクリックしてください。すぐにテストが始まり、チャートが動き出します。

テストが開始したら、“テスト開始”ボタンは“テストを停止”ボタンに変わります。
。 

注文を入れることができますので、ストラテジーのテストを開始してください。（次のチュートリアルで注文の入れ方について解説しています。）チャートが動くスピードを変更できますし、一時停止し、“バー1つ分進む”ボタンでロウソク足を進めることもできます。



1. 一時停止ボタン - チャートを一時停止します。チャートの分析などをするときに使います。一時停止したら、下記の4, 5, 6が使えるようになります。キーボードのキーへ“一時停止”機能を割り振ることもできます。

2. プライスの動くスピード 一時停止ボタンの横にあるバーを変更することで、チャートが動くスピードを変えられます。
 3. ティックパッケージサイズ。ここで、チャートへプライスを更新する頻度を決めます。もしEverytickを選ぶと、ティックごとにチャートは動きます。15分を選ぶと、15分ごとにチャートが動きます。チャートが動くスピードに影響がでます。
 4. バー1つ分戻るボタン。このボタンは、一時停止しているときにのみ、使用できません。現在のタイムフレームで見ているロウソク足1本分、チャートをバックします。1時間のチャートを見ていれば、1時間足1本分戻ります。もし、トレードが決済されているなら、バックしたときにポジションが戻ります。また、キーボードのバックスペースボタンも同じ動作をします。
 5. バー1つ分進むボタン。このボタンも一時停止しているときにのみ、使用できます。現在のタイムフレームでバー1つ分進めます。現在使っているタイムフレームが1時間足なら、1時間のロウソク足1本進みます。開いているチャート全てに適用されます。キーボードのスペースボタンも同じ動作をします。
 6. 1ティックごとに進むボタン。このボタンも一時停止しているときにのみ、使用できます。(3)で指定したティックパッケージサイズ分でチャートを1つ進めます。キーボードのF11キーも同じ動作をします。
- ノート：ホットキーの変更は、ツール --> オプションメニュー、ホットキータブから行ってください。

ヴィジュアル的にチャートをみて、注文を入れられます。Forex TesterはC++やBorland Delphiで書かれた自動売買ストラテジーのテストも行えます。APIとストレテジーやインジケーターの書き方のサンプルは、¥Examples¥フォルダーを参照ください。APIヘルプは、ヘルプ --> インジケーター API/ストラテジー APIを参照ください。自動売買ストラテジーは、ファストテストオプションか、ストレテジーオプティマイザーツールを使ってください。

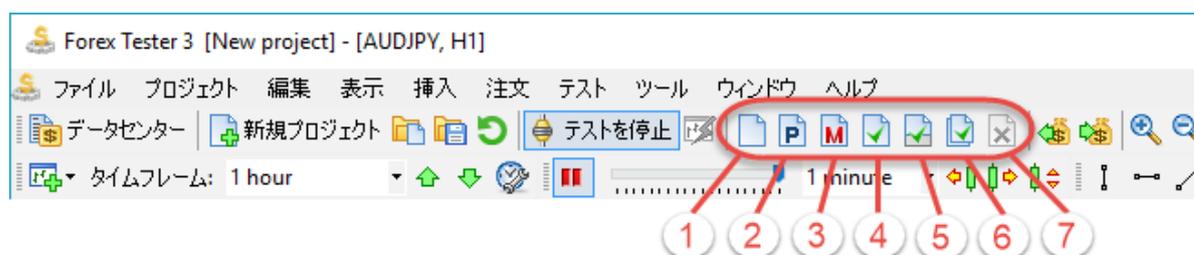
当社フォーラムもチェックしてください。

[プログラミングレッスン](#)

[Forex Tester API](#)

注文の入れ方

テスト開始後、注文を入れられるようになります。2つの注文タイプがあります。成行注文（現在のマーケットプライスですぐに売買する）と指値/逆指値注文（プライスを指定し、そのプライ스에チャートがタッチしたら執行される注文） 注文を入れたり、修正、削除はこのツールバーで行います。



1. 新規成行注文を入れる - 成行注文ダイアログを開きます。（キーボードのF2ボタンでも開きます。）
2. 指値/逆指値注文を入れる - 指値/逆指値注文ダイアログを開きます。（またはF3キー）
3. 注文の修正（F4キー） - “オープンポジション”タブ、もしくは、“指値注文”タブから、注文を選択してください。注文が入っているポジションの利確と損切を設定できます。指値/逆指値注文の場合、エントリープライス、利確、損切を設定できます。また、注文を決済するときにも、このウィンドウから行えます。
4. 選択したポジションの決済 - ポジションを決済します。（F5キー）最初に、“オープンポジション”タブから注文を選択してください。
5. ポジションの一部を決済 - ポジションの一部のロット数だけ決済します。（Ctrl+F5キー）。最初に、“オープンポジション”タブから注文を選択してください。
6. 全てのポジションと注文を決済(Ctrl+C) - “オープンポジション”タブ、もしくは、“指値注文”タブにある、エントリーしている全てのポジションを決済し、指値/逆指値注文を削除します。
7. 指値/逆指値注文を削除 - 指値/逆指値注文を削除します。最初に、“指値注文”タブから注文を選択してください。

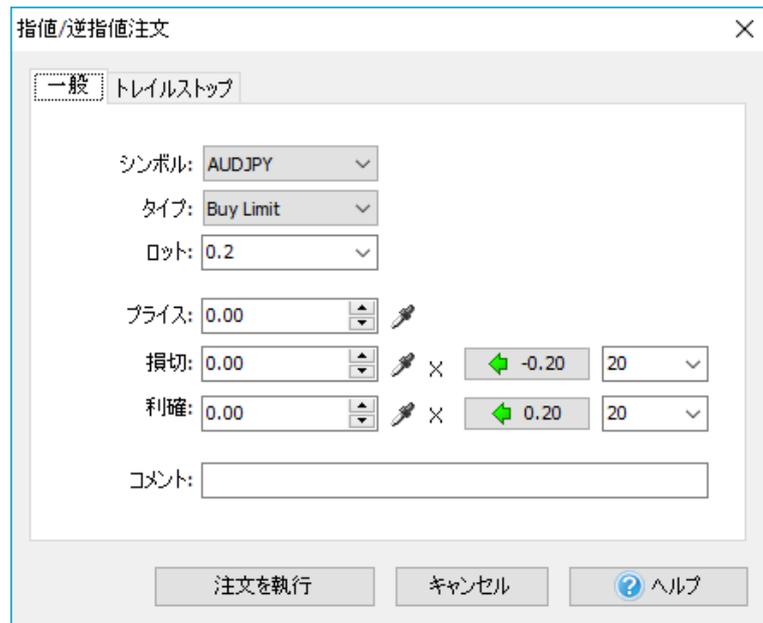
下記のボタンは、メニューバーの注文にもあります。



成行き注文ダイアログ。このダイアログから新規に成行き注文を入れられます。スポイトボタンを使って、チャートから直接価格を設定します。また、損切、利確の価格を直接入力したり、右側のピップス数値を使って損切、利確を自動計算して入れることもできます。“sell”、“buy”ボタンは、自動計算するときの計算モードの選択になります。売りか、買いか。トレイルストップのタブでは、この注文でトレイルストップを入れるときのパラメーターを設定できます。



新規指値/逆指値注文ダイアログ。このダイアログでは新しい指値/逆指値注文を入れることができます。スポイトボタンを使ってチャートから価格を選択します。また、損切、利確の価格を直接入力したり、右側のピップス数値を使って損切、利確を自動計算して入れることもできます。（この設定により、注文内容が変わる場合があります。）トレイルストップのタブでは、この注文でトレイルストップを入れるときのパラメーターを設定できます。



チャート上で右クリックをして、ポップアップメニューから注文を入れることもできます。



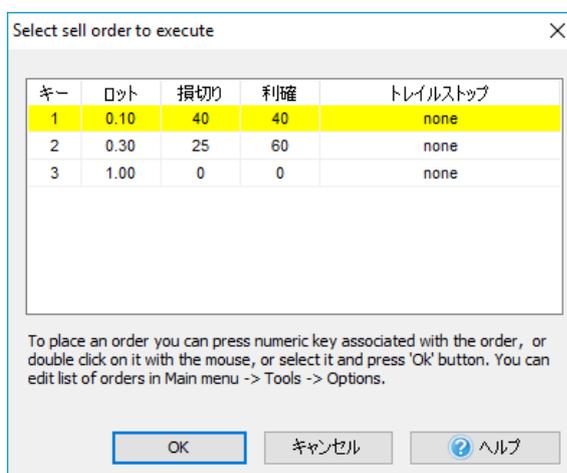
チャート上で右クリックをしたプライス位置から、注文を入れられます。81.11のプライスがメニューに入っていることが分かります。この例では3つの選択肢があります。— 事前に設定した損切り81.11で買い、このプライスで指値買い、または、このプライスで逆指値売り

他に2つの注文オプションがあります — 事前に設定したパラメーターで売り、買い注文 ホットキー (Ctrl+B and Ctrl+S) を使えば、事前に設定したパラメーター (損

切、利確、トレイルストップ、ロットなど)で簡単に注文を行えます。パラメーターは、ツール → オプション → 注文の初期設定 から追加できます。



もし1つの注文しかリストにない場合は、Ctrl+B/Ctrl+S を押し、注文をすぐにセットできます。もしくは、どの注文を入れるのか、聞かれることでしょう。



注文の変更

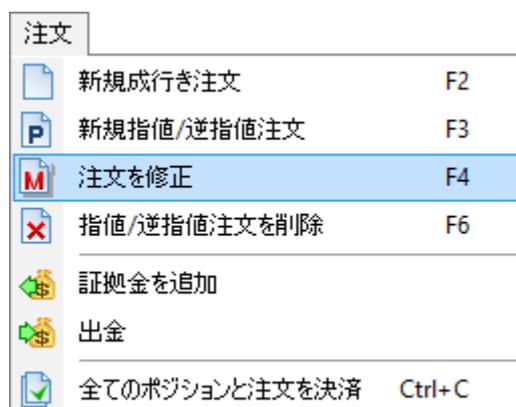
注文（成行、指値、逆指値）を入れた後、大体の注文内容を変更できます。成行注文の場合、損切り、利確を変更できます。指値/逆指値注文では、エントリープライスも変更できます。取れイストップのパラメーターは、両種類の注文で変更できます。変更するには最初に、“オープンポジション”、または“指値注文”タブから、注文を選択してください。

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間 Δ	オープンブ...	損切り	利確	マーケット...	コメント	スワップ	ポイント	利益
4	audjpy	sell	0.10	2005.02.09 11:01	81.03	81.10	80.94	81.08		0.00	-5	-5.39
残高: 9779.21 有効証拠金: 9773.83 Margin: 64.66 余剰証拠金: 9709.17 証拠金レベル: 15115.73%												
オープンポジション [1] 指値注文 [0] 口座履歴 ジャーナル												

そして、ツールバーにある“選択した注文を修正”ボタンをクリックしてください。（またはキーボードのF4キーを押してください）



もしくは、注文の上で右クリックをし、ドロップメニューの“注文を修正”をクリックしてください。



または、注文をダブルクリックしてください。この場合、注文を入れた時間までチャートが戻ります。注文が入ったところで垂直線引かれ、“注文を修正”ダイアログが表示されます。このダイアログはエントリーしている注文用で、損切や利確の変更を行います。（変更できないパラメーターはグレイになっています。）“ポジションを決済”ボタンをクリックすれば、決済されます。

注文を修正 #5

一般 トレイルストップ

シンボル: AUDJPY

タイプ: sell stop

ロット: 0.20

プライス: 80.86

損切: 81.15 × 81.06 20

利確: 80.74 × 80.66 20

コメント:

注文を修正 注文を削除 キャンセル ヘルプ

このダイアログは指値/逆指値用で、各パラメーターの変更や注文を取り消すことができます。

注文を修正 #4

一般 トレイルストップ

シンボル: AUDJPY

タイプ: sell

ロット: 0.10

プライス: 81.03

損切: 81.10 × 81.23 20

利確: 80.94 × 80.83 20

コメント:

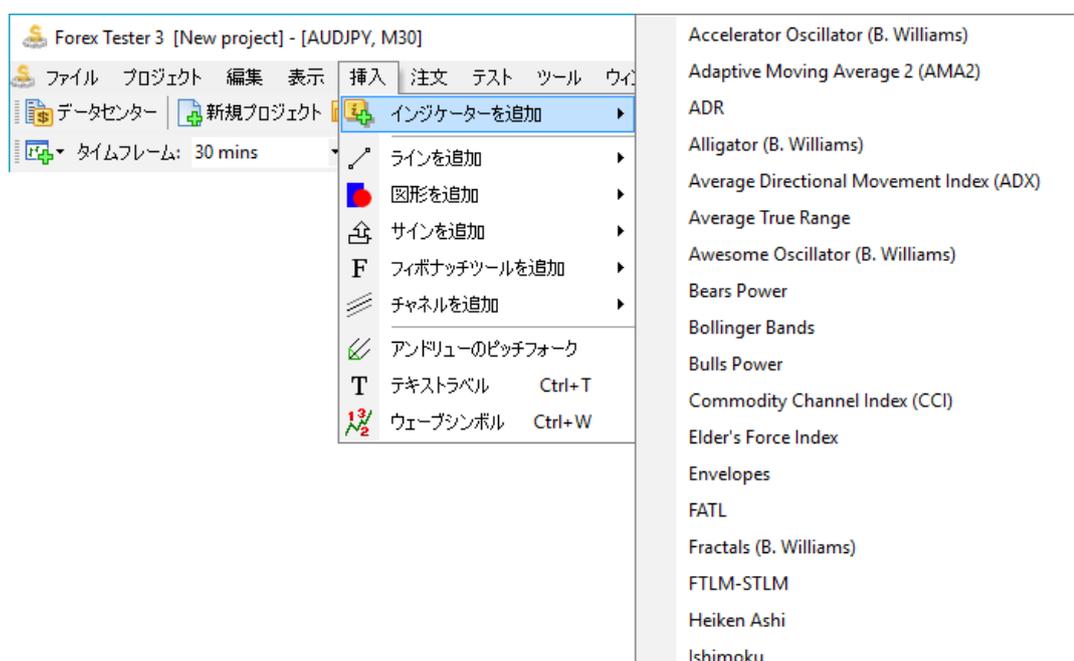
注文を修正 ポジションを決済 キャンセル ヘルプ

ツールバーにあるボタン、ホットキー、ドロップダウンメニューからも、注文を決済したり削除したりできます。
さらに、オープンポジションの損切や利確、指値/逆指値注文のエントリープライスの変更は、チャート上にあるラインをドラッグして変更ができます。

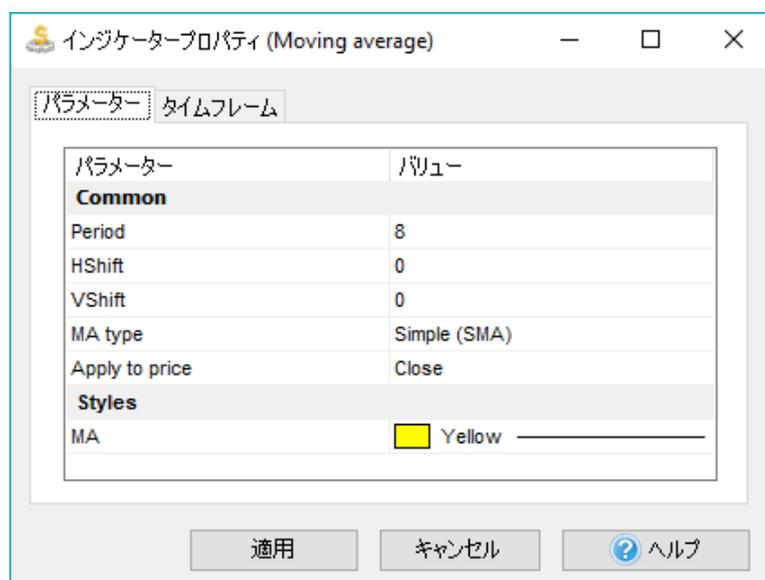


表示中のテクニカル指標

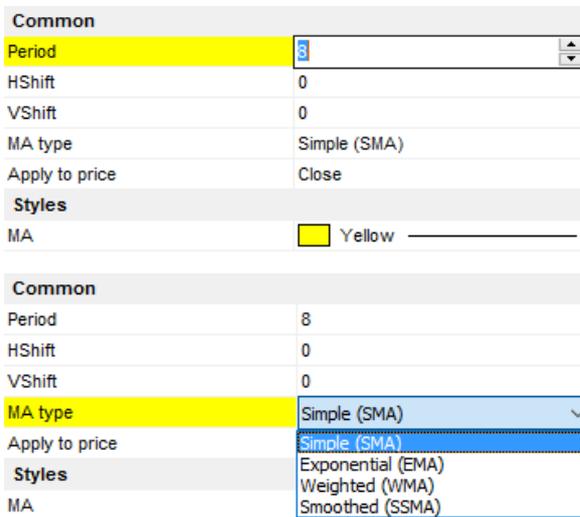
ツールバーにあるこのボタン  を使ってチャートへインジケータやオシレーターを追加できます。または、メニューバーの挿入 → インジケータを追加 からも行えます。



また、チャートの上で右クリックをして、“インジケータを追加”を選択して追加することもできます。各インジケータを選択後、インジケータのプロパティを設定するダイアログが表示されます。

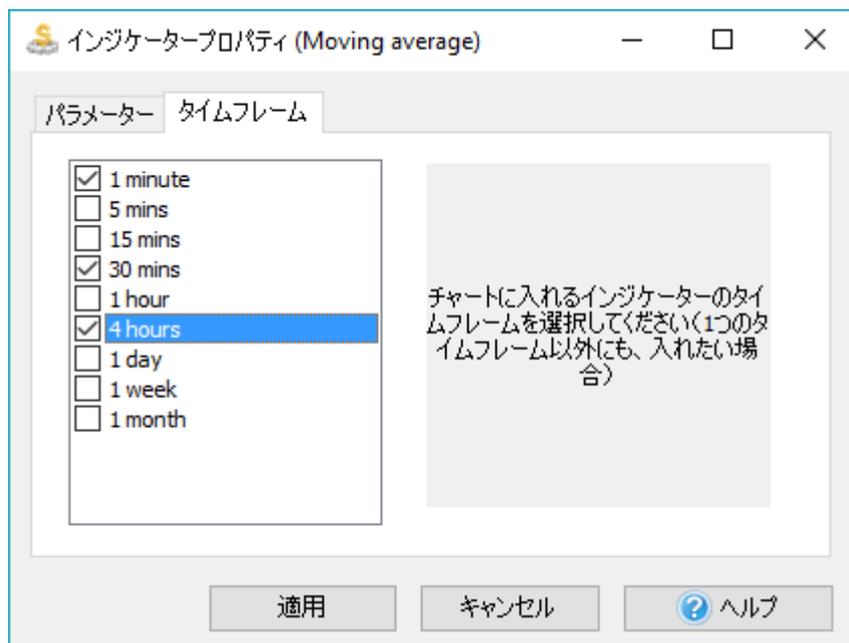


インジケータのパラメータを変更するには、項目欄をダブルクリックするか、左クリックで選択後、“Enter”キーを押してください。設定項目により、ドロップダウンメニューから選択したり、数値を選択する場合があります。



変更をキャンセルするには、キーボードの“Esc”キーを押してください。変更を行うなら、“Enter”キー、または“Tab”キーを押すか、マウスの左クリックをしてください。

各インジケータは表示されているタイムフレームとリンクするようになっています。たとえば、1時間足にインジケータを入れたなら、他の時間足でそのインジケータは表示されません。（5分足、1分足など）これはソフトウェアの最適化のために行っています。このようにしないと、テストのスピードが遅くなってしまいます。そのため、テストに必要な時間足だけにインジケータを表示することをおすすめします。“タイムフレーム”タブから、インジケータを入れる時間足を選択できます。



インジケータを編集するときは、インジケータのライン上で右クリックをしてください。次の画面が表示されます。

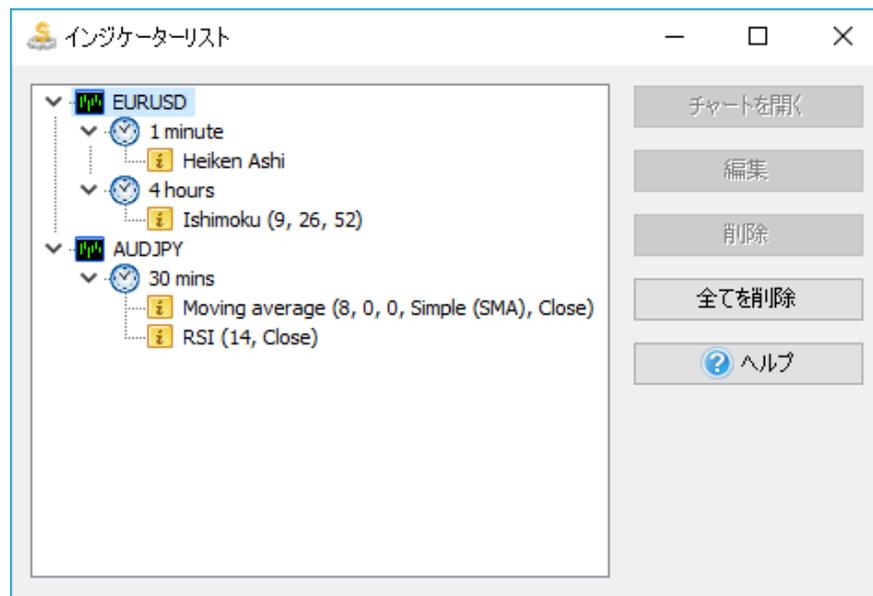


インジケータのプロパティを編集（“インジケータを編集”ボタン）するか、チャートから削除（“インジケータを削除”ボタン）するか、選択できます。

オシレーターウィンドウには、2つ以上のインジケータを同時に入れることもできます。オシレーターウィンドウの上で右クリックをし、“インジケータをウィンドウに追加”から追加をしてください。オシレータをウィンドウを削除した場合、そのウィンドウに入っている全てのインジケータが削除されます。



また、ツールバーの“インジケータリスト”ボタンから、チャートに入っているすべてのインジケータが確認できます。



ここで、インジケータの編集、インジケータの削除、すべてのインジケータをまとめて削除ができます。

基本的なインジケータはForex Testerに入っています。もしForex Testerに入っていないインジケータを使いたい場合は、インジケータを自分で作ったり、プログラマーへ頼むこともできます。カスタムインジケータは、ファイル --> インストール --> 新規インジケータをインストール からインストールできます。カスタムインジケータを作成するAPIがあります。(C++ と Borland Delphiに対応) 当社フォーラムにて各種情報を公開しています。 [here](#).

Forex Testerに入っているインジケータリスト

- アクセレーターオシレーター (B. Williams)
- ADR
- AMA (適応的移動平均)
- Average Directional Movement Index (ADX)
- アリゲーター (B. Williams)
- ATR (Average True Range)
- オーサム・オシレーター (B. Williams)
- ベアーズパワー

- ボリンジャーバンド
- ブルズパワー
- Commodity Channel Index (CCI)
- エルダーのForce Index
- エンベロープ
- FATL
- フラクタル (B. Williams)
- FTLM-STLM
- 平均足
- 一目均衡表
- ケルトナーチャネル
- 線形回帰チャネル
- Moving Average Convergence Divergence (MACD)
- MAクロスオーバーシグナル
- MFI
- モメンタム
- 移動平均 (Simple, Exponential, Weighted, Smoothed)
- オンバランスボリューム (OBV)
- パラボリック-SAR
- PCCI
- ピボットポイント
- Polarized Fractal Efficiency (PFE)
- プライスチャネル
- プライスデイリーレンジ
- レートオブチェンジ (ROC)
- Relative Strength Index (RSI)
- ソーラーウィンド

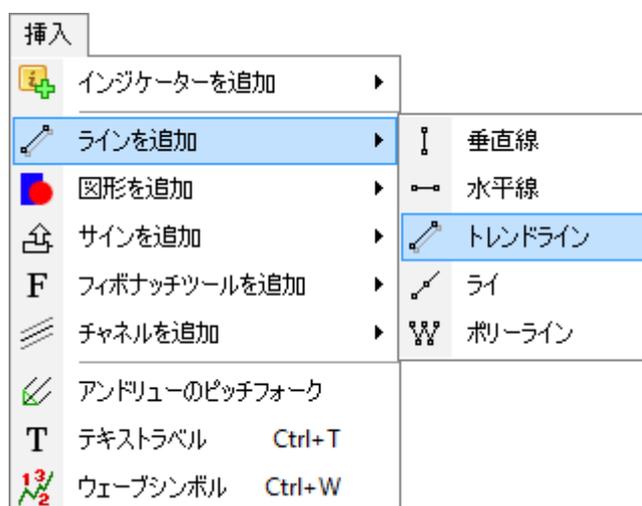
- ストキャスティクスオシレーター
- レンジバー
- レンジエクспанションインデックス
- トレードダイナミックインデックス (TDI)
- タイムボックス
- ウルティメイトオシレーター
- ボリューム
- ウィリアムのパーセントレンジ (%R)
- ジグザグ

罫線描画ツールの使用方法

Forex Testerは多くのチャートツールを揃えています

- ライン（垂直線、水平線、トレンドライン、レイ、ポリーライン）
- 図形（長方形、円、三角形）
- サイン（親指のアップとダウン、上矢印、下矢印、ストップサイン、チェックサイン、左右のプライ斯拉ベル）
- フィボナッチツール（フィボナッチリトレースメント、フィボナッチタイムゾーン、フィボナッチファン、フィボナッチアーク、フィボナッチエクステンション）
- チャネル（フィボチャネル、線形回帰チャネル）
- アンドリューのピッチフォーク
- テキストラベル
- ウェーブシンボル

“挿入”メニューのリストにすべて入っています。



また、ツールバーにも各描画ツールのボタンが配置されています。



アイコンがあります。



- このアイコンでマグネットモードのオンとオフを切り替えます。マグネットモードがオンだと、マウスのポインターがチャートのロウソク足の始値/高値/安値/終値に張り付きます。マグネットの敏感度はチャートオプションで設定できます。(チャート上で右クリックして、“チャート設定”をクリック)

ラインを引くのはとても簡単です。引きたいラインボタンをクリックし、開始ポイントで左クリックをし、マウスを移動させ、次のポイントで左クリックをしてください。(垂直線、水平線を引く場合は、左クリック1回だけです) 描画をやめたいときは、右クリックをしてください。描画作業を停止します。ポリーラインやアンドリュールのピッチフォークのように2点以上をクリックしなくてはならない場合もあります。



各ツールには独自のプロパティがあります。編集したいときは、描画した図形上で右クリックをして“編集”を選んでください。ツールの複製もできますし、削除も行えます。



ツールを選択したいときは、ダブルクリックをしてください。図形上に白い丸がでますので、そこをクリックしながら変形させたり、移動させたりします。この状態キーボードのDeleteボタンを押せば、選択されているすべての図形が削除されます。選択をやめたいときは、再度、図形上でダブルクリックをしてください。

描画ツールを使うときに便利なホットキーを紹介します。

Ctrl + G - チャート上のすべての描画を選択する
Ctrl + D - チャート上のすべての描画を非選択状態にする
Ctrl + Del - 最後に追加された図形を削除する
Ctrl + A - すべての図形をチャートから削除する
Delete - 選択した図形を削除する

ホットキーは、ツール --> オプションメニューから変更できます。

編集メニューからショートカットが確認できます。このメニューから、描画のリストを開けます。リストには、今使っているチャートに入れた図形が表示され、変更や削除ができます。

編集	
描画リスト	
全ての描画を選択	Ctrl+G
全ての描画の選択を解除	Ctrl+D
 最後の描画を削除	Ctrl+Del
 全ての描画を削除	Ctrl+A
 選択したものを削除	Del

描画リストダイアログは下記です。

描画リスト

描画タイプ	描画名	説明
 Fibo Fan	Fibo Fan 439	
 Rectangle	Rectangle 440	
 Triangle	Triangle 441	

表示

編集

削除

 ヘルプ

テンプレートの使用方法

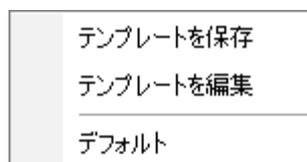
テンプレートは、1つにチャートに入っている全ての設定を保存し、再利用する機能です。インジケータ、描画ツール、色設定などをテンプレートとして保存できます。

テンプレートがあると、テストの設定が簡単になり、テストをしやすくなります。チャート上で全ての設定をした後に、テンプレートとして保存できます。テンプレートを保存方法は下記です。

1. “表示”をクリックします



2. テンプレート --> テンプレートを保存、もしくはチャート上で右クリックをして、テンプレート → テンプレートを保存をクリックします。



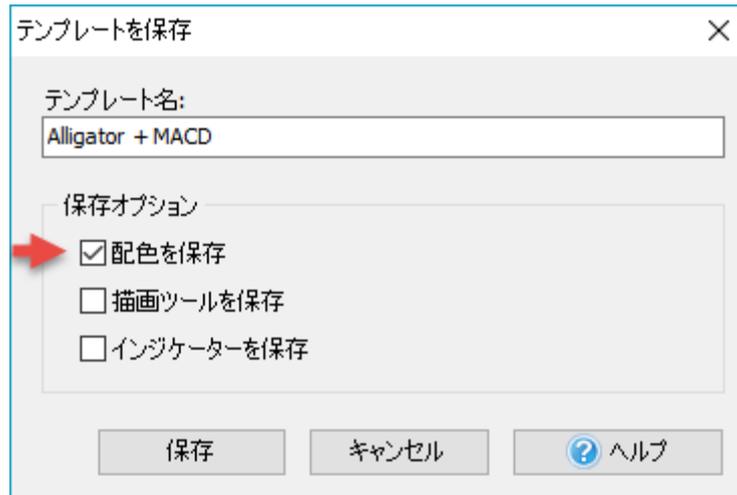
3. テンプレート名を記入し、保存したいオプションにチェックを入れます。

-保存オプション

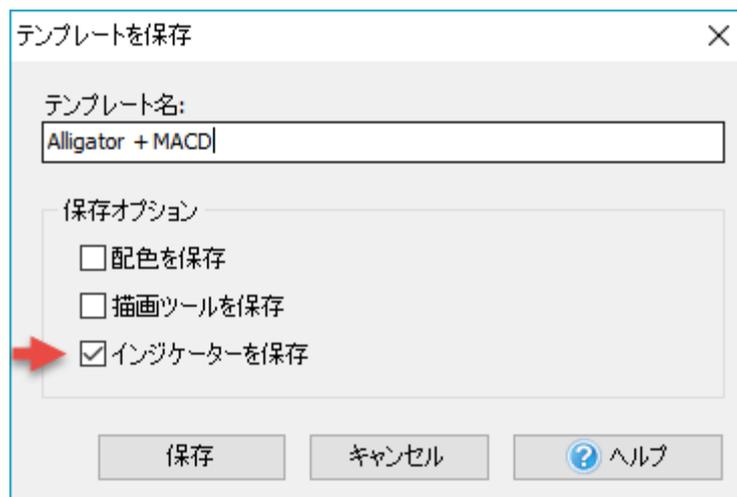
-配色を保存: 現在のチャートのメイン配色と追加の配色を保存します。

描画ツールを保存: チャートに描いたラインや形などを保存します。

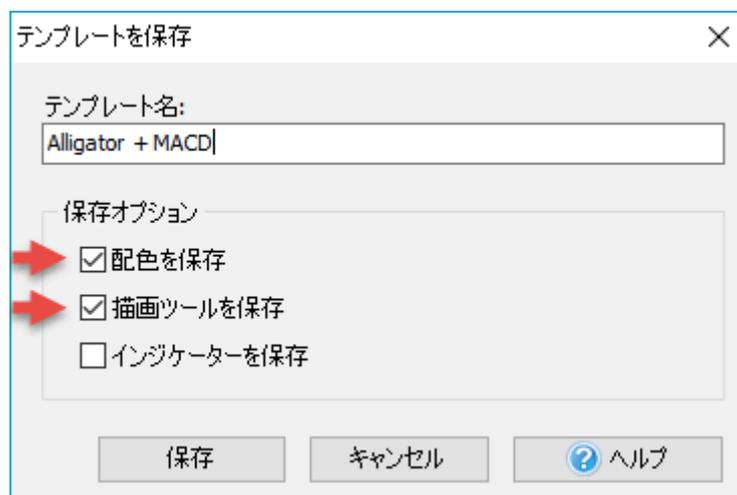
-インジケータを保存: チャートへ入れたインジケータを保存します。



' → チャート、バー、グリッドなどの色を保存します。（色設定の保存だけで、インジケータはチャートに表示されません）

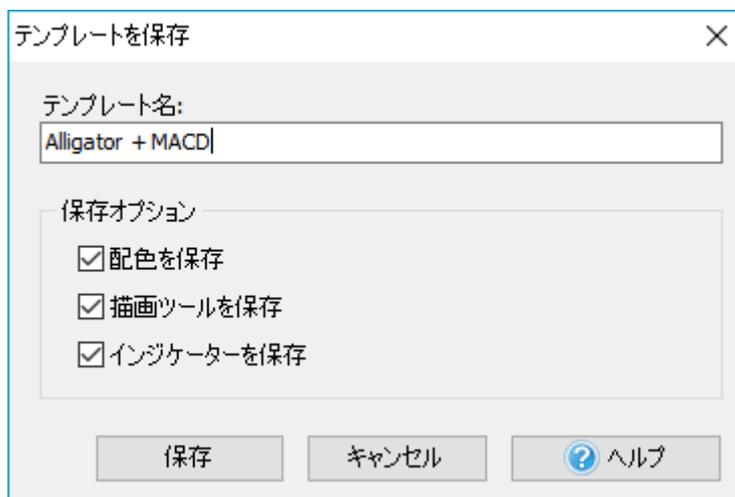


' → 現在のチャートに入っているすべてのインジケータを保存します。

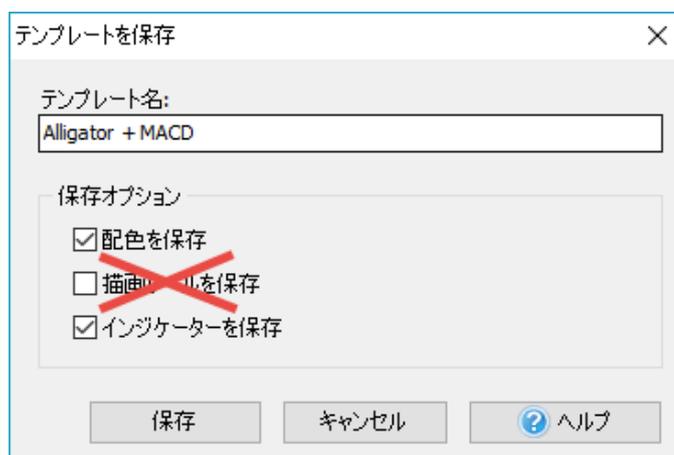


' → 配色以外に、ライン、フィボナッチツール、図形、チャンネル、テキストラベルなどの描画されたものを全て保存します。

注意：（上記のように） unnecessary 保存内容にチェックをはずすことができますし、初期設定のままにすることもできます。

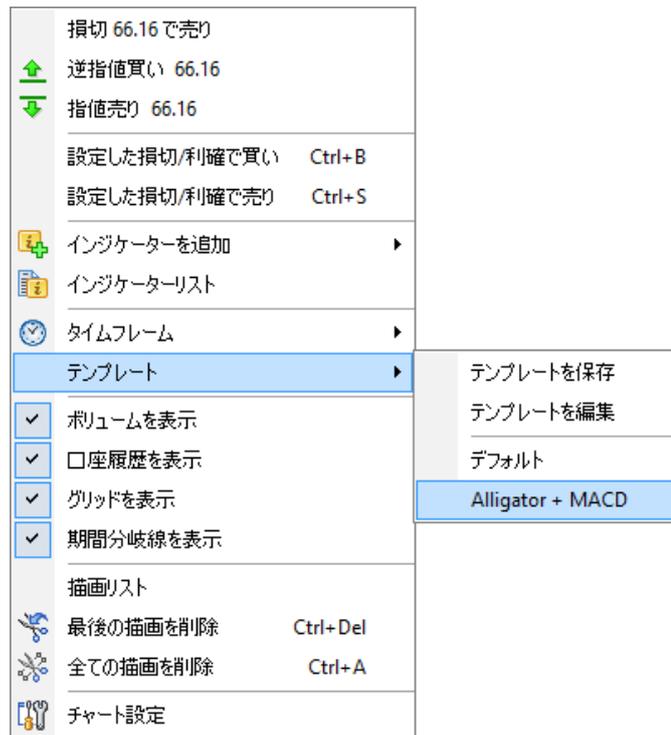


もし他の通貨ペアでもテンプレートを使いたいのなら、“描画ツールを保存”からチェックをはずすことをお勧めします。通かべが違っていると保存した図形などが正しく表示されません。



注意： MT4と違い、インジケータは選択した時間足にのみ保存されます。例えば、15分足、1時間足、4時間足のテンプレートを作ったとします。このテンプレートをチャートに入れた場合は、同じ時間足のチャートでしか、インジケータは表示されません。

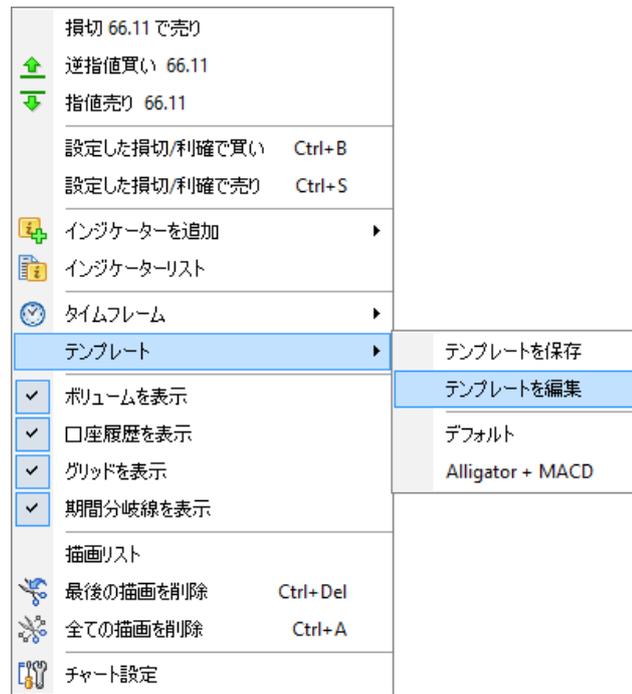
テンプレートをチャートへ適用するには、チャート上で右クリックをし、テンプレート → テンプレートを適用をクリックします。



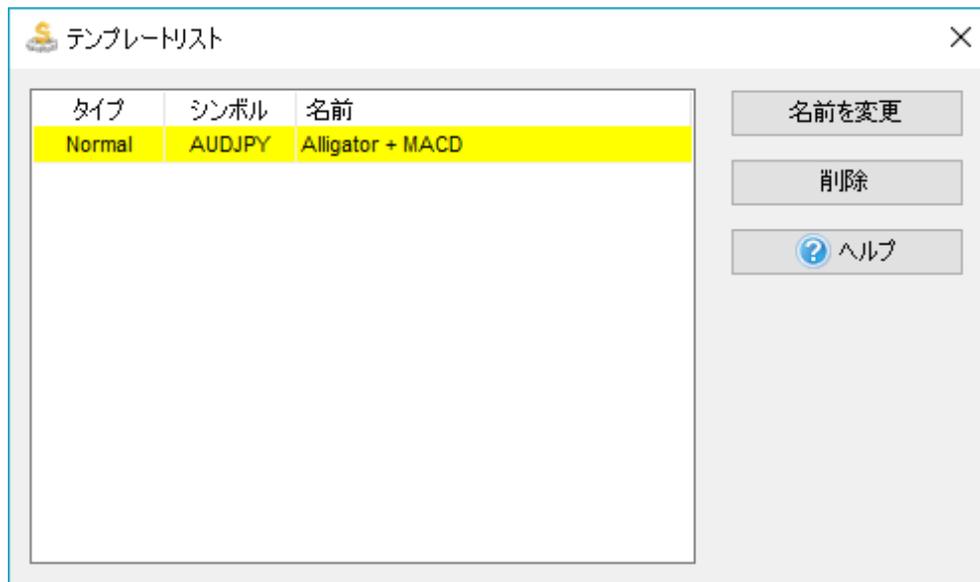
注意：テンプレートの内容に沿い、チャートに変更が加えられます。テンプレートで設定したタイムシフトも復元されます。そのため、テンプレートは、特定の時間足に入れた時間足やインジケータなど、完全な状態でチャートへ復元されます。

テンプレートの名前の変更や削除方法は下記になります。

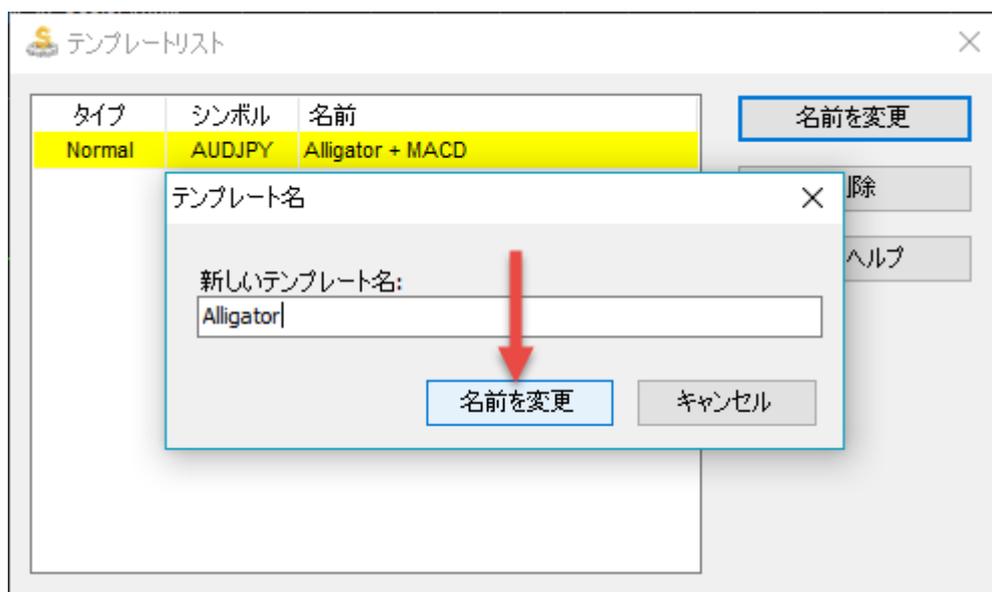
1. チャート上で右クリックをします。
2. “テンプレート --> テンプレートを編集”をクリックします。



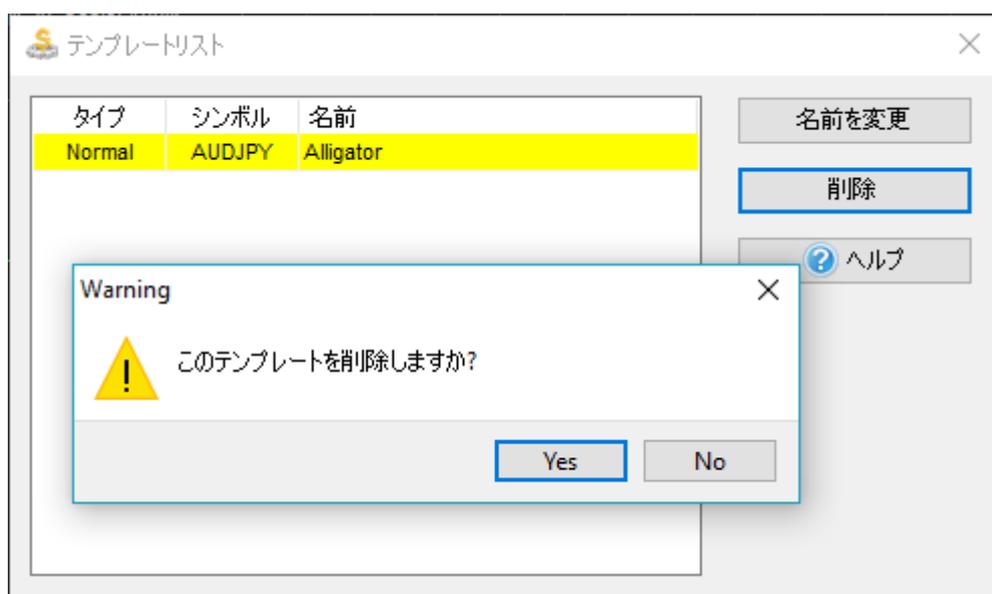
3. テンプレートのリストが表示されます。リストからテンプレートを選択します。



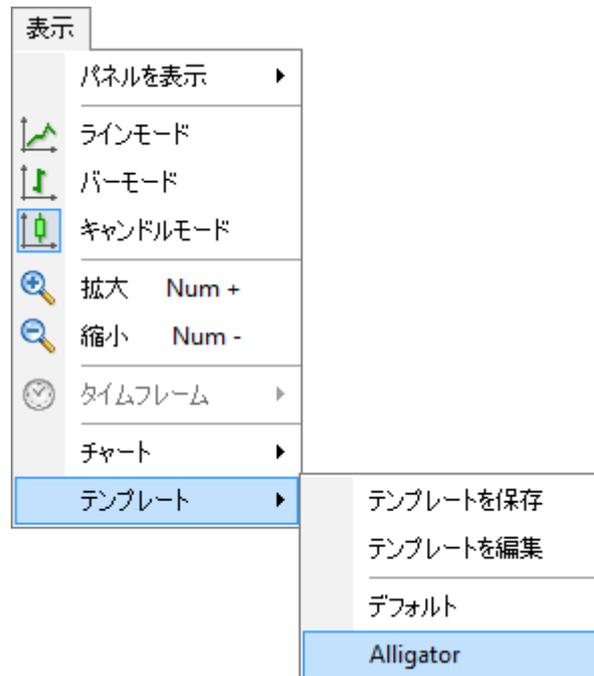
4. "名前を変更"ボタンをクリックし、変更を行います。



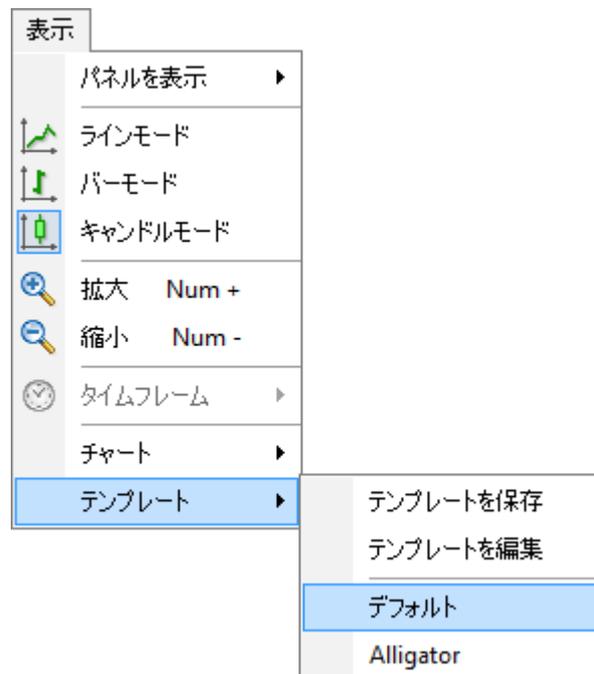
テンプレートを削除したいときには、“削除”をクリックします。



また、表示 --> テンプレートのメニューからもテンプレートをチェックできます。



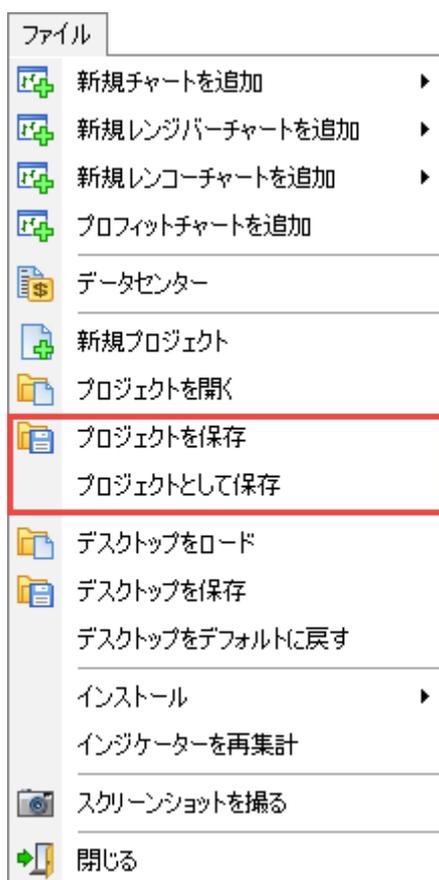
テンプレート --> デフォルトをクリックすると、デフォルト設定のチャートが表示されます。



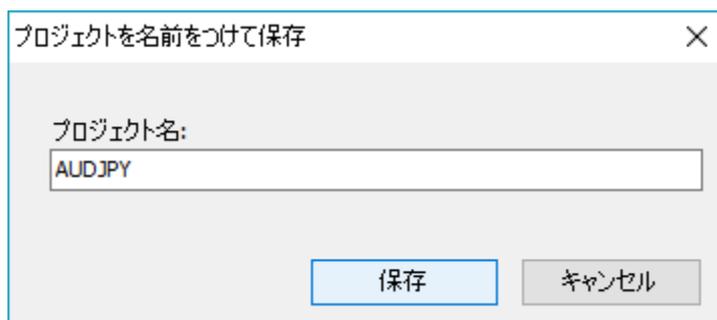
テンプレートを他のPCへ移行させたいときは、PCの中のForex Tester3フォルダー
Forex Tester 3 (C:\¥ForexTester3 folder)へ行き、Templatesフォルダーを選択し、
コピーを行い、保存してください。このフォルダーにテンプレートのファイルが入っ
てい

プロジェクト

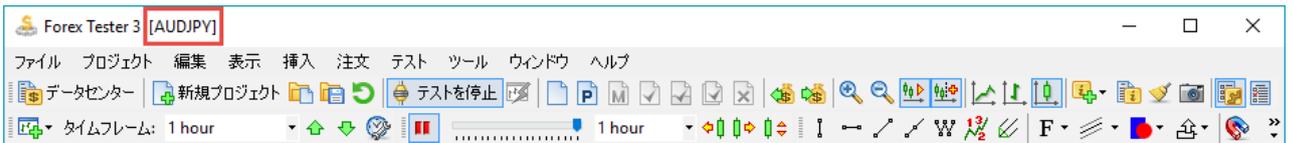
プロジェクトは、バックテストの全ての状態を保存するファイルです。プロジェクトは、注文内容、表示したチャート、チャートへ入れたインジケータを保存します。プロジェクトを開くと、保存したときのままの状態を再構築します。現在のテスト状態を保存するには、ファイル → プロジェクトを保存、またはプロジェクトとして保存を選択してください。



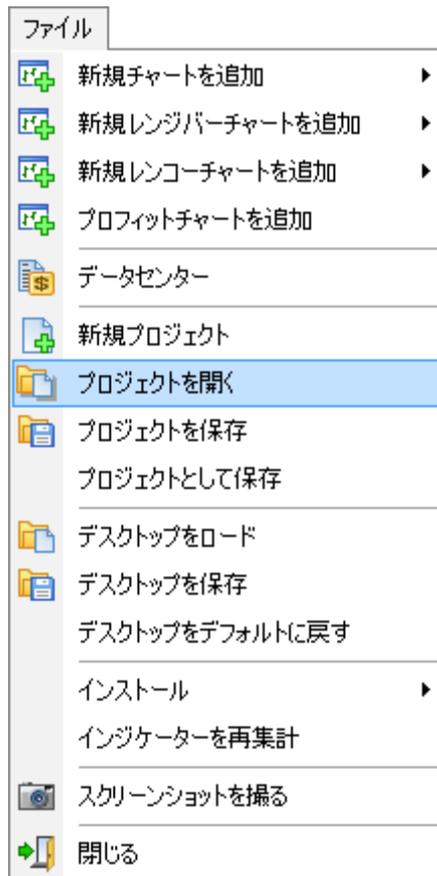
プロジェクト名を入れて保存してください。



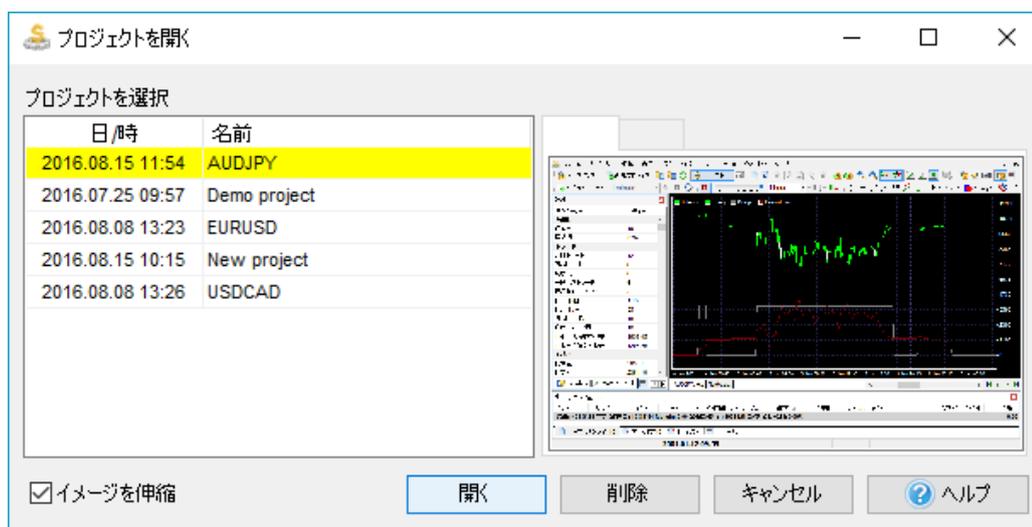
プロジェクト名がForex Testerの一番左上に括弧がついて表示されます。



プロジェクトを開く場合は、ファイル → プロジェクトを開く をクリックしてください。



保存されたプロジェクト名が、ウィンドウの中でリストになっています。プロジェクトを選択し、“開く”をクリックしてください。



バックテスト中に、他のプロジェクト名として保存することができます。トレード戦略をバックテスト中に変えてたいので、現在までの状態を保存したいときなどに役立ちます。

ツールバーにあるボタンも使ってください。



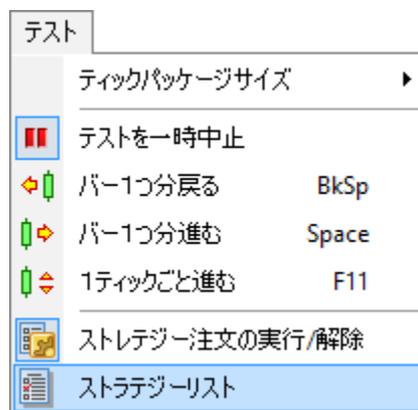
プロジェクトを開く  と プロジェクトを保存する 

プロジェクトを使うと時間の節約になります。バックテスト状態を保存し、いつでもすきなときに戻ってきて、保存した時点からトレードを再開できます。とても便利な機能で、トレードを止めたいところや気になる箇所ですべて保存ができます。

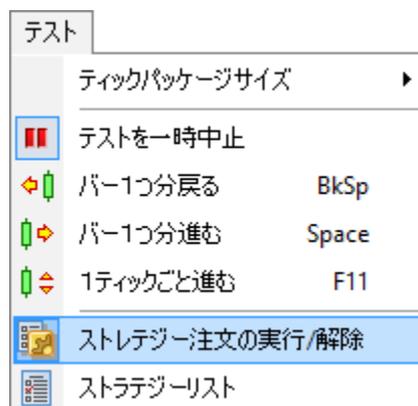
エキスパートアドバイザー

エキスパートアドバイザーは、トレード戦略をベースに、自動で売買を行うプログラムです。

Forex Testerの中に入っているEAのバックテストを行うには、“テスト → ストラテジーリスト”をクリックします。または、ツールバーのストラテジーリストボタンをクリックします。

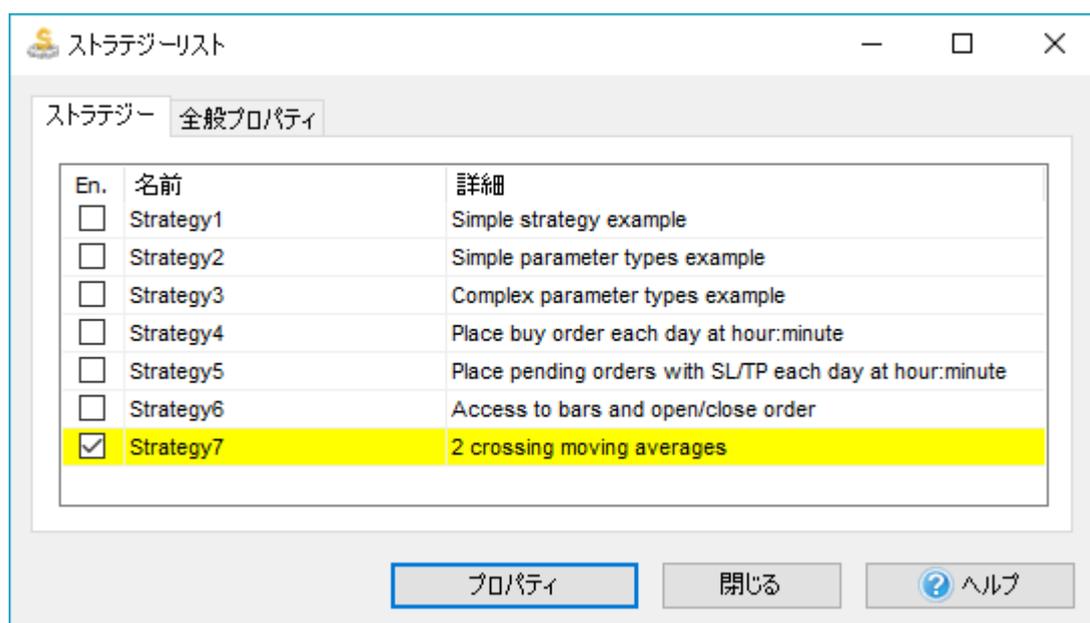


ストラテジーの実行がオンになっていることを確認ください。ツールバーにある“ストラテジー注文の実行/解除”ボタンをオンにしてください。もしくは、メニューバーから“テスト → ストラテジー注文の実行/解除”にて、オンになっているのを確認してください。

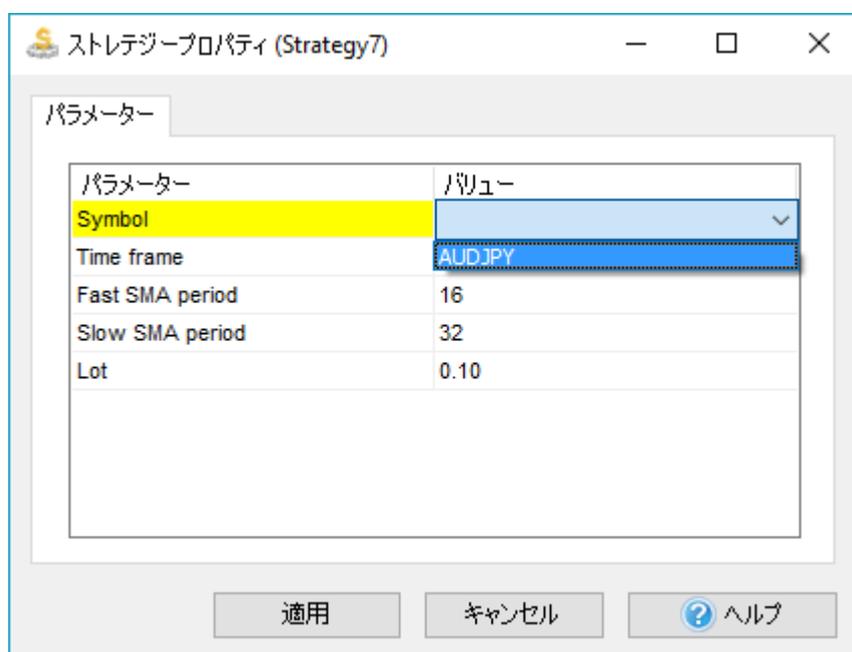


参考として、“2 crossing moving averages”のEAを動かす方法を紹介します。

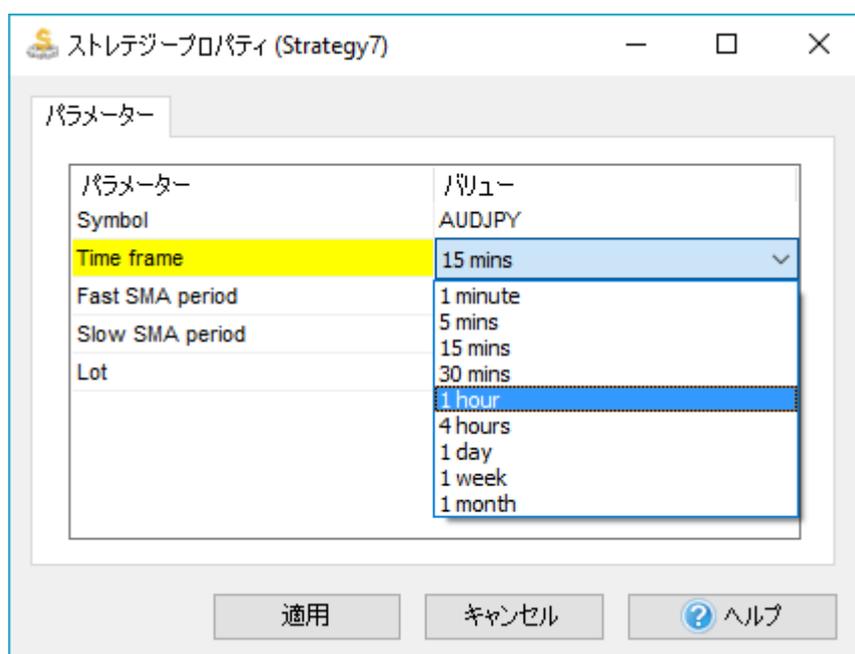
1. ツールバーの“ストレテジーリスト”ボタンをクリックし、“Strategy7”にチェックを入れます。



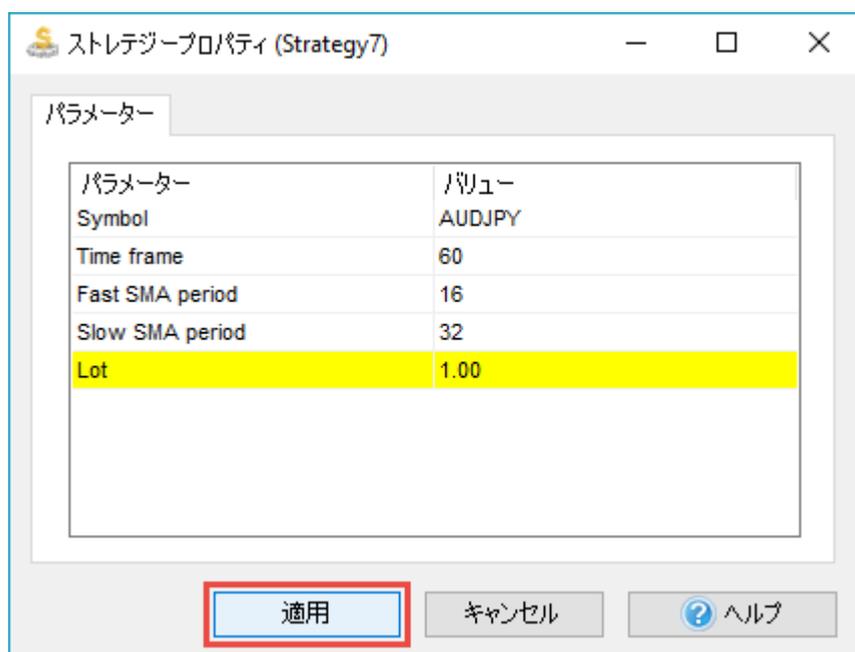
2. ストラテジー名の上でダブルクリックをします。
3. シンボルをダブルクリックして、通貨ペアをドロップダウンメニューから選びます。テストをしたい通貨ペア名がない場合は、“データセンター”からテストをしたい通貨ペアのデータを取得してください。



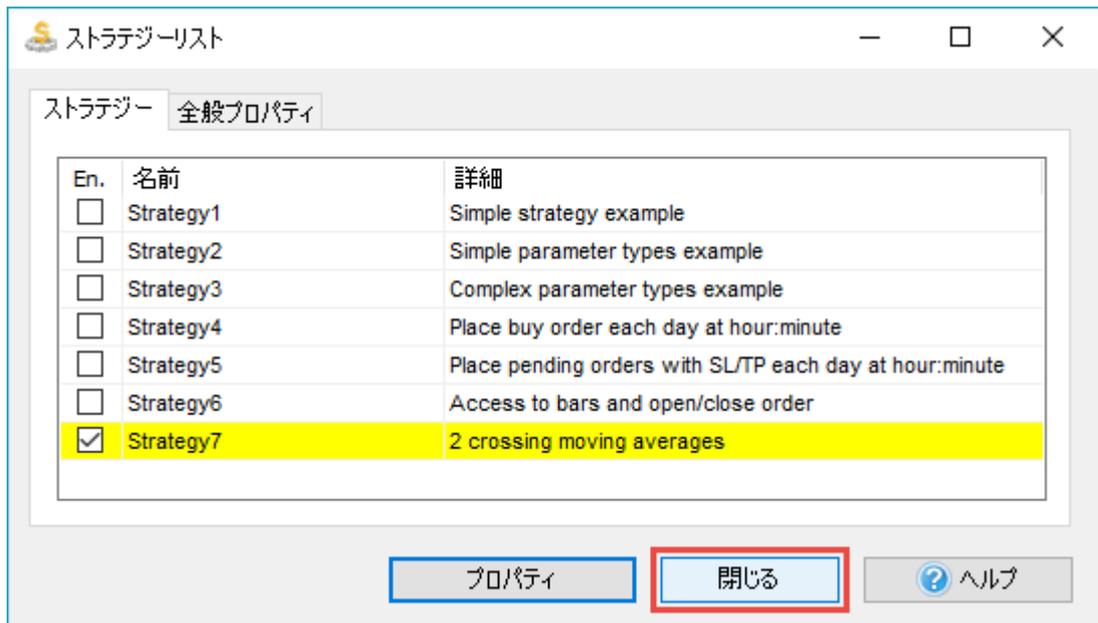
4. テストをしたい時間足を選択してください。



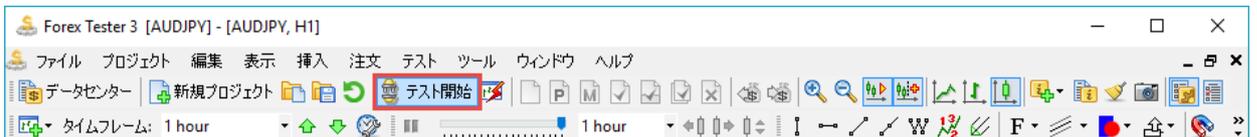
5. 移動平均線の期間を設定します。
6. ロットを決めます。
7. “適用”をクリックします。



8. “閉じる”をクリックします。



9. “テスト開始”ボタンをクリックします。



Forex Testerは、プログラミングされたトレードルールに沿って、自動で売買を繰り返します。



MT4とForex Tester3はまったく別のソフトウェアですので、MT4のEAをそのままForex Tester3で使用することはできませんので、ご注意ください。C++やBorland Delphiのプログラミングに精通されているのであれば、EAの書き換えができるでしょう。詳細については当社のフォーラムをご覧ください。

フォーラムの検索を使って、欲しいインジケータを探すこともできます。欲しいインジケータがフォーラムで公開されていることもあります。

EAファイル(.dll)を追加したい場合は、“ファイル → インストール → 新規ストラテジーをインストール”からファイルを取込んでください。

Forex Tester 3 [AUDJPY] - [AUDJPY, H1]

ファイル プロジェクト 編集 表示 挿入 注文 テスト ツール ウィンドウ ヘルプ

新規チャートを追加
新規レンジバーチャートを追加
新規レンコチャートを追加
プロフィットチャートを追加
データセンター
新規プロジェクト
プロジェクトを開く
プロジェクトを保存
プロジェクトとして保存
デスクトップをロード
デスクトップを保存
デスクトップをデフォルトに戻す
インストール
インジケータを再集計
スクリーンショットを撮る
閉じる

新規インジケータをインストール
新規ストラテジーをインストール
新規スクリプトをインストール

利益計 2351.10 AUDJPY, H1 Profit

チケット	シンボル	タイプ	ロット	オープン時間	オープン...	損切り Δ	利確	マーケット...	コメント	スワップ	ポイント	利益
22	audjpy	buy	1.00	2001.01.17 21:00	65.77	0.00	0.00	66.12		19.06	35	396.02

残高: 9668.12 有効証拠金: 10064.14 Margin: 646.60 余剰証拠金: 9417.54 証拠金レベル: 1556.47% 396.02

2001.01.18 08:59

統計情報

ストラテジー結果の統計情報は、テスト中、テスト後に表示されます。“統計”ウィンドウには重要な項目が表示されます。

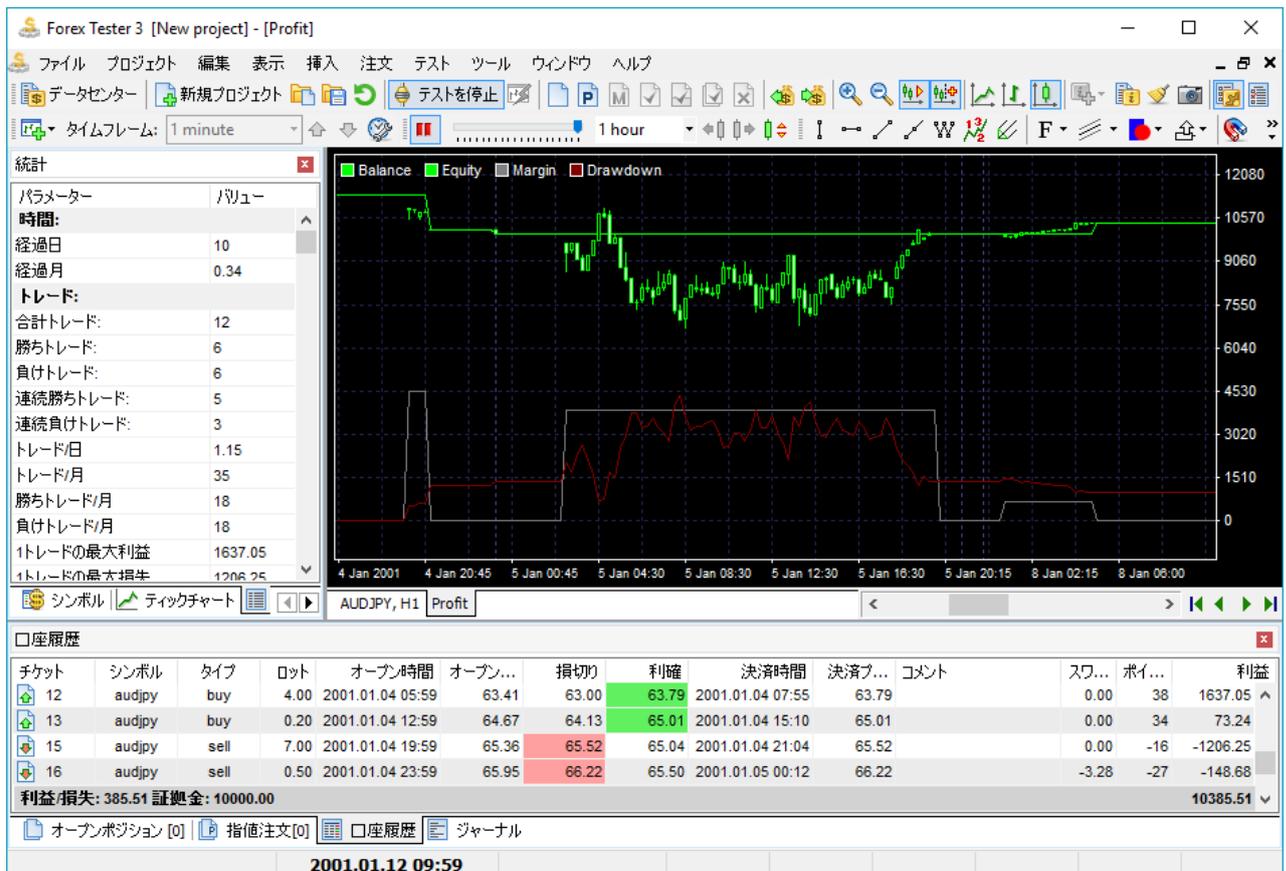
- 合計トレード回数、勝ちトレード回数、負けトレード回数
- 勝ちトレードの最大利益、負けトレードの最大損失
- 利益合計
- 1ヶ月当たりの利益
- 勝ちトレードと負けトレードの平均
- 最大ドローダウン
- その他いろいろ

パラメーター	バリュー
時間:	
経過日	10
経過月	0.34
トレード:	
合計トレード:	12
勝ちトレード:	6
負けトレード:	6
連続勝ちトレード:	5
連続負けトレード:	3
トレード/日	1.15
トレード/月	35
勝ちトレード/月	18
負けトレード/月	18
1トレードの最大利益	1637.05
1トレードの最大損失	1206.25
収益:	
総利益	385.51
利益計	2351.10
損失計	1965.59
利益/月	1126.47
平均利益	391.85
平均損失	327.60
最大ドローダウン	4650.57
プロフィットファクター	1.20
利率, %	3.86
その他統計:	
最大ロット	7.00
レステレージョンファクター	0.08
リライアビリティファクター	0.24
勝率, %	50
負け率, %	50

シムボル | ティックチャート | 統計

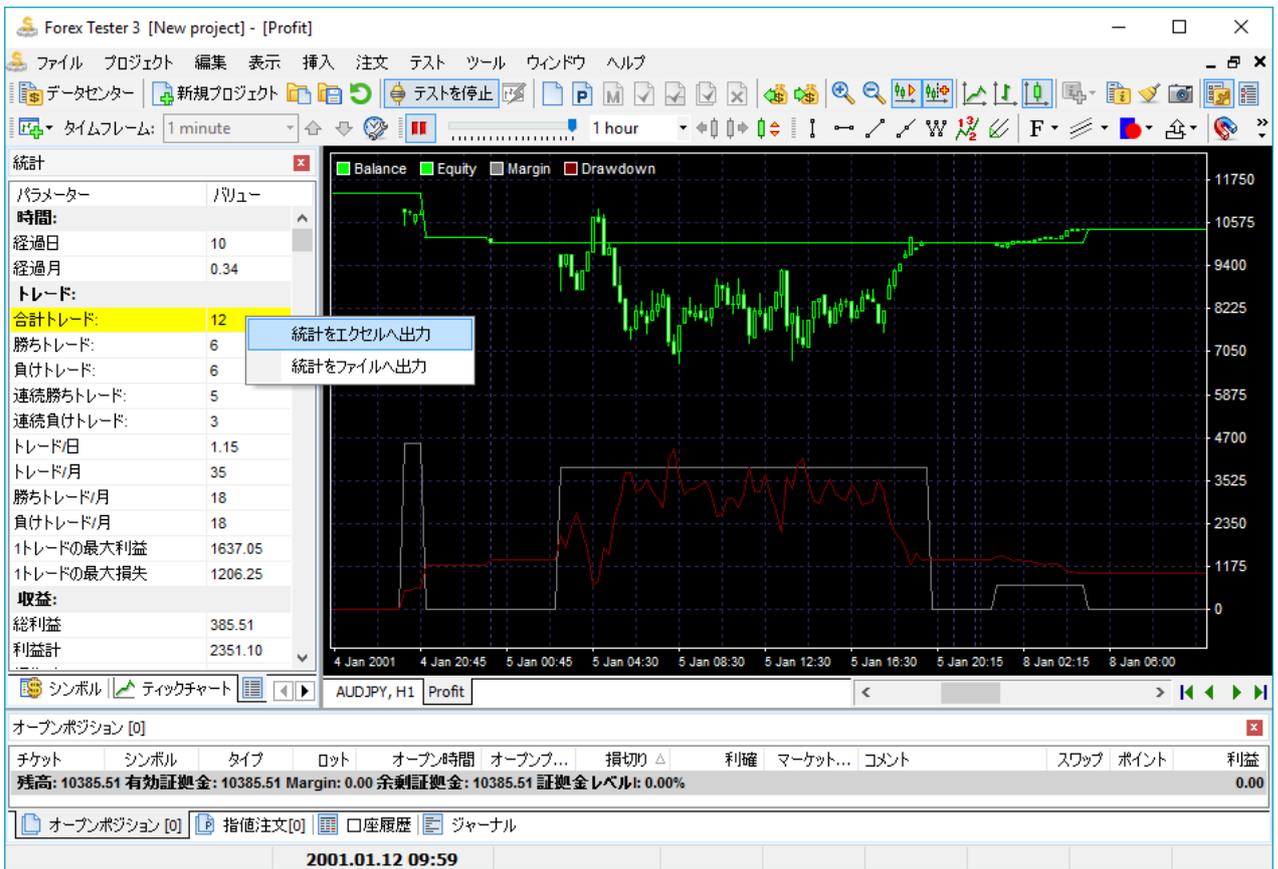
プロフィットチャートは独立したチャートで3つのラインとロウソク足で構成されています。

1. バランスラインは緑の線で、口座資金の変化を表示します。
2. マージンラインはグレーです。
3. ドローダウンラインは赤色です。
4. 資産チャートは、資産がどのように変化したか、ビジュアルでわかるようにロウソク足で表示されます。



バランスと資産の違いですが、バランスラインはトレードが決済されたときに変更されますが、資産ラインは含み損/含み益の状態も反映して描かれます。

“統計”ウィンドウを右クリックすれば、統計情報をエクセルかtxtファイルへ出力できます。



統計ウィンドウを消したいときは、“表示 → パネルを表示 → 統計”をオフにしてください。

